

## 対象トピックス:

セットアップとメンテナンス VDIエンドポイントデバイスの基本 Atrustクライアントセットアップコンソール

モバイルシンクライアントソリューション Atrust mt182L



ユーザーズマニュアル

Version 0.01 Copyright © 2019-20 Atrust Computer Corp.	

# 著作権および商標に関する声明

Copyright © 2019-20 Atrust Computer Corp. All rights reserved.

This document contains proprietary information that is protected by copyright. No part of this document may be photocopied, reproduced, or translated to another language without the prior written consent of Atrust Computer Corp.

#### 免責事項

Atrust Computer Corp. ("Atrust") makes no representations or warranties with respect to the contents or use of this document, and specifically disclaims any express or implied warranties of merchantability or fitness for any particular purpose. Atrust is not liable for technical or editorial errors or omissions contained herein. The information in this document is subject to change without notice.

#### 商標に関する声明

Atrust is a trademark of Atrust Computer Corp.

Intel is a registered trademark of Intel Corporation or its subsidiaries in the United States and other countries.

Microsoft, Windows, Windows Server, RemoteFX, and MultiPoint are trademarks or registered trademarks of the Microsoft group of companies.

Citrix, ICA, XenApp, XenDesktop, VDI-in-a-Box, Virtual Apps and Desktops, are trademarks of Citrix Systems, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered in the United States Patent and Trademark Office and in other countries.

VMware, VMware View, and VMware Horizon View are trademarks or registered trademarks of the VMware, Inc.

PCoIP is a registered trademark of Teradici Corporation in the United States and/or other countries.

Other product names mentioned herein are used for identification purposes only and may be trademarks and/or registered trademarks of their respective companies.

# このユーザーズマニュアルについて

このマニュアルでは、Atrust mt182Lモバイルシンクライアントのセットアップ、使用、保守方法について 詳しく説明しています。

#### マニュアルの構造と主題

章	主題
1	Atrust mt182Lモバイルシンクライアントの概要を説明します。
2	Atrust mt182Lモバイルシンクライアントのセットアップ方法の詳細な手順を説明します。
3	Atrust mt182Lモバイルシンクライアントの基本的な使用方法を説明します。
4	クライアント設定を構成し、AtrustクライアントセットアップコンソールでAtrust mt182Lモバイルシンクライアントをカスタマイズする方法について説明します。
付録	Atrust mt182Lモバイルシンクライアントの詳細設定、メンテナンス、アップグレードに関する補足説明を提供します。
仕様書	Atrust mt182Lモバイルシンクライアントの主要コンポーネントに関する詳細情報を提供します。

## 注意、ヒント、警告

このマニュアルでは、次の形式の注記、ヒント、および警告を使用して、重要な情報、役立つアドバイスを 提供し、怪我、デバイスの損傷、またはシステム上のデータの損失を防ぎます。



• 注記は、特定の状況に関する重要な情報を提供します。



#### ヒント

• ヒントは、タスクをより効率的に実行するための便利なアドバイスを提供し ます。



#### 警告

• 警告は、怪我、デバイスの損傷、またはシステム上のデータの損失を防ぐた めに従わなければならない重要な情報を提供します。

# スタイル規約

このマニュアルでは、入力デバイス、ハードウェアパネル、またはアプリケーションインターフェイスの操 作項目を参照しながら、次のスタイルを使用しています。

項目	スタイル	例
キーボードのキー	太字	Ctrl + F2, Alt + F9, Alt + Tab
アプリケーションウィンドウま たはエントリリスト	頭大文字	確認ダイアログウィンドウ、RDP接続リスト、ICA接続リスト、接続リスト の表示
ウィンドウ、ツールバー、タス クバー、またはメニューのボタ ンまたはタブ	太字	<b>OK、次、保存、アプリケーション</b> タブ
ウィンドウ、画面、リスト、ま たはメニューのオプション	太字	追加、ドメイン、接続タイプ、高品質
一連のオプションを選択する	太字	アプリケーション> Citrix ICA、アプリケーション>リモートデスクトップ、アプリケーション> VMware View、ネットワーク>ワイヤレス、 デバイス>プリンター、システム>タイムゾーン

# 安全および規制に関する情報

#### 規制声明

#### 連邦通信委員会の干渉声明

この装置はテスト済みであり、FCC規則のパート15に基づくクラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅地での設置において有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。この機器は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置状況で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合は、機器の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます。次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変えます。
- 機器と受信機の距離を離します。
- 受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する

**FCCの注意:** コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。このデバイスは、FCC規則のパート15に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります。(1)このデバイスは有害な干渉を引き起こさない可能性があり、(2)このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。

#### 重要な注意点:

#### FCC放射線被ばくに関する声明

この装置は、制御されていない環境に対して示されているFCC放射線被ばくの制限に準拠しています。この機器は、ラジエーターとあなたの体の間の最小距離が20 cmになるように設置および操作する必要があります。

この送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に配置したり、一緒に動作させたりしてはなりません。

#### 規制情報

#### WEEE(廃電気電子機器)指令



欧州連合では、この記号はこの製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。回収とリサイクルを可能にするために、適切な施設に保管する必要があります。適切な廃棄については、地域のリサイクルまたは有害廃

棄物センターにお問い合わせください。

#### 安全情報



#### 警告

• 取扱説明書に記載されている電源装置のみを使用してください。



#### 警告

• バッテリーを正しく交換しないと爆発の危険があります。製造元が推奨する 同じタイプまたは同等のタイプとのみ交換してください。



#### 警告

- 安全のため、機器に機械的または電気的な変更を加えないでください。
- 機器のカバーを取り外して、機器内のコンポーネントにアクセスしないでください。許可または認定された技術者がいない状態で装置内にアクセスすると、重大な怪我や損傷を引き起こす可能性があります。問題が発生した場合は、販売店にお問い合わせください。
- 製品ドキュメントで許可されている修理のみを行う必要があります。認定されたサービス技術者が実施しない修理、交換、拡張、およびアップグレードは、けがをしたり、システムを損傷したり、保証が無効になる場合があります。

# 目次

著作権および商標に関する声明

免責事 商標(3	▶項 □関する戸	i 告明	i							
このユ	ーザース	ズマニュ	アルに	ついて		ii				
注意、	ュアルの村 ヒント、 イル規約		<u>{</u> ii iii	ii						
安全お	よび規制	制に関す	る情報	ł	iv					
規制詞		iv								
規制情 安全情		V V								
1	概観		1							
	1.1	前書き		3						
	1.2	特徴	3							
	1.3	パッケ-	ージ内ね	容	4					
	1.4	外装部	品	5						
	1.5	始める	前に	9						
2	入門		11							
_	• ••									
	2.1	基本を	学ぶ	13						
3	クラー	イアン	卜設定	官の構	成	41				
	3.1	Atrust				アップ		43		
				-フェイス <sup>7</sup> ント設定			43 44			
	3.2	システ	ム設定の	の構成		45				
		3.2.1 3.2.2		ム]タブの -	概要 46	45				
		3.2.3	タイムン	ブーンとタ	イムサー			47		
							艮とパスワ 《スワード			48 52
		3.2.6	リモート	アシスタ	ンスのシ	ヤドウ設	定の構成		54	_
							マロス は無効化		56 58	
		3.2.9	自動セッ	トアップ	の有効化	だまたは無	<del>類</del> 化	62		
				7接続モー 7接続の詳		Z	62 64			
		3.2.12	電力使用	の管理		68				
				・ ライン機 ・ ログの収			は無効化 ニャプチャ		69 70	
		3.2.15	エラー報	告のため	のファイ	′ルのアッ	プロード		72	
				・コンヒュ ほの有効化			ンインポー 77	<b>L</b>	73	
		3.2.18	システム	およびネ	ットワー	ク情報の		78		
	3.3	ユーザ-						<b>79</b>		
			[ユーザ・ 設定一覧	ーインタ- [	-フェイン 80	<b>へ]</b> タフの	)	79		

3.4	3.3.5 3.3.6 3.3.7 3.3.8 3.3.9 <b>外部デ</b> 3.4.1 3.4.2 3.4.3 3.4.4 3.4.5 3.4.6 3.4.7 3.4.8	デスクトップとシステムの言語 クイックアクセスショートカッカスタム壁紙の使用 87 キーボード設定の調整 90 スクリーンセーバー設定の構成 <b>バイス設定の構成 93</b> [デバイス]タブの概要 93 設定一覧 94 USBストレージデバイスの設定接続されたUSBストレージデバ	トの非表示ま での構成 ベイスを手動で の無効化また 97 ート解除する 99	94 マウントおよびっ は有効化	83 86 'ジェクトする 96	95
3.5	ネット	ワーク設定の構成 10	3			
	3.5.1 3.5.2 3.5.3 3.5.4 3.5.5 3.5.6 3.5.7 3.5.8 3.5.9 3.5.10 3.5.11 3.5.12 3.5.13	[ネットワーク]タブの概要 設定一覧 104 有線ネットワーク設定の構成 IEEE 802.1X認証の構成 VPN接続の確立と停止 109 仮想プライベートネットワーク ホスト名へのIPアドレスのマッ フェールオーバークラスターリ シンクライアントのホスト名の ワイヤレスインターフェイスの ローミングのトリガーしきい値 ワイヤレス接続の確立と停止 ワイヤレス接続設定の構成	103 105 108 設定の構成 ピングの作成 ピングの構成 フを更 有効化または で で で 121 124	116 118 無効化 120	119	
		サービスへのWebベースのアク		ら設定の構成	125	
3.6	3.6.1 3.6.2 3.6.3 3.6.4 3.6.5 3.6.6 3.6.7 3.6.8 3.6.10 3.6.11 3.6.12 3.6.13 3.6.14 3.6.15 3.6.16 3.6.17 3.6.18 3.6.19		129 (へのアクセス 144 159 Jり替え ebログオン画 ードレイアウ 175 定の構成 Viewサービス 216 記動 の構成 226 こ227	172 面で終了する トとタイプの設定 212		
	3.6.21	リモートデスクトップまたはア 高度なRAS / RDP接続設定の構	<mark>'</mark> プリケーショ		233	
247	3.0.22	同/文/ふれみ) トレビ女称政化の作	<del>I</del> IJX	233		

# 付録 247

- A.1 mt182Lを工場出荷時のデフォルトにリセットする 249
- A.2 mt182Lのファームウェアの更新 250

A.3 VMware接続でのSECUREMATRIX認証の使用 252

A.4 オートセットアップのフローチャート 259

仕様書 261

# 1

# 概観

この章では、Atrust mt182Lの概要について説明します。

1.1 <b>前書き</b> デスクトップ仮想化とシンプルなエンドポイントデバイス	3
<b>1.2 特徴</b> Atrust mt182Lの主な機能	3
<b>1.3 パッケージ内容</b> パッケージの内容を確認してください	4
<b>1.4 外装部品</b> Atrust mt182Lの外装部品	5
<b>1.5 始める前に</b> バッテリースリープモードについて	9

# 1.1 前書き

デスクトップ仮想化は、ITインフラストラクチャの設計と実装を再考するための新しい視点を提供します。 デスクトップ仮想化インフラストラクチャでは、ステーションはもはや煩雑なデスクトップではなく、単に ユーザーがサーバーから配信サービスにアクセスするためのエンドポイントデバイスです。

デスクトップ仮想化テクノロジーの導入により、次のメリットを大幅に享受できます。

- オンデマンドアプリケーション/デスクトップ
- 作業環境の一元管理
- エンドポイントのソフトウェア/ハードウェアの問題を大幅に削減
- システム保守の簡素化とシステムセキュリティの向上
- 低コストのエンドポイントデバイスによる拡張性の向上

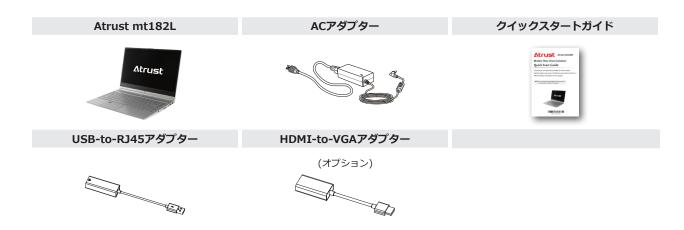
# 1.2 特徴

Atrust mt182Lモバイルシンクライアントの主な機能は次のとおりです。

- 内蔵ワイヤレス802.11 ac / a / b / g / n、Bluetooth 4.2、およびイーサネットネットワークインターフェイス
- 業界をリードする企業の幅広いデスクトップ仮想化ソリューションのサポート:
  - Microsoft® Remote Desktop
  - Citrix® XenApp™, XenDesktop®, Virtual AppsおよびDesktops™, VDI-in-a-Box™
  - VMware® View™およびHorizon View™
- 高解像度テクノロジーのサポート
  - Microsoft® RemoteFX®
  - Citrix® HDX™
  - VMware® View™ PCoIP®
- さまざまなアプリケーション/デスクトップへの簡単なクリックアクセス
- ローカル管理とリモート管理の両方をサポート

# 1.3 パッケージ内容

パッケージの内容を確認してください。すべてのアイテムがパッケージに含まれていることを確認してくだ さい。不足または破損しているものがある場合は、ただちに販売店にご連絡ください。

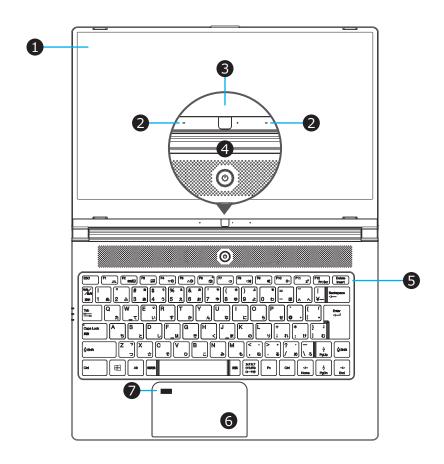




• パッケージには、クイックスタートガイドのハードコピーが含まれていない 場合があります。この場合、PDF形式のソフトコピーが提供されます

# 1.4 外装部品

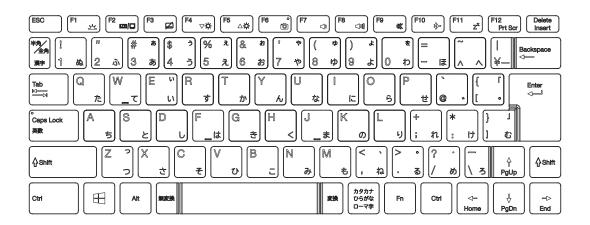
# ディスプレイおよびベースコンポーネント



No.	符号	成分	説明文
1		液晶ディスプレイ	視覚的な出力のための内蔵ディスプレイ。
2		マイクロフォン	オーディオ入力用の内蔵マイク。
3		ウェブカメラ	リアルタイムビデオ用の内蔵ビデオカメラ。
4	(h	電源スイッチ	<ul><li>押して、mt182Lの電源を入れます。</li><li>mt182Lがオンのときに押してシャットダウンします。</li></ul>
5		キーボード	制御および入力用の内蔵キーボード。
6		タッチパッド	制御および入力用の内蔵ポインティングデバイス。
7		指紋センサー	指紋サインイン用の内蔵リーダー(mt182Lは非対応)。

# Fnキーの組み合わせ

Fn と別の特定のキー(ほとんどに1つの印刷された記号が付いている)の組み合わせにより、ニー ズに合わせてハードウェア設定をすばやく調整できます。

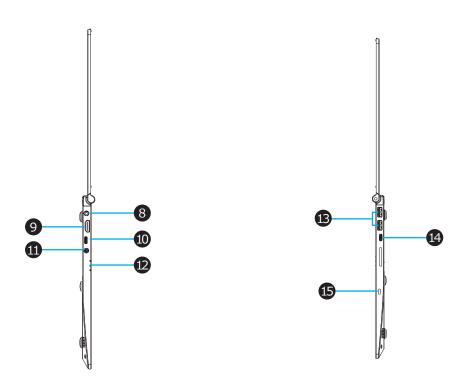




• Fnキーの組み合わせを使用するには、Fnを押したまま、別のキーを押します。

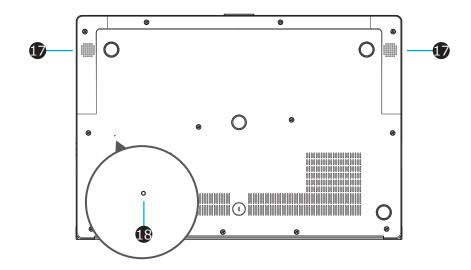
組み合わせ	説明文	組み合わせ	説明文
Fn + (F1 <u>34</u> )	<b>Fn + F1</b> キーボードのバックライトの明るさを切り 替えます。	Fn + F9 4\$	Fn + F9 サウンドをミュート/ミュート解除するため に使用します。
Fn + F2 co/C	<b>Fn + F2</b> ディスプレイの使用を切り替えるために使 用します。	Fn + (□ →	Fn + F10 機内モードを有効/無効にするために使用 します。
Fn + (F3 🔀	Fn + F3 タッチパッドを有効/無効にするために使 用します。		Fn + F11 を使用して、システムスリープモードに入 ります。電源ボタンまたは任意のキーを押 して終了します。
Fn + F4 ▽☆	<b>Fn + F4</b> LCDディスプレイの輝度を下げるために使 用します。	Fn + F12 Prt Scr	Fn + F12 Pri Scr キーとして機能するために使用し ます。
Fn + (F5 △☆	<b>Fn + F5</b> LCDディスプレイの輝度を上げるために使 用します。	Fn + \( \bigcap_{PgUp}	<b>PgUp</b> キーとして機能するために使用します。
Fn + F6 ©	Fn + F6 ウェブカメラを有効/無効にするために使 用します。	Fn + ↓ ↓ PgDn	PgDn キーとして機能するために使用し ます。
Fn + F7	<b>Fn + F7</b> 内蔵スピーカーの音量を下げるときに使 用します。	Fn + ← Home	<b>ホーム</b> キーとして機能するために使用し ます。
Fn + F8 (11)	Fn + F8 内蔵スピーカーの音量を上げるために使用 します。	Fn + => End	End キーとして使用します。

# 左側と右側のコンポーネント



No.	符号	成分	説明文
8		DC IN	ACアダプターに接続します。
9	наті	HDMIポート	高品質のデジタルオーディオビジュアルデバイスに接続します。
10		USB-Cポート (USB 3.1 Gen 1)	USB-Cデバイスに接続します。
11		オーディオコンボジャック	ヘッドフォンのセットに接続します。
	Ů	パワーLED	<ul><li>システムがオンのときは青く光ります。</li><li>システムがオフになると消灯します。</li><li>システムがスリープモードのときはオレンジ色に点灯します。</li></ul>
12	[ +)	バッテリーLED	<ul><li>バッテリーの充電中はオレンジ色に点灯します。</li><li>バッテリーが完全に充電されると青く光ります。</li></ul>
	E	ワイヤレスLED	<ul><li>ワイヤレスネットワークが有効になると、青色に点灯します。</li><li>機内モードが有効になると消灯します。</li><li>機内モード:無効になっているワイヤレスネットワーク</li></ul>
13	SS <del>C</del> ,	USB-Aポート (USB 3.1 Gen 1)	USB-Aデバイスに接続します。
14		USB-Cポート (USB 3.1 Gen 1)	USB-Cデバイスに接続します。
15		ケンジントンセキュリティスロット	ケンジントンケーブルを接続して、モバイルシンクライアント を保護します。

# 下部コンポーネント



No.	符号	成分	説明文
17		スピーカー	オーディオ出力用の内蔵スピーカー。
18	5	バッテリーオフホール	内部のボタンを押して、バッテリースリープモードに入ります。 詳細は、"バッテリースリープモードについて" on page 9 を参照して ください。

# 1.5 始める前に

# バッテリースリープモードについて

初めて使用する場合は、内蔵バッテリーがスリープモードを終了するために、付属のACアダプターを使用 してmt182Lを電源コンセントに接続する必要があります。

必要なときにバッテリースリープモードに入るには、次のようにしてください:

- 1. mt182Lをシャットダウンして取り外します。
- 2. 開いたペーパークリップの先端(または先のとがっていない同様の物体)を使用して、バッテリーオ フ穴の内側のボタンを軽く押します。



• バッテリースリープモードを終了してmt182Lの電源をオンにするには、まず 付属のACアダプターを使用してプラグを差し込む必要があります。

# 2

# 入門

この章では、mt182Lの基本的な使用方法について説明します。

## 2.1 基本を学ぶ

トピック 1: Atrust クイック接続	14
トピック 2: ワイヤレス接続のセットアップ	16
トピック 3: タイムゾーンの構成	18
トピック 4: デスクトップまたはアプリケーションへのアクセス	19
トピック 5: 組み込みアプリケーションの使用	36
トピック 6: 電力の使用の表示と管理	38

# 2.1 基本を学ぶ

以下のトピックでは、mt182Lの基本的な使用方法について説明します。

トピック 1: Atrust クイック接続

トピック 2: ワイヤレス接続のセットアップ

トピック 3: タイムゾーンの構成

トピック 4: デスクトップまたはアプリケーションへのアクセス

- Microsoft Remote Desktop Services (RDP sessions)
- Citrix Services (ICA sessions)
- VMware View or Horizon View Services (View sessions)

トピック 5: 組み込みアプリケーションの使用

トピック 6: 電力の使用の表示と管理



#### 注意

mt182Lのデフォルトで自動セットアップが有効になっている場合、そのユーザー環境はこことは異なる場合があり、プリセット構成によって異なります。セクション 3.2.9 および appendix A.4を参照してください。詳細については、IT管理者にお問い合わせください。



#### 注意

• mt182Lには3つのクライアントモードがあります。

No.	モード	説明文	
1	アプライアンス	クライアントは、目的のRDP / ICA /ビュー/ Web / 2Xセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。	
		利用可能なアクションは次のとおりです。	
		• 新しいセッションを再開する	
		<ul><li>シンクライアントの再起動</li></ul>	
		<ul><li>シンクライアントをオフにする</li></ul>	
2	自動起動	クライアントは、目的のRDP / ICA /ビュー/ Web / 2Xセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。	
		利用可能なアクションは次のとおりです:(Webブラウザーには該当なし)	
		<ul><li>ローカルデスクトップに戻る</li></ul>	
		<ul><li>新しいセッションを再開する</li></ul>	
		<ul><li>シンクライアントの再起動</li></ul>	
		• シンクライアントをオフにする	
3	クイック接続	ステム起動後クライアントはAtrustクイック接続画 面に入ります。	

- クイック接続モードでは、クライアント構成をあまり必要とせずに、Microsoftリモートデスクトップ/ Citrix / VMware ViewまたはHorizon Viewサービスにすばやくアクセスできます。この章の主な目的は、クイック接続モードでmt182Lを使用する方法を説明することです。 mt182Lのデフォルトはクイック接続モードではありません(再起動後、Atrustクイック接続画面ではなくローカルLinuxデスクトップに入ります)。
- 他のモードを理解し、詳細設定を構成し、mt182Lをカスタマイズするには、第3章の"クライアント設定の構成 (P.41)"を参照してください。

## トピック 1: Atrust クイック接続

mt182Lの使用を開始するには、次の手順に従ってください。

1. 電源ボタンを押して、クライアントの電源を入れます。システムがローカルのLinuxデスクトップに 入るまでしばらく待ちます。





2. デスクトップのAtrustクイック接続 をクリックして、Atrustクイック接続画面に入ります。





• そのショートカットが表示されない場合は、[**スタート**]> [設定]> [Atrust Client Setup]> [システム]> [クイック接続]をクリックして、クイック接 続を有効にします。

- 3. (a) 必要に応じて、 **トピック 2** に進み、ワイヤレス接続をセットアップします。 (b) **トピック 3** に移動して、**初めて**使用するタイムゾーンを設定します。 (c) タイムゾーンが設定されている場合は、**トピック 4**にアクセスしてサービスにアクセスしてください。

### Atrustクイック接続画面

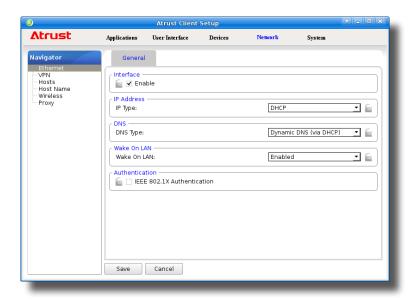


No.	アイコン		
1	電源オフ		
2	ローカルデスクト ップ	クリックして、ローカルLinuxデスクトップに戻ります。	
3	セットアップ	クリックしてAtrust Client Setupを起動します。	
4	ミキサー	クリックしてオーディオ設定を構成します。	
5	パワー	電源 (アダプター、バッテリー、またはその両方) と状況を示します。 詳細については、クリックして電源管理を起動してください。  注意: 電源管理では、mt182Lの省電力設定を構成できます。ニーズに合わせて適切なオプションを選択できます。詳細は"トピック 6: 電力の使用の表示と管理 (P.38)"を参照してください。  注意: mt182Lがシステムスリープモードに手動で (Fn + F12 または	
6	ネットワーク	ネットワークタイプ(有線または無線)とステータスを示します。 クリックしてネットワーク設定を構成します。 注意: 無線接続を設定するには、"トピック 2: ワイヤレス接続のセットアップ (P.16)"を参照 してください。	

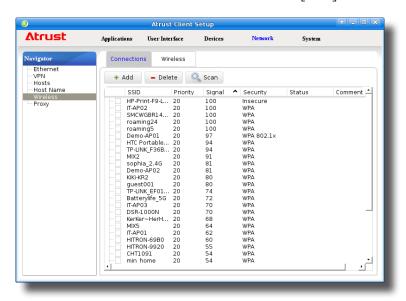
## トピック 2: ワイヤレス接続のセットアップ

ワイヤレス接続をセットアップするには、次の手順を実行してください。

1. Atrustクイック接続画面で、Network 🤛 アイコンをクリックします。 Atrust Client Setupが起動します。

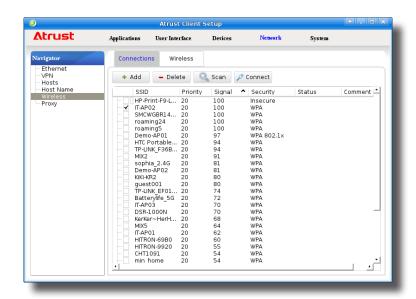


2. ワイヤレスをクリックします。ワイヤレスネットワークリストが[接続]サブタブの下に表示されます。



#### 注意

- 3. クリックして、目的のワイヤレスネットワークを確認します。接続ボタン Connect がワイヤレスネットワークリストの一番上に表示されます。



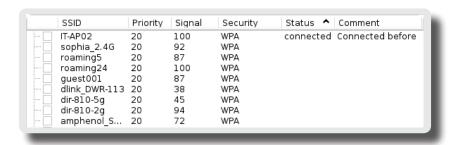
- 4. ✓ Connect をクリックして、選択したワイヤレスネットワークを介してワイヤレスネットワーク接続を作成します。
- 5. 確認または認証を求めるウィンドウが表示されます。





#### 注意

- 以前にこのワイヤレスネットワークにアクセスしたことがある場合、パスワードは今後のアクセスのために自動的に記録されます。この場合、パスワードを再度入力する必要はありません。無線接続の確立を確認するだけです。
- 認証に必要な情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 6. 必要なパスワードを入力し、**[接続]**をクリックして続行します。または、**[OK]**をクリックして、ワイヤレス接続の確立を確認します。
- 7. 完了すると、ワイヤレスネットワークの[ステータス]列に接続が表示されます。



8. Atrust Client Setupを閉じます。

## トピック 3: タイムゾーンの構成

mt182Lのタイムゾーンを設定するには、次の手順を実行してください。

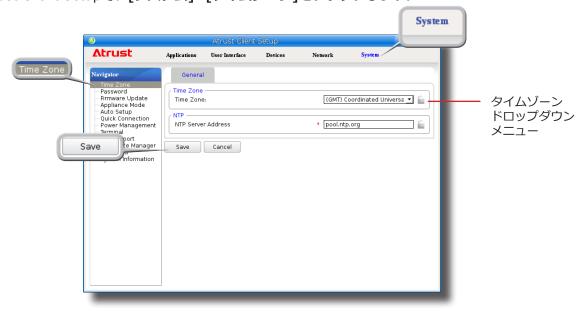
1. **Setup** O アイコンをクリックして、Atrust Client Setupを起動します。

#### **Atrust Client Setup** Λtrust カテゴリータブ Applications User Interface Devices System タブをクリックして Remote Deskto Citrix ICA VMware View 設定カテゴリを選択 ナビゲーションエリア Remote Desktop Available Sessions: 0 Configure RDP (Remote Desktop Protocol) connection settings します。 設定項目またはエント Web Browser Parallels 2X Client Citrix ICA Available Sessions: 0 リをクリックして選択 Configure Citrix ICA connection settings します。 VMware View Available Sessions: 0 Configure VMware View connection settings Configure SSH (Secure Shell) session settings **Web Browser** Available Sessions: 0 Configure local browser settings Parallels 2X Client Available Sessions: 0 Configure Parallels 2X Client settings



#### 注意

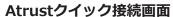
- クライアント設定を構成し、Atrust Client Setupでmt182Lをカスタマイズす る方法の詳細については、第3章の"クライアント設定の構成 (P.41)"を参 照してください。
- 2. Atrust Client Setupで、[システム]>[タイムゾーン]をクリックします。



- 3. [タイムゾーン]ドロップダウンメニューをクリックして、目的のタイムゾーンを選択します。
- 4. 「保存]をクリックして適用し、Atrust Client Setupを閉じます。

# トピック 4: デスクトップまたはアプリケーションへのアクセス

Atrustクイック接続画面から、**リモートデスクトップ、Citrix、VMware View**の3種類のデスクトップ仮想化サービスにアクセスできます。



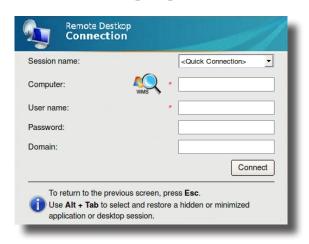


アイコン	説明文	
リモートデスクトップ	クリックして、Microsoftリモートデスクトップサービスにアクセスします。	20
Citrix	クリックして、Citrix XenApp、XenDesktop、またはVDI-in-a-Boxサービスにアクセスします。	21
VMware View	クリックして、VMware ViewまたはHorizon Viewサービスにアクセスします。	33

## Microsoftリモートデスクトップサービスへのアクセス

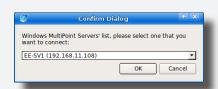
Microsoftリモートデスクトップサービスにアクセスするには、次の操作を行います。

- 1. Atrustクイック接続画面で 😼 Remote Desktop をクリックします(**トピック4**)の画面を参照)。
- 2. 表示されたウィンドウで、サーバーのコンピューター名またはIPアドレス、ユーザー名、パスワー ド、およびドメイン(ある場合)を入力し、[接続]をクリックします。





- ◆ ネットワーク経由で利用可能なWindows MultiPoint Serverシステムを検出するには、次の手 順を実行してください。
  - 1. コンピューターフィールドの左側にある をクリックします。
  - 2. 完了すると、検索結果を示すウィンドウが表示されます。



- 3. ドロップダウンメニューをクリックして目的のシステムを選択し、[OK]をクリックします。
- 4. 選択したシステムのIPアドレスが[コンピュータ]フィールドに表示されます。
- Atrustクイック接続画面(トピック4の画面を参照)に戻るには、Escキーを押します。
- 3. リモートデスクトップが画面に表示されます。

# Citrixサービスへのアクセス

#### サーバーへの接続

Citrixサービスにアクセスできるサーバーに接続するには、次の操作を行います。

- 1. Atrustクイック接続画面で 🥦 Remote Desktop をクリックします (トピック4)の画面を参照)。
- 2. 表示されるAtrust Citrix接続画面で、サーバーの適切なIPアドレス/ URL / FQDNを入力し、[ログ **オン**]をクリックします。

## Atrust Citrix接続画面





• XenDesktopおよびXenAppの新しいバージョンでは、サーバーのサブパスをさらに指定する必要がある場合があります。詳細については、次の表を参照してください。

Citrix 製品	接続するコンポーネント	接続アドレス
XenApp 6.5以前	ウェブインターフェース	IP / URL / FQDN
XenDesktop 5.6以前	ウェブインターフェース	IP / URL / FQDN
仮想アプリとデスクトップ (XenAppおよび XenDesktop 7.5以降)	StoreFront	IP / URL / FQDNおよびサブパス <b>例えば -</b> FQDN: X75.CTX.poc サブパス: / Citrix / StoreWeb(デフォルト) 接続アドレス: X75.CTX.poc / Citrix / StoreWeb

- FQDNは完全修飾ドメイン名の頭字語です。
- Atrustクイック接続画面(トピック4の画面を参照)に戻るには、Escキーを押します。

## Citrixサービスへのログオン

サーバーに接続すると、**Citrixログオン画面**が表示されます。 表示される画面とCitrixサービスに必要な認証情報は、サービスの種類とバージョンによって異なる場合があります。



#### 注意

• 「この接続は信頼できません」という警告メッセージが表示される場合があります。 詳細についてはIT管理者に相談し、接続が最初に安全であることを確認してください。 セキュリティ証明書をインポートするには、セクション "3.2.16 リモートコンピューターの証明書のインポート (P.73)"を参照してください。バイパスするには、[リスクを理解する]> [例外を追加]> [セキュリティ例外を確認]をクリックします。

Citrixログオン画面の例を以下に示します。

#### XenDesktop 5.6 Platinum:

## Citrixログオン画面



必要なユーザー名と・パスワードを入力し、[ログオン]をクリックして仮想デスクトップにアクセスします。



#### 注意

• Atrustクイック接続画面に戻るには、Escを押します。

#### XenApp 6.0の基礎:

## Citrixログオン画面

必要なユーザー名、パ スワード、ドメインを 入力し、**[ログオン]**を クリックして仮想アプ リケーションにアクセ スします。





- Atrustクイック接続画面に戻るには、Escを押します。
- XenAppサーバーがどのドメインにも属していない場合は、サーバーのコンピ ューター名を「ドメイン」フィールドに入力します。

#### XenApp 6.5 Platinum:

#### Citrixログオン画面

必要なユーザー名、パ スワード、ドメインを 入力し、**[ログオン]**を クリックして仮想アプ リケーションにアクセ スします。





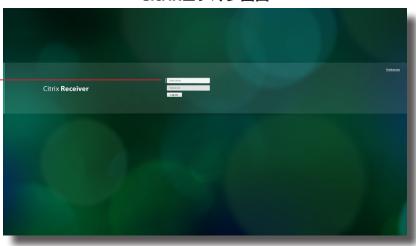
## 注意

- Atrustクイック接続画面に戻るには、Escを押します。
- XenAppサーバーがどのドメインにも属していない場合は、サーバーのコンピ ューター名を「ドメイン」フィールドに入力します。

#### **VDI-in-a-Box:**

## Citrixログオン画面

必要なユーザー名と・ パスワードを入力 し、**[ログオン]**をク リックして仮想デス クトップにアクセス します。



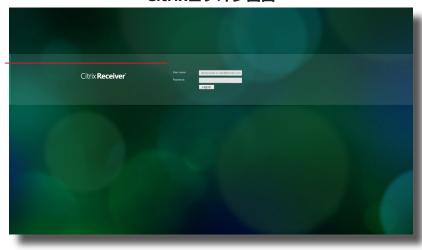


• Atrustクイック接続画面に戻るには、**Esc**を押します。

## XenAppおよびXenDesktop 7.5 Platinum:

## Citrixログオン画面

必要なユーザー名と パスワードを入力 し、**[ログオン]**をク リックして仮想デス クトップにアクセス します。



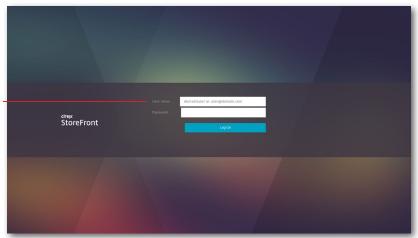


• Atrustクイック接続画面に戻るには、Escを押します。

# 仮想アプリとデスクトップ7 1808.2:

# Citrixログオン画面

必要なユーザー名と -パスワードを入力 し、[**ログオン**]をク リックして仮想アプ リケーションとデス クトップにアクセス します。





• クイック接続画面に戻るには、Escキーを押します。

# 仮想デスクトップとアプリケーションへのアクセス

ログオン後、デスクトップの選択画面またはアプリケーションの選択画面に入ります。 画面で、目的のデ スクトップまたはアプリケーションをクリックして選択できます。



• 提供された資格情報に割り当てられている仮想デスクトップのタイプが1つだ けの場合は、仮想デスクトップを直接入力できます。



### ヒント

• Alt + Tabを使用して、非表示または最小化されたアプリケーションまたは デスクトップを選択して復元します。

以下は、選択画面と提供されるデスクトップおよびアプリケーションの例です。

# XenDesktop 5.6 Platinum:

1. ログオン後、**デスクトップの選択画面**が表示されます。



デスクトップ選択画面

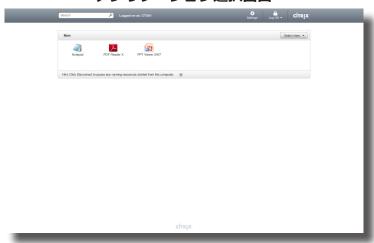
- 2. 目的のデスクトップをクリックして選択します。
- 3. 選択した仮想デスクトップが画面に表示されます。



仮想デスクトップの例: Windows 7 Ultimate

# XenApp 6.5 Platinum:

1. ログオン後、**アプリケーションの選択画面**が表示されます。

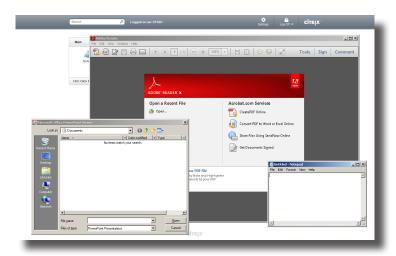


アプリケーション選択画面

- 2. 目的のアプリケーションをクリックして選択します。
- 3. 選択したアプリケーションが画面に表示されます。

# 仮想アプリケーションの例

PowerPoint Viewer, Adobe ReaderおよびNotepad





### 注意

- アプリケーション選択画面をクリックすると、画面が前面に表示され、起動されたすべてのアプリケーションウィンドウが非表示のままになります。 **Alt + Tab**を使用して、非表示または最小化されたアプリケーションウィンドウを選択して復元します。
- 仮想デスクトップまたはアプリケーションを終了すると、デスクトップの選択またはアプリケーションの選択画面に戻ります。 画面では、次のことができます。
  - クリックして別の仮想デスクトップを起動するか、他のアプリケーションを起動します。
  - 画面上部の[ログオフ]をクリックして、Citrixログオン画面に戻ります。
  - Escを押して、Atrustクイック接続画面に直接戻ります。

#### XenAppおよびXenDesktop 7.5 Platinum:

1. ログオン後、**アプリケーションの選択/デスクトップの選択画面**が表示されます。



アプリケーション選択画面

XenApp 7.5に初めてログインすると、この画面が表示される場合があります。 クリックするだけで、リストからお気に入りのアプリを追加できます。



は、**アプリケーションとデス クトップの選択画面**を切り替 えるために2つのボタンが使 用できる場合があります。

# デスクトップ選択画面



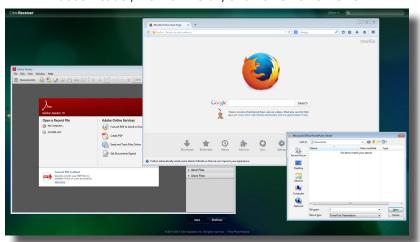
- 2. 目的のアプリケーションまたはデスクトップをクリックして選択します。
- 3. 選択したアプリケーションまたはデスクトップが画面に表示されます。

# 仮想デスクトップの例: Windows Server 2008 R2



# 仮想アプリケーションの例

Adobe Reader, Mozilla Firefox, and PowerPoint Viewer





- アプリケーション選択画面をクリックすると、画面が前面に表示され、起動されたすべ てのアプリケーションウィンドウが非表示のままになります。 Alt + Tabを使用して、 非表示または最小化されたアプリケーションウィンドウを選択して復元します。
- 仮想デスクトップまたはアプリケーションを終了すると、デスクトップの選択またはア プリケーションの選択画面に戻ります。 画面では、次のことができます。
  - クリックして別の仮想デスクトップを起動するか、他のアプリケーションを起動します。
  - 画面上部の[ログオフ]をクリックして、Citrixログオン画面に戻ります。
  - Escを押して、Atrustクイック接続画面に直接戻ります。

# 仮想アプリとデスクトップ7 1808.2:

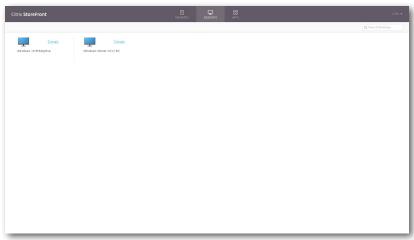
1. ログオン後、お気に入り/アプリケーションの選択/デスクトップの選択画面が表示されます。

お気に入り画面

ログインすると、この画面が表示される場合があります。お気に入りを追加するには、画面の指示に従ってください。



デスクトップ選択画面



アプリケーション選択画面



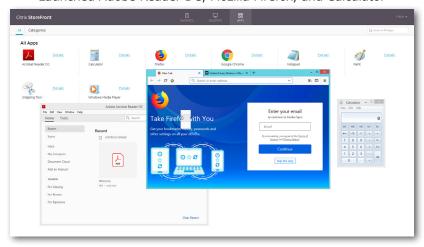
- 2. 目的のアプリケーションまたはデスクトップをクリックして選択します。
- 3. 選択したアプリケーションまたはデスクトップが画面に表示されます。





# 仮想アプリケーションの例

Launched Adobe Reader DC, Mozilla Firefox, and Calculator





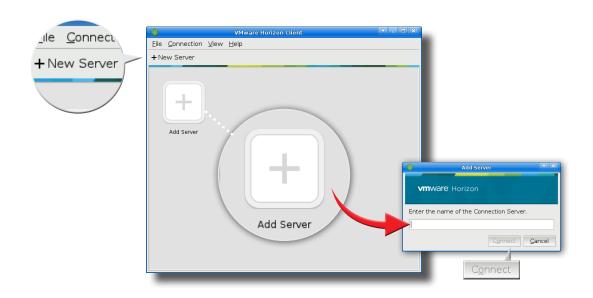
### 注意

- アプリケーション選択画面をクリックすると、画面が前面に表示され、起動されたすべて のアプリケーションウィンドウが非表示のままになります。 Alt + Tabを使用して、非表 示または最小化されたアプリケーションウィンドウを選択して復元します。
- 仮想デスクトップまたはアプリケーションを終了すると、お気に入り/デスクトップの選 択/アプリケーションの選択画面に戻ります。 画面では、次のことができます。
  - クリックして別の仮想デスクトップを起動するか、他のアプリケーションを起動します。
  - 画面上部の[ログオフ]をクリックして、Citrixログオン画面に戻ります。
  - **Esc**キーを押して、**クイック接続画面**に直接戻ります。

# VMware ViewまたはHorizon Viewサービスへのアクセス

VMware ViewまたはHorizon Viewサービスにアクセスするには、以下を実行してください。

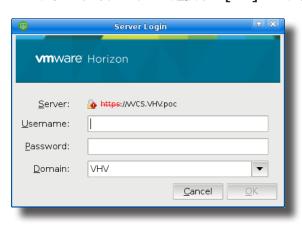
- 1. Atrustクイック接続画面で Www.are View をクリックします (トピック4の画面を参照)。
- 2. 開いたウィンドウで、[サーバーの追加]アイコンをダブルクリックするか、左上隅の[新しいサーバー]をクリックします。 VMware View接続サーバーの名前またはIPアドレスの入力を求めるウィンドウが表示されます。
- 3. 必要な情報を入力し、[接続]をクリックします。





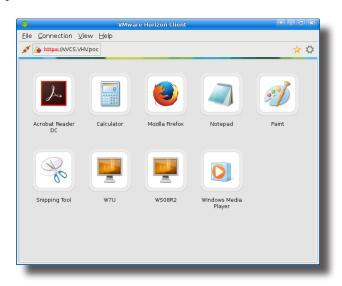
#### 注意

- Atrustクイック接続画面(トピック4の画面を参照)に戻るには、開いているウィンドウを閉じます。
- 4. ウェルカムウィンドウが表示される場合があります。[OK]をクリックして続行します。
- 5. 資格情報の入力を求めるウィンドウが表示されます。 ユーザー名とパスワードを入力し、[ドメイン] ドロップダウンメニューをクリックしてドメインを選択し、**[OK]**をクリックします。





- リモートサーバーに関する証明書メッセージがウィンドウに表示される場合があります。 詳細についてはIT管理者に相談し、接続が最初に安全であることを確認してください。 セキュリティ証明書をインポートするには、セクション "3.2.16 リモートコンピューター の証明書のインポート (P.73)"を参照してください。バイパスするには、**[安全でない接** 続]をクリックします。
- 6. デスクトップとアプリケーションのリストが表示され、提供された資格情報で使用可能なデスクトッ プやアプリケーションが表示されます。 ダブルクリックして、目的のデスクトップまたはアプリケー ションを選択します。



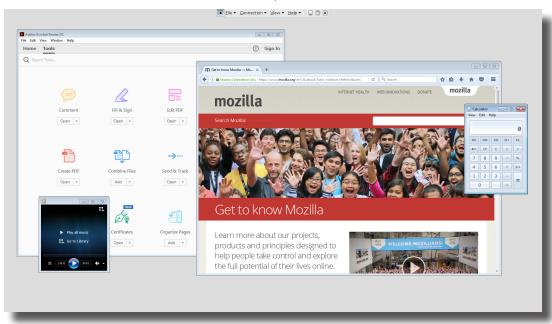
7. 仮想デスクトップまたはアプリケーションが画面に表示されます。





# 仮想アプリケーションの例(VMware Horizon 6 with View)

Adobe Reader, Windows Media Player, Mozilla Firefox, and Calculator

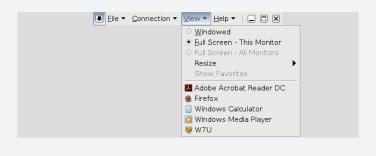




- デスクトップまたはアプリケーションが全画面で表示されます。 あなたはできる:
  - 上部のツールバーで[ファイル]> [デスクトップとアプリケーションのリスト に戻る]をクリックして、デスクトップとアプリケーションのリストを呼び出 します。



上部のツールバーの[表示]をクリックして、仮想デスクトップまたはアプリケ ーションに切り替えます。



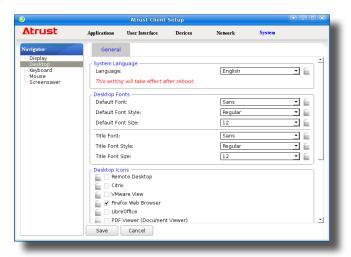
# トピック 5: 組み込みアプリケーションの使用

組み込みアプリケーション(Webブラウザ、PDFビューア、LibreOfficeなど)を使用するには、次の手順を実行します。

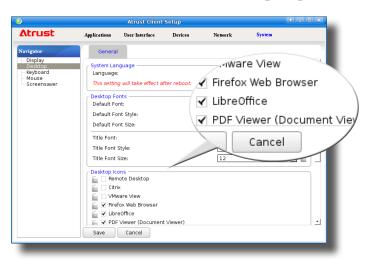


#### 注意

- 組み込みアプリケーションのアクセスショートカットは、デフォルトで非表示になっている場合があります。 **最初に**、デスクトップと[スタート]メニューでこれらのショートカットの表示を有効にする必要があります。
- 1. ローカルデスクトップと[スタート]メニューにアプリケーションショートカットの表示を有効にします。
  - 1) ローカルデスクトップで、**[スタート]> [設定]> [Atrustクライアントセットアップ**]をクリックして、Atrustクライアントセットアップを起動します。
  - 2) Atrust Client Setupで、[ユーザーインターフェイス]> [デスクトップ]をクリックします。



3) LibreOfficeとPDF Viewerをクリックしてチェックし、[保存]をクリックして適用します。



4) Atrust Client Setupを閉じます。

2. ショートカットはローカルデスクトップと[スタート]メニューに表示されます。

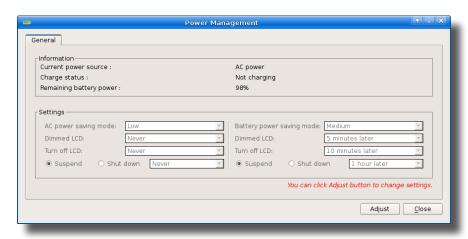


3. デスクトップまたは[スタート]メニューのショートカットをクリックして、アプリケーションを起動します。

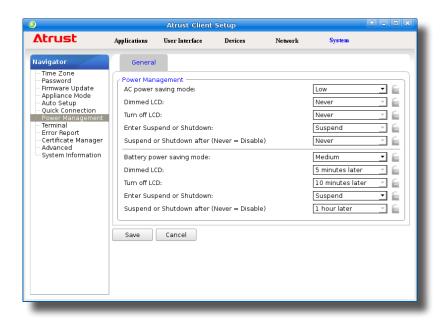
# トピック 6: 電力の使用の表示と管理

mt182Lの電力使用量を表示および管理するには、次の手順を実行してください。

1. Atrustクイック接続画面またはローカルLinuxデスクトップで、右下隅にある**Power ■** アイ コンをクリックしてPower Managementを起動します。 ここでは、電力の使用と設定を表示できま



2. 必要に応じて、[調整]をクリックしてAtrust Client Setupを起動し、電源の設定を構成します。



3. AC電源とバッテリーに必要な省電力モードを選択するか、[カスタム]を選択して個々の設定をカスタ マイズし、[保存]をクリックして適用します。

基本を学ぶ



• mt182Lがシステムスリープモードに手動で(Fn + F12 また (少 > サスペンド) または自動的に (システム>電源管理を通じてAtrust Client Setupで構成された) に入った場合でも、一定の電力が必要です。 代わりに[シャットダ ウン]オプションを使用して、電力を大幅に節約できます。



• バッテリーのみを電源として使用する場合は、データの損失を防ぐのに十分 な電力があることを確認してください。

# クライアント設定の構成

この章では、Atrust Client Setupを使用して詳細設定を構成し、mt182Lをカスタマイズする方法について説明します。

3.1 Atrustクライアントのセットアップ	
インターフェースの概要	43
設定一覧	44
3.2 システム設定の構成	
システムタブの概要	45
設定一覧	46
3.3 ユーザーインターフェイス設定の構成	
[ユーザーインターフェイス]タブの概要	79
設定一覧	80
3.4 外部デバイス設定の構成	
[デバイス]タブの概要	93
設定一覧	94
3.5 ネットワーク設定の構成	
[ネットワーク]タブの概要	103
設定一覧	46
3.6 サービスアクセス設定の構成	
[アプリケーション]タブの概要	127
設定一覧	128

# 3.1 Atrustクライアントのセットアップ

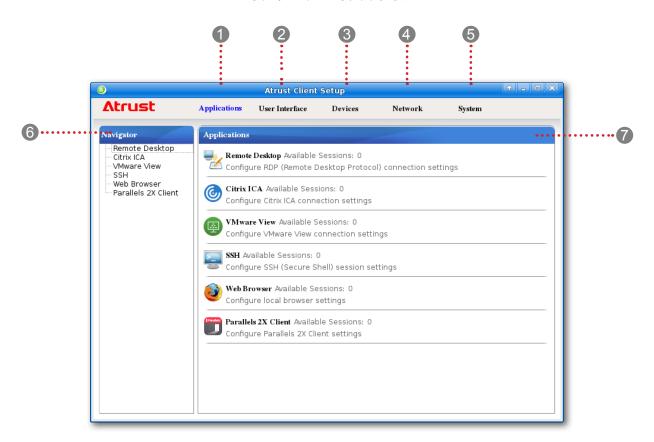
mt182Lには、クライアント設定の構成とmt182Lのカスタマイズに役立つ組み込みのローカルクライアント管理コンソールであるAtrust Client Setupが付属しています。

# 3.1.1 インターフェイスの概要

mt182LでAtrust Client Setupにアクセスするには、次の手順を実行してください。

- 1. Atrustクイック接続画面で、**Setup** O アイコンをクリックして、Atrust Client Setupを起動します。
- 2. Atrust Client Setupウィンドウが表示されます。

#### インターフェイスの概要



インタ・	ーフェース要素	
No.	名前	説明文
1	アプリケーションタブ	クリックして、クライアントを介したサービスアクセスの設定を構成します。
2	[ユーザーインターフェ イス]タブ	クリックして、クライアントのユーザーインターフェイスの設定を構成します。
3	デバイスタブ	クリックして、クライアントの外部デバイスの設定を構成します。
4	ネットワークタブ	クリックして、クライアントをネットワークおよびサーバーに接続するための設定を構成します。
5	システムタブ	クリックして、クライアントの操作とメンテナンスの設定を構成します。
6	ナビゲーションエリア	クリックすると、選択したタブの下の設定項目を選択したり、選択した設定項目の下の設定エントリを選択したりできます。

インタ-	ーフェース要素	
No.	名前	説明文
7	構成エリア	設定項目またはエントリを選択した場合の設定値を設定します。

# 3.1.2 クライアント設定の概要

次の表は、5つの主要な設定カテゴリの下の各設定項目の簡単な説明を示しています。

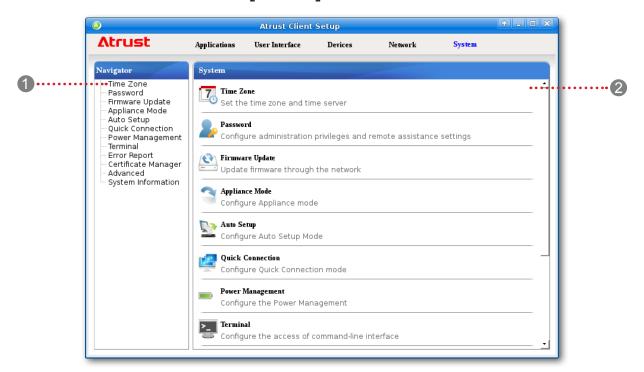
タブ	設定項目	セクション	ページ
システム	<ul> <li>タイムゾーンとタイムサーバーの構成</li> <li>パスワードの構成</li> <li>リモートアシスタンス設定の構成</li> <li>ファームウェアの更新</li> <li>アプライアンスモードの有効化/無効化</li> <li>自動セットアップを有効にする</li> <li>クイック接続の構成</li> <li>電力使用の管理</li> <li>テキストベースの(コマンドライン)関数の実行の有効化/無効化</li> <li>エラー報告用のイベントログの収集、関連画面のキャプチャ、ファイルのアップロード</li> <li>リモートコンピューターの証明書のインポート</li> <li>自動登録の有効化/無効化</li> <li>システムおよびネットワーク情報の表示</li> </ul>	3.2 システム設定の構成	45
ユーザーインタ ーフェース	<ul> <li>表示設定の構成</li> <li>デスクトップとシステム言語のカスタマイズ</li> <li>クイックアクセスショートカットの非表示/表示</li> <li>カスタム壁紙を使用する</li> <li>キーボード設定の調整</li> <li>マウス設定の調整</li> <li>スクリーンセーバー設定の構成</li> </ul>	3.3 ユーザーインターフェイス設定の構成	79
デバイス	<ul><li>USBストレージデバイスの設定の構成</li><li>オーディオデバイスの設定の構成</li><li>ローカル/ネットワークプリンターの設定の構成</li></ul>	3.4 外部デバイス設定の構成	93
ネットワーク	<ul> <li>有線ネットワークの設定</li> <li>VPN設定の構成</li> <li>ホストの名前またはエイリアスへのIPアドレスのマッピングの作成</li> <li>フェールオーバークラスターリストの作成</li> <li>クライアントのホスト名を変更する</li> <li>ワイヤレスネットワーク設定の構成</li> <li>サービスへのWebベースのアクセスのプロキシ設定の構成</li> </ul>	3.5 ネットワーク設定の構成	103
アプリケーシ ョン	<ul> <li>Microsoft RDP接続設定の構成</li> <li>Citrix ICA接続設定の構成</li> <li>VMware View接続設定の構成</li> <li>SSH接続設定の構成</li> <li>ローカルWebブラウザー設定の構成</li> <li>Parallels 2X接続設定の構成</li> </ul>	3.6 サービスアクセス設定の構成	127

# 3.2 システム設定の構成

# 3.2.1 [システム]タブの概要

[システム]タブでは、クライアントの操作とメンテナンスの設定を構成できます。 [システム]タブの利用可能な設定にアクセスするには、Atrust Client Setupのタブをクリックします。

# [システム]タブの概要



インターフェース要素		
No.	名前	説明文
1	ナビゲーションエリア	[システム]タブの設定項目をクリックして選択します。
2	構成エリア	設定項目またはエントリを選択した場合の設定値を設定します。

# 3.2.2 設定一覧

タブ	設定	アイコン	説明文	セクション	ページ
	タイムゾーン	7	クリックして、mt182Lのタイムゾーンとタイムサーバーを 構成します。	3.2.3	47
			クリックして、mt182LユーザーのAtrust Client Setupのア クセス権限を設定します。	3.2.4	48
	パスワード	2	クリックして、ローカルデスクトップのログインパスワード を設定します。	3.2.5	52
			クリックして、リモートアシスタンスの設定を構成します。	3.2.6	54
	ファームウェアア ップデート	<b>(3)</b>	クリックして、ネットワーク経由でファームウェアを更新します。 この機能は、クライアントがリモートのAtrustデバイスマネージャーコンソールによって管理されている場合にのみクライアントに適用できます。	3.2.7	56
	アプライアンスモ ード	3	クリックしてアプライアンスモードを有効/無効にして、自動RDP / ICA /表示/ Web / 2Xセッションを許可/禁止します。 アプライアンスモードでは、クライアントは目的のRDP / ICA /表示/ Web / 2Xセッションで直接起動し、セッションを終了した後に構成されたアクションを実行します。	3.2.8	58
	オートセットア ップ		クリックすると、自動セットアップが有効になり、クライアントが起動時にプリセット設定を取得して、目的のユーザー環境に自動的に入ることができます。	3.2.9	62
システム	クイック接続	æ,	クリックしてクイック接続モードを構成します。	3.2.10 3.2.11	62 64
	パワー管理	<b></b>	クリックして電力の使用を管理します。	3.2.12	68
	ターミナル	2	クリックして、テキストベースの(コマンドライン)関数の 実行を有効/無効にします。	3.2.13	69
	T= 1 + 6		クリックしてエラーログを収集し、エラーレポート用の画面 キャプチャプログラムを起動します。	3.2.14	70
	エラーレポート	•	エラー報告のために、指定したFTPサーバーにファイルをアップロードするときにクリックします。	3.2.15	72
	証明書マネージ ヤー	Certificate (Control of Control o	クリックして、リモートコンピューターの証明書をインポートまたは管理します。	3.2.16	73
	アドバンス	×	自動登録などの詳細設定を構成するときにクリックします。	3.2.17	77
	システムインフォ メーション	0	クリックすると、システムとネットワークの詳細情報が表示されます。	3.2.18	78



### 注意

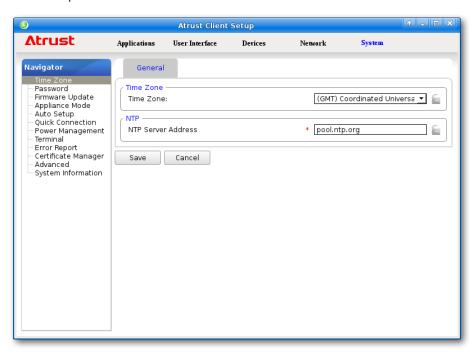
• Atrustデバイスマネージャーは、リモートの大規模クライアント管理コンソールであり、デスクトップ仮想化インフラストラクチャ内の多数のエンドポイントデバイスをリモートで管理するのに役立ちます。 Atrustデバイスマネージャーの詳細については、Atrustデバイスマネージャーのユーザーズマニュアルを参照してください。

### 3.2.3 タイムゾーンとタイムサーバーの構成

タイムゾーン設定では、希望のタイムゾーンとタイムサーバーを設定して、mt182Lの正確なシステム時刻を取得できます。

目的のタイムゾーンとタイムサーバーを設定するには、次の操作を行います。

1. Atrust Client Setupで、システム> タイムゾーンをクリックします。



- 2. [タイムゾーン]セクションで、ドロップダウンメニューをクリックして目的のタイムゾーンを選択します。
- 3. NTP(Network Time Protocol)セクションで、デフォルトを使用するか、目的のタイムサーバーを入力します。



#### 注意

- デフォルトのタイムサーバーのIPアドレスはpool.ntp.orgです。 デフォルト の詳細については、NTPプールプロジェクトのWebサイト (www.pool.ntp.org) を参照してください。
- タイムサーバーから正確な時刻を取得するには、mt182Lがネットワークまた はインターネットに接続されていることを確認してください。
- 4. [保存]をクリックして適用します。

# 3.2.4 Atrust Client Setupのアクセス権限とパスワードの構成

Atrust Client Setupのアクセス権は、パスワード設定でmt182Lユーザーに設定できます。



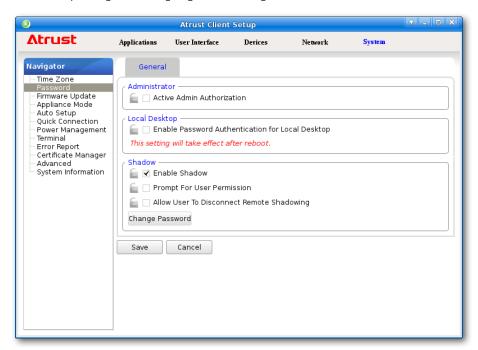
#### 注意

• すべてのmt182Lユーザーは、工場出荷時のデフォルトでAtrust Client Setup にアクセスできます。 この設定を使用して、必要に応じて変更を加えることができます。

### 管理者専用のアクセス権限とパスワードの設定

管理者のみにアクセス権とパスワードを設定するには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、[システム]> [パスワード]をクリックします。



- 2. [管理者]セクションで、[アクティブな管理者の承認]をクリックしてオンにします。
- 3. 管理者のアクセス権限が付与され、パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。

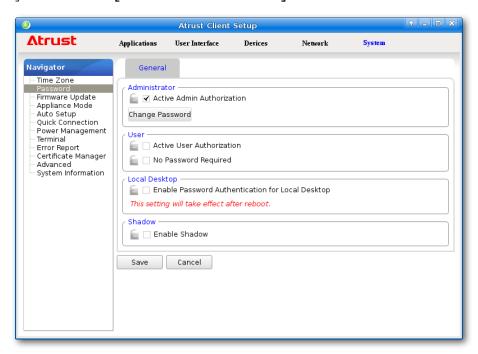


- 4. 目的のパスワードを入力し、[OK]をクリックして確認します。
- 5. [保存]をクリックして、すべての変更を保存します。

### 標準ユーザーにもアクセス権限とパスワードを設定する

標準ユーザーにもアクセス権限とパスワードを設定するには、次の手順を実行してください。

- 1. Atrust Client Setupで、「システム]> 「パスワード]をクリックします。
- 2. [ユーザー]セクションで、[アクティブなユーザー認証]をクリックしてオンにします。



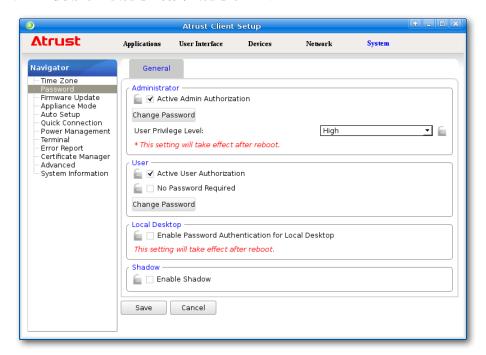


- 「ユーザー」セクションは、「アクティブな管理者承認」がチェックされて いる場合にのみ表示されます。
- 3. 標準ユーザーのアクセス権限が付与され、パスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。



4. 目的のパスワードを入力し、[OK]をクリックして確認します。

5. 標準ユーザーのアクセス権限が付与されると、[管理者]セクションに**[ユーザー権限レベル]**ドロップ ダウンメニューが表示され、標準ユーザーの権限レベルを設定できます。 この設定項目を使用して、 標準ユーザーが使用できる設定の範囲を設定できます。





• 変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。

ユーザー特権レベル	利用可能な設定	
<b>官</b> 同	<ul> <li>アプリケーションタブ</li> <li>・リモートデスクトップ</li> <li>・Citrix ICA</li> <li>・VMware View</li> <li>・SSH</li> <li>・ウェブブラウザ</li> <li>・Parallels 2X Client</li> <li>[ユーザーインターフェイス]タブ</li> <li>・ディスプレイ</li> <li>・デスクトップ</li> <li>・キーボード</li> <li>・マウス</li> <li>・スクリーンセーバーデバイスタブ</li> <li>・USBストレージ</li> <li>・オーディオ</li> <li>・プリンター</li> </ul>	ネットワークタブ  • イーサネット  • VPN  • ホスト  • ホスト名  • ワイヤレス  • プロキシ  • フィムソーン  • パスワード  • ファームウェアアップデート  • アプライアンスモード  • オートセットを  • パワー管理  • ターミナル  • エラーレポート  • 証明書ンス  • システムインフォメーション

中	[ユーザーインターフェイス]タブ • ディスプレイ • デスクトップ • キーボード • マウス • スクリーンセーバー	ネットワークタブ  • イーサネット  • ワイヤレス  システムタブ  • タイムゾーン  • パスワード  • エラーレポート
低	<ul> <li>ユーザーインターフェイス]タブ</li> <li>ディスプレイ</li> <li>デスクトップ</li> <li>キーボード</li> <li>マウス</li> <li>スクリーンセーバー</li> </ul>	システムタブ  ● タイムゾーン  ● パスワード  ● エラーレポート
無し	システムタブ • パスワード • エラーレポート	

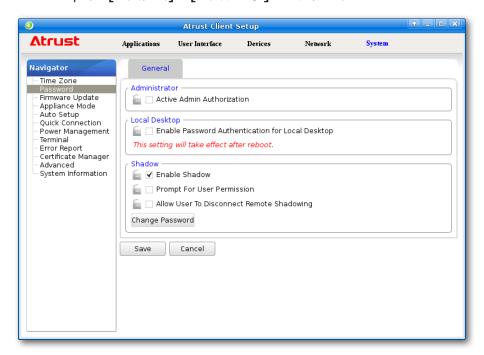
- 6. さらに、[パスワード不要]が[ユーザー]セクションに表示され、標準ユーザーの認証を無効にできます。
- 7. 設定が完了したら、[保存]をクリックして変更を保存します。
- 8. システムを再起動して変更を適用します。

### 3.2.5 ローカルデスクトップのログインパスワードの設定

ローカルデスクトップのログインパスワードを有効にして設定するには、次の手順を実行します。



- デフォルトの動作では、ログインパスワードなしでローカルデスクトップに入ります。
- 1. Atrust Client Setupで、[システム]> [パスワード]をクリックします。



2. [ローカルデスクトップ]セクションで、**[ローカルデスクトップのパスワード認証を有効にする]**をク -リックしてオンにします。 パスワードを設定するウィンドウが表示されます。



- 3. 目的のパスワードを入力し、[OK]をクリックして確認します。
- 4. [保存]をクリックして適用します。



• この機能を有効にすると、mt182Lを起動または再起動するたびに、ローカルデスクト ップのログインパスワードを入力するように求められます。 ログイン画面は以下のよう になります。

# ローカルデスクトップのログイン画面



#### 3.2.6 リモートアシスタンスのシャドウ設定の構成

シャドウ機能を使用すると、管理者はクライアントユーザーがリモートで問題を解決したり、ローカル設定を構成したりできるようになります。 この機能を有効にすると、管理者はローカルユーザーと同じようにリモートコンピューターからクライアントを監視および制御できます。

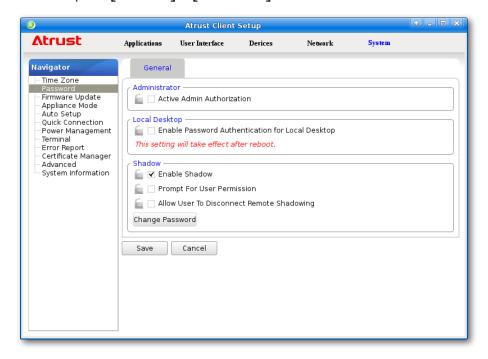


#### 注意

• リモートコンピューターでシャドウ機能を使用するには、そのコンピューターにAtrust デバイスマネージャーコンソールをインストールし、Atrustデバイスマネージャーの管 理対象グループにmt182Lを追加する必要があります。 詳細については、Atrustデバイスマネージャーのユーザーズマニュアルを参照してください。

シャドウ機能を有効にしてリモートアシスタンスのパスワードを設定するには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、[システム]> [パスワード]をクリックします。



2. [シャドウ]セクションで、**[シャドウを有効にする]**チェックボックスがオフになっている場合は、オンにします。



#### 注意

- デフォルトでは、シャドウ機能は有効になっています。 [パスワードの変更]をクリックし、次の手順に従ってパスワードを設定します。
- 3. シャドウ機能が有効になり、リモートアシスタンス用のパスワードを設定するためのウィンドウが表示されます。





### 注意

- リモートコンピューターでは、管理者はAtrustデバイスマネージャーコンソールでシャ ドウ機能(リモートアシスタンス)を使用するためにこのパスワードが必要になりま す。 詳細については、Atrustデバイスマネージャーのユーザーズマニュアルを参照して ください。
- 4. 目的のパスワードを入力し、[OK]をクリックして確認します。
- 5. シャドウイング中にユーザー権限を取得するには、ユーザー権限のプロンプトを確認してください。
- 6. ユーザーがリモートシャドウを停止できるようにするには、「ユーザーがリモートシャドウを切断で **きるようにする**]をオンにします。
- 7. [保存]をクリックして、すべての変更を保存します。



 シャドウ機能がリモートAtrustデバイスマネージャーから実行されると、ターゲットク ライアントで、ローカルLinuxデスクトップのタスクバーにアイコン 🗐 が表示され、右 下隅に通知がポップアップ表示されます。 クイック接続モードの場合、Atrustクイック 接続画面の右下隅に通知がポップアップ表示されます。

#### 3.2.7 管理コンピューターからのファームウェアの更新

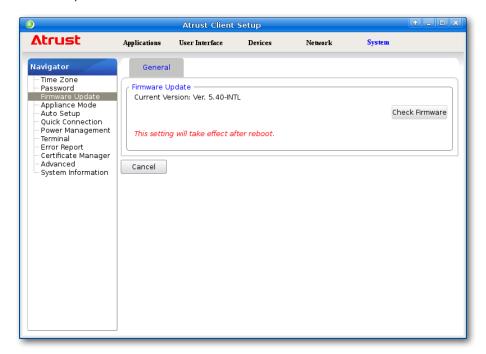
**ファームウェアの更新**を使用すると、クライアントユーザーは管理コンピューターからファームウェアを更 新できます。



- mt182LがリモートコンピューターにインストールされているAtrustデバイスマネージ ャーの管理対象グループに追加されていること、およびクライアントファームウェアフ アイルがAtrustデバイスマネージャーにインポートされていることを確認します。 これ らは、この機能の前提条件です。
- ファームウェアの更新とAtrustデバイスマネージャーの詳細については、Atrustデバイ スマネージャーのユーザーマニュアルを参照してください。

管理コンピューターからファームウェアを更新するには、次の手順に従ってください。

1. Atrust Client Setupで、システム> ファームウェアアップデートをクリックします。

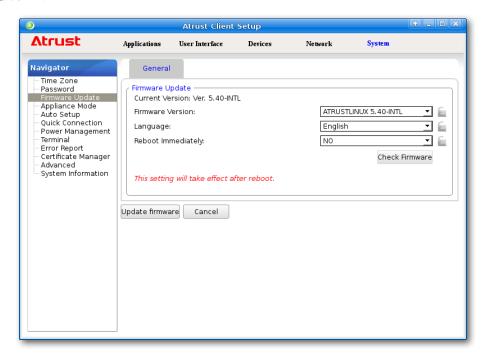


- 2. [ファームウェアの更新]セクションで、[ファームウェアの確認]をクリックします。
- 3. 完了すると、ファームウェアリストがロードされたことを通知するウィンドウが表示されます。



4. [はい]をクリックして続行します。

5. ドロップダウンメニューをクリックして、目的のファームウェアバージョンとその他の更新オプションを選択します。



ファームウェア更新オプション	
項目	説明文
ファームウェアバージョン	目的のファームウェアバージョンをクリックして選択します。
言語	Atrust Client Setupコンソールを含むシステムのインターフェース言語をクリックして選択します。 注意:使用可能な言語は、選択したファームウェアバージョンによって異なる場合があります。
すぐに再起動	クリックして、ファームウェアの更新のためにシステムをすぐに再起動するか、後で手動で システムを再起動するかを選択します。

6. **[ファームウェアの更新]**をクリックして、選択内容を確認します。 再起動後、システムはファームウェアの更新を開始します。

### 3.2.8 アプライアンスモードの有効化または無効化

アプライアンスモードでは、mt182Lを目的のMicrosoftリモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware(Horizon)View、Web、または2Xセッションで直接起動できます。 このモードでは、ユーザーはスタンドアロンデスクトップコンピューターを使用しているかのように感じます。 基盤となるクライアントオペレーティングシステムであるAtrust Linuxは、最初から隠されています。



#### 注意

mt182Lには、似ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場合、1つのモードのみが有効になります。3つのモードと優先順位は次のとおりです。

No.	モード	説明文
		クライアントは、目的のRDP / ICA /ビュー/ Web / 2Xセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。
1	マプラ イマンフ	利用可能なアクションは次のとおりです。
1	アブライアンス	<ul><li>新しいセッションを再開する</li><li>シンクライアントの再起動</li><li>シンクライアントをオフにする</li></ul>
		クライアントは、目的のRDP / ICA /ビュー/ Web / 2Xセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。
		利用可能なアクションは次のとおりです:(Webブラウザーには該当なし)
2	自動起動	<ul><li>ローカルデスクトップに戻る</li></ul>
		• 新しいセッションを再開する
		<ul><li>シンクライアントの再起動</li></ul>
		• シンクライアントをオフにする
3	クイック接続	ステム起動後クライアントはAtrustクイック接続画 面に入ります。

- これらのモードの詳細については、以下のセクションを参照してください。
  - 3.2.10 (P.62) と 2.1 (P.13) (クイック接続モード)
  - 3.2.8 (P.58) (アプライアンスモード)
  - 3.6.5 (P.144) (RDPセッションの自動開始モード)
  - 3.6.11 (P.182) (ICAセッションの自動開始モード)
  - 3.6.14 (P.216) (Viewセッションの自動開始モード)
  - 3.6.19 (P.227) (Webセッションの自動開始モード)
  - 3.6.22 (P.235) (2Xセッションの自動開始モード)

### アプライアンスモードの有効化

アプライアンスモードを有効にするには、次の操作を行います。

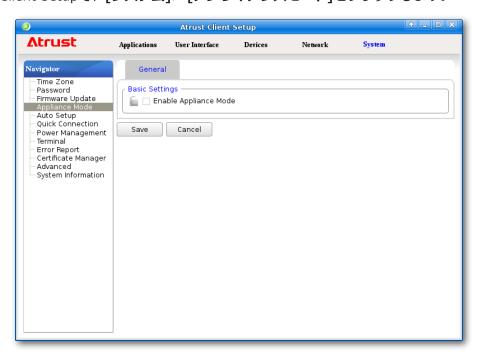


#### 注意

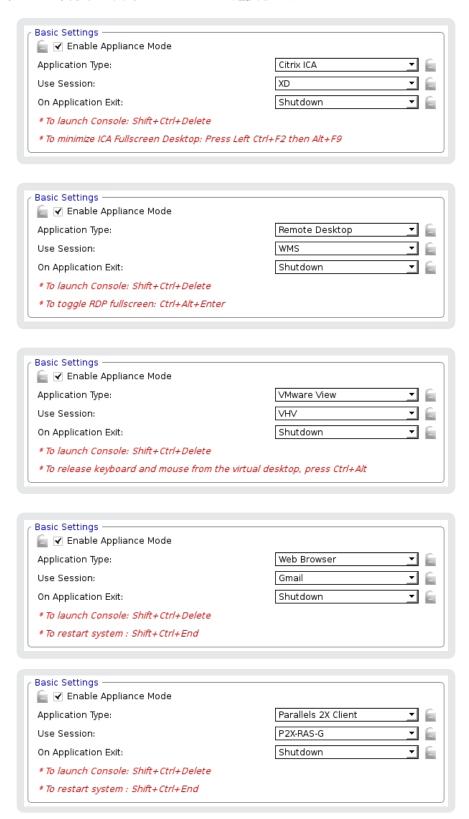
- [アプリケーション]タブで、目的のMicrosoftリモートデスクトッ プ、Citrix ICA、VMware(Horizon)View、Web、または2Xセッシ ョンの接続設定を構成したことを確認します。 アプライアンスモード で使用するサービスタイプと接続設定エントリを指定する必要があり ます。詳細な手順については、セクションをご覧ください。
  - "3.6.3 基本的なRDP接続設定の構成 (P.129)"
  - "3.6.6 基本的なICA接続設定の構成 (P.159)"
  - "3.6.12 基本的なVMware View接続設定の構成 (P.212)"
  - "3.6.17 ブラウザセッションの基本設定の構成 (P.224)"
  - "3.6.20 基本的なRAS / RDP接続設定の構成 (P.228)"



- 自動開始モードでは、クライアントがRDP / ICA /ビューセッションで直接起 動することもでき、アプライアンスモードよりも柔軟に構成できることに注 意してください。 自動開始モードの詳細については、以下のセクションを参 照してください。
  - "3.6.5 詳細なRDP接続設定の構成 (P.144)"
  - "3.6.11 ICA接続の詳細設定 (P.182)"
  - "3.6.14 詳細ビュー接続設定の構成 (P.216)"
  - "3.6.19 ブラウザセッションの詳細設定 (P.227)"
  - "3.6.22 高度なRAS / RDP接続設定の構成 (P.235)"
- 1. Atrust Client Setupで、[システム]> [アプライアンスモード]をクリックします。



- 2. [アプライアンスモードを有効にする]をクリックしてオンにします。
- 3. アプライアンスモードの他の設定が表示されます。 ドロップダウンメニューをクリックして、アプリケーション(またはサービス)のタイプ(Citrix ICA、リモートデスクトップ、VMware View、Webブラウザー、Parallels 2Xクライアント)、そのタイプで利用可能な特定のサービス、およびセッション終了後の目的のアクションを選択します。





#### 注意

- 選択したRDP / ICA /表示サービスにどの解像度オプションを選択しても、アプライアンスモードでのRDP / ICA /表示セッションは常にフルスクリーンモードを使用してリモート/仮想デスクトップを表示します。
- 4. 「保存」をクリックして選択を確認します。
- 5. 再起動後、システムはアプライアンスモードに入ります。



#### 注意

• アプライアンスモードを無効にするか、アプライアンスモードでAtrust Client Setupに アクセスするには、"アプライアンスモードの無効化 (P.61)"を参照してください。

## アプライアンスモードの無効化

アプライアンスモードを無効にするには、次の手順を実行してください。

- 1. アプライアンスモードで、RDP / ICA / 2Xセッションのフルスクリーンモードを終了するか、Web ブラウザーウィンドウを最小化するか、キーボードとマウスをビューセッション(仮想デスクトップ)から離します。
  - RDPセッションのフルスクリーンモードを終了するには、**Ctrl + Alt + Enter**キーを押してから、セッションウィンドウを最小化します。
  - ICAセッションのフルスクリーンモードを終了するには、**Ctrl + F2**を押してから、**Alt + F9**を押します。
  - 2Xセッションのフルスクリーンモードを終了するには、リモートデスクトップからログアウトします。
  - キーボードとマウスをViewセッション(仮想デスクトップ)から解放するには、**Ctrl + Alt**を押します。



#### 注意

- Viewセッション(仮想デスクトップ)からキーボードとマウスを離した後、Viewセッション(仮想デスクトップ)がバックグラウンドに残ることに注意してください。
- 2. **Ctrl + Shift + Del**をクリックして、Atrust Client Setupを起動します。



#### 注意

- アプライアンスモードでは、クライアントオペレーティングシステム(Atrust Linux)のタスクバーにアクセスできません。
- 3. Atrust Client Setupで、[システム]> [アプライアンスモード]をクリックします。
- 4. [アプライアンスモードを有効にする]をクリックしてオフにし、[保存]をクリックして変更を適用します。
- 5. 現在のRDP / ICA /表示/ Web / 2Xセッションに戻ります。
  - 現在のRDP / ICA / Web / 2Xセッションに戻るには、**Alt + タブ**(**Alt**キーを押しながら**Tab**キーを押して別のアイテムを切り替える)を使用して、現在のセッションを選択して復元します。

システム設定の構成

- 現在のViewセッションに戻るには、背景のViewセッション(仮想デスクトップ)の任意の場所 をクリックします。
- 6. 現在のRDP / ICA /ビュー/ Web / 2Xセッションを終了またはログオフします。
- 7. その後、クライアントがシャットダウンする可能性があります。 クライアントを手動で再起動します。

### 3.2.9 自動セットアップの有効化または無効化

自動セットアップにより、シンクライアントは起動時に事前設定された構成を取得し、目的のユーザー環境 に自動的に入ることができます。 その操作には、クライアント側の自動セットアップを除き、自動セット アップ環境とネットワーク接続が必要です。 詳細については、自動設定の"A.4 オートセットアップのフロ ーチャート (P.259)" およびユーザーガイドを参照してください。



#### 注意

• シンクライアントがプリセット設定を取得した後に自動セットアップを無効にするに は、クライアントをリセットします。"A.1 mt182Lを工場出荷時のデフォルトにリセッ トする (P.249)" を参照してください。

#### 3.2.10 クイック接続モードの構成

クイック接続モードでは、システムの起動後にAtrustクイック接続画面に入ることができます。 この設定 は、モバイルシンクライアントではデフォルトで無効になっています。



- クイック接続モードでmt182Lを使用する方法の詳細については、セクション"2.1 基本 を学ぶ (P.13)"を参照してください。
- mt182Lには、似ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場 合、1つのモードのみが有効になります。3つのモードと優先順位は次のとおりです。

クライアントは、目的のRDP / ICA /ビュー/ ションで直接起動し、セッションを終了した行 アクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。 1 アプライアンス • 新しいセッションを再開する • シンクライアントの再起動	
1 アプライアンス • 新しいセッションを再開する	
• 新しいセッションを再開する	
• シンクライアントをオフにする	
クライアントは、目的のRDP / ICA /ビュー/ ションで直接起動し、セッションを終了した彳 アクションを実行します。	
利用可能なアクションは次のとおりです: (V ーには該当なし)	Webブラウザ
2 自動起動 • ローカルデスクトップに戻る	
• 新しいセッションを再開する	
• シンクライアントの再起動	
• シンクライアントをオフにする	
3 クイック接続 システムの起動後、クライアントはAtrustクーに入ります。	イック接続画面

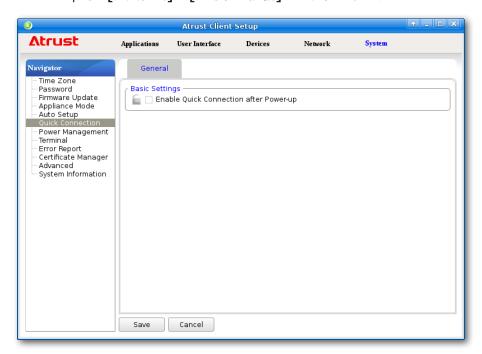


#### 注意

- クイック接続モードを使用するには、アプライアンスモードと自動起動モードの両方が 無効になっていることを確認してください。 2つのモードのいずれかが有効になってい る場合、クイック接続モードは機能しません。
- アプライアンスモードの詳細については、セクション"3.2.8 アプライアンスモードの有効化または無効化 (P.58)"を参照してください。
- 自動開始モードの詳細については、次のセクションを参照してください。
  - "3.6.5 詳細なRDP接続設定の構成 (P.144)"
  - "3.6.11 ICA接続の詳細設定 (P.182)"
  - "3.6.14 詳細ビュー接続設定の構成 (P.216)"
  - "3.6.19 ブラウザセッションの詳細設定 (P.227)"
  - "3.6.22 高度なRAS / RDP接続設定の構成 (P.235)"

クイック接続モードを有効/無効にするには、以下を実行してください:

1. Atrust Client Setupで、[システム]> [クイック接続]をクリックします。



2. **[電源投入後にクイック接続を有効にする]**をクリックしてオン/オフにし、クイック接続モードを有効/無効にし、**[保存]**をクリックして変更を適用します。



#### 注意

• クイック接続の詳細設定については、次のセクション(3.2.11)を参照してください。

### 3.2.11 クイック接続の詳細設定

Atrust Client Setupの[**システム**]> [**クイック接続**]から、リモートデスクトップ、Citrix ICA、および VMware Viewセッションの高度なクイック接続設定を構成できます。

## リモートデスクトップセッションの高度なクイック接続設定

リモートデスクトップセッションのクイック接続の詳細設定を構成するには、次の表を参照してください。



リモートデスクトップオプション	
項目	説明文
マルチメディアリダイレクト	マルチメディアリダイレクトを有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。 有効にすると、クライアントは元の圧縮マルチメディアストリームを受信し、ローカルでデコードして表示します。 この機能はクライアントの負荷を増やしますが、サーバーリソースを節約し、帯域幅の使用を減らし、オーディオとビデオの再生エクスペリエンスを向上させます。
	デフォルトで有効になっています(クイック接続モードが有効な場合)。

### Citrix ICAセッションのクイック接続の詳細設定

Citrix ICAセッションのクイック接続の詳細設定を構成するには、以下の表を参照してください。



Citrix ICA オプション	
項目	説明文
デフォルトのサーバーアド レス	デフォルトのサーバーアドレスを指定するには、このフィールドに目的のアドレスを入力します。
既定のサーバーに直接接続 する	チェックして、デフォルトサーバーに直接接続します。
	クライアントレンダリングを有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。
クライアントレンダリング 	<b>クライアントレンダリング</b> を無効にすると、 <b>サーバーレンダリング</b> が使用されます。
HDXリアルタイムウェブカ	この項目は、 <b>クライアントレンダリング</b> が選択されている場合にのみ使用できます。
メラ	「はい」を選択すると、ローカルに接続されたWebカメラをICAセッションで使用できます。
H264圧縮を使用	オンにすると、クライアントでH.264圧縮サポートが有効になり、セッションデータがH.264形式 のエンコーディングを使用してサーバー側から送信されるようになります。

☐ Redirect Connected USB Devices
* All connected USB devices will be redirected unless more specific settings are specified below.
* Enabling USB Redirection on the server side is also required for this feature.

Citrix ICA オプション	
項目	説明文
リダイレクト接続 USBデバイス	オンにすると、接続されたUSBデバイスのリダイレクトがクイック接続モードで有効になります。 以下で特定の設定を指定しない限り、接続されているすべてのUSBデバイスがリダイレクトされます。

Use of USB Storage Devices:	Mapping <u>▼</u>	6
Use of USB Printers:	Mapping <u>▼</u>	6

Citrix ICA オプション	
項目	説明文
USBストレージデバイスの使用	ICAセッションでUSBストレージデバイスを使用する方法をクリックして選択します。 マッピング、リダイレクト、無効の3つのオプションを使用できます。
USBプリンターの使用	ICAセッションでUSBプリンターを使用する方法をクリックして選択します。 マッピング、リダイレクト、無効の3つのオプションを使用できます。

Plugged USB Devices:
----------------------

(Vendor: 2047 Product: 03d 1 xas Instruments

(Vendor: Obda Product: 0129) Realtek Semiconductor Corp. RTS5129 Card Reader Con

#### Redirection Rules:

- \* Use redirection rules to m. 2 ye specific USB devices.
- \* Maximum number of rules: 10

Allow	<b>T</b>	Vendor ID:	Product ID:	Add	6
Allow		veridor ib:	Froduct ID:	Add	-

Citrix ICA オプション	
項目	説明文
リダイレクトルール	2にリダイレクトルールを作成して、 1 に関する情報で特定のUSBデバイスを管理します。



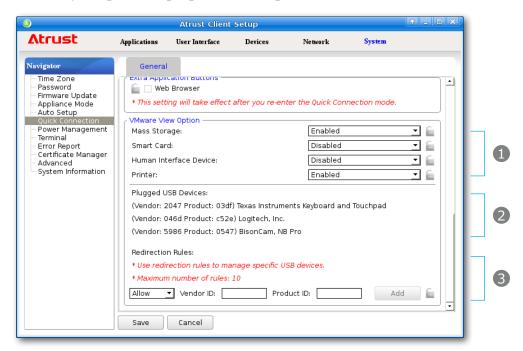
#### 注意

• 接続されているすべてのUSBデバイスが、プラグインUSBデバイス (1) の下にリストされ、ルールの作成に必要なベンダーおよび製品情報が表示されます。

#### VMware Viewセッションの高度なクイック接続設定

VMware Viewセッションのクイック接続の詳細設定を構成するには、以下を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、[システム]> [クイック接続]をクリックします。



2. ドロップダウンメニューをクリックして、大容量記憶装置、スマートカード、ヒューマンインターフェイスデバイスの**一般設定**(1) を構成します。 **有効**または**無効**の2つのオプションを使用できます。



3. **リダイレクトルール(3)**を使用して、特定のUSBデバイスを管理します。



- (②) を参照して特定のデバイスのベンダーIDと製品IDを入力し、ドロップダウンメニューをクリックして[**許可**]または[**拒否**]を選択します。
- (3)にルールを追加するには、右側の[**追加]**をクリックします。



### 注意

- 接続されているすべてのUSBデバイスが、プラグインUSBデバイス (2) の下にリストされ、ルールの作成に必要なベンダーおよび製品情報が表示されます。
- リダイレクトルール(3) は一般設定(1)よりも優先されます。
- 4. [保存]をクリックして適用します。

## クイック接続モードでローカルにインターネットにアクセスする

クイック接続モードでローカルにインターネットにアクセスするには、Atrustクイック接続画面にWebブラウザーボタンを表示するように設定できます。



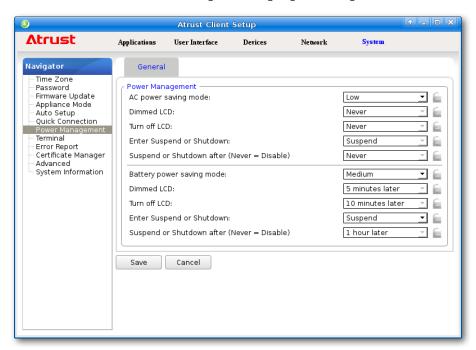
### Atrustクイック接続画面



## 3.2.12 電力使用の管理

モバイルシンクライアントの電力使用を管理するには、次の手順を実行してください。

1. Atrustクライアントのセットアップでは、[システム]> [電源管理]をクリックします。



2. AC電源とバッテリーに必要な省電力モードを選択するか、[カスタム]を選択して個々の設定をカスタマイズし、[保存]をクリックして適用します。



#### 注意

mt182Lがシステムスリープモードに手動で(Fn + F12 または (少) >サスペンド)、または自動的に(システム>電力管理を介してAtrust Client Setupで構成)に入った場合でも、一定量の電力が必要です。 代わりに[シャットダウン]オプションを使用して、電力を大幅に節約できます。



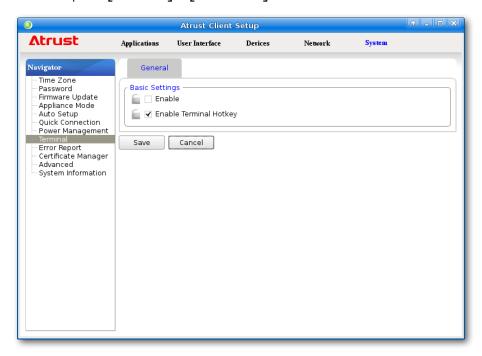
#### 警告

• バッテリーのみを電源として使用する場合は、データの損失を防ぐのに十分な電力があることを確認してください。

## 3.2.13 コマンドライン機能の有効化または無効化

テキストベースの(コマンドライン)関数の実行を有効または無効にするには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、[システム]> [ターミナル]をクリックします。



- 2. クリックして設定を構成します。
  - スタート]メニューのショートカットを介してコマンドライン機能の実行を許可するには、**[有効 にする]**をオンにします。
  - ホットキーを介したコマンドライン機能の実行を許可するには、[ターミナルホットキーを有効にする]をオンにします。
  - **ターミナル**を完全に無効にするには、両方のチェックを外します。



3. [保存]をクリックして変更を適用します。

## 3.2.14 イベントログの収集と関連画面のキャプチャ

**エラーレポート**機能を使用すると、イベントログを収集し、エラーレポートの関連画面をキャプチャできます。

#### イベントログの収集

mt182Lのイベントログを収集するには、次の手順を実行します。

1. USBフラッシュドライブをmt182Lに差し込みます。



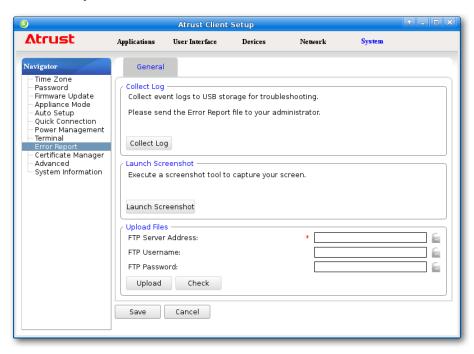
#### 注意

- このUSBフラッシュドライブは、mt182Lのイベントログの保存に使用されます。
- USBストレージデバイスのアクセスと自動マウントが有効になっていることを確認します。 詳細な手順については、"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"を参照 してください。

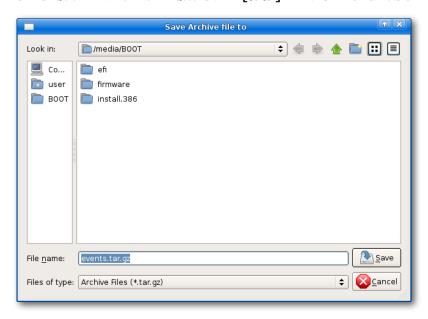


#### 注意

- ローカルデスクトップに保存されたファイルは再起動後に削除されることに注意してください。
- 2. Atrust Client Setupで、システム> エラーレポートをクリックします。



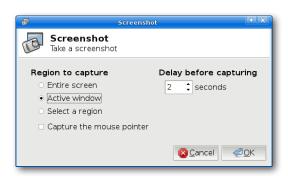
3. 「ログの収集」をクリックします。 ログファイルセット(events.tar.gzという名前)を保存する場所を選択するように求めるウィンドウが表示されます。 接続されているUSBフラッシュドライブは、接続されている場合のデフォルトの場所です。 [保存]をクリックして適用します。



### エラー関連画面のキャプチャ

mt182Lのエラー関連画面をキャプチャするには、次の手順を実行してください。

- 1. Atrust Client Setupで、システム> エラーレポートをクリックします。
- 2. [スナップショットの起動]をクリックして、画面キャプチャプログラムを開きます。



3. 必要に応じて、開いているウィンドウで画面キャプチャ設定を直接構成し、[OK]をクリックして目的の画面をキャプチャします。



#### ヒント

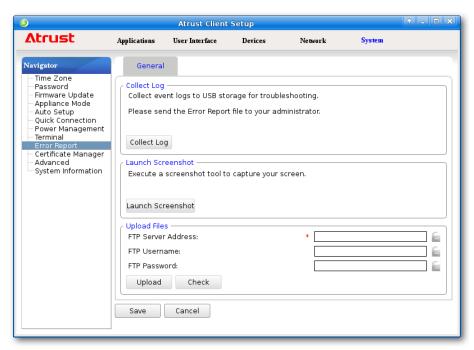
- 目的の画面またはウィンドウに切り替えるための時間を確保するために、キャプチャする前の遅延時間を少なくとも2秒に設定することをお勧めします。
- キャプチャした画面は、イベントログが保存されたのと同じUSBフラッシュドライブに保存することをお勧めします。
- ローカルデスクトップに保存されたファイルは再起動後に削除されることに 注意してください。

# 3.2.15 エラー報告のためのファイルのアップロード

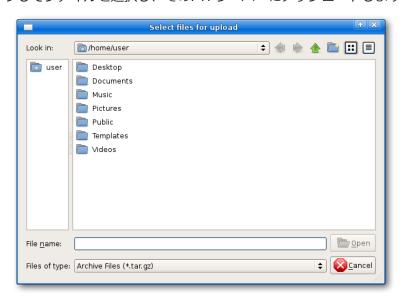
エラー報告のために、指定したFTPサーバーにファイルをアップロードできます。

FTPサーバーにファイルをアップロードするには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、システム> エラーレポートをクリックします。



2. [ファイルのアップロード]セクションで、FTPサーバーのIPアドレスと資格情報を入力し、**[アップロード]**をクリックしてファイルを選択し、そのFTPサーバーにアップロードします。





#### ヒント

• 最初に[確認]ボタンを使用して、IPアドレスと資格情報の有効性を確認できます。

### 3.2.16 リモートコンピューターの証明書のインポート

次の方法でリモートコンピュータの証明書をインポートできます。

- ローカルデバイス (USBストレージデバイスから)
- ネットワーク(リモートコンピューターまたは管理コンソールから)



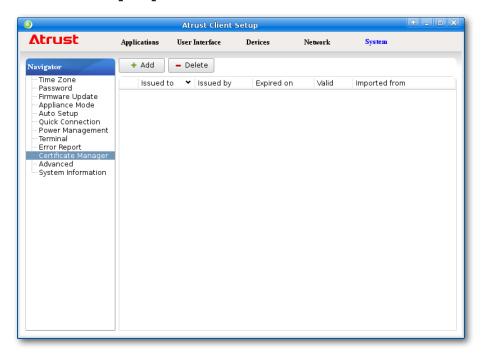
#### 注意

• mt182Lで使用可能な管理コンソールは、複数のシンクライアント用のリモートおよびグループ管理コンソールであるAtrustデバイスマネージャーです。 詳細については、Atrustデバイスマネージャーのユーザーズマニュアルを参照してください。

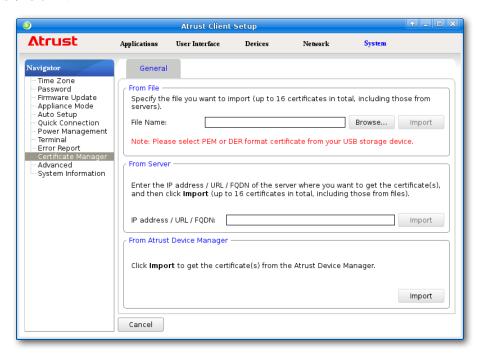
## USBストレージデバイスを介した証明書のインポート

USBストレージデバイスを介してリモートコンピュータの証明書をインポートするには、次の手順を実行してください。

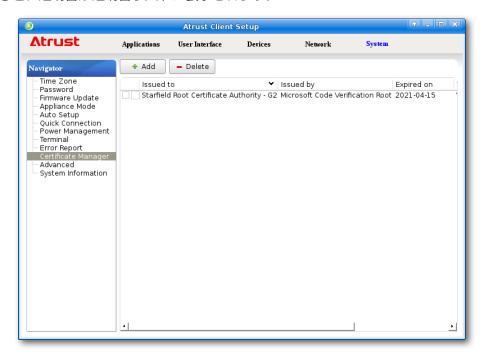
- 1. 証明書をUSBストレージデバイスにコピーし、このストレージデバイスをmt182Lに接続します。
- 2. Atrust Client Setupで、「システム」>「証明書マネージャー」をクリックします。
- 3. 証明書リストの上部にある[追加]をクリックします。



4. [ファイルから]セクションで、**[参照]**をクリックして目的の証明書ファイルを見つけ、**[開く]**をクリックして確認します。



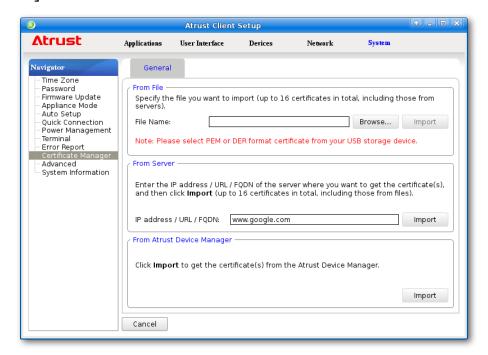
- 5. [インポート]をクリックして、証明書のインポートを開始します。
- 6. 完了すると、証明書が証明書リストに表示されます。



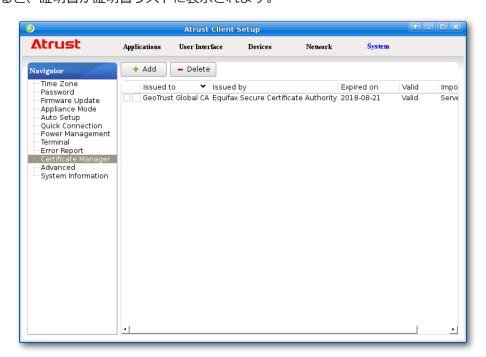
## ネットワーク経由でリモートコンピューターから証明書をインポートする

ネットワーク経由でリモートコンピューターから証明書をインポートするには、次の操作を行います。

- 1. Atrust Client Setupで、「システム」>「証明書マネージャー」をクリックします。
- 2. 証明書リストの上部にある[追加]をクリックします。
- 3. [サーバーから]セクションで、リモートコンピューターのIPアドレス/ URL / FQDNを入力し、**[インポート]**をクリックします。



4. 完了すると、証明書が証明書リストに表示されます。



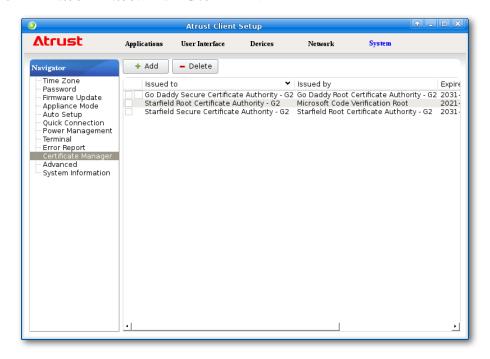
## ネットワークを介したAtrustデバイスマネージャーからの証明書のインポート

Atrustデバイスマネージャーからネットワーク経由で証明書をインポートするには、次の手順を実行してください。



#### 注意

- 続行する前に、(1)シンクライアントが管理コンソールの管理対象グループ、つまり Atrustデバイスマネージャーに追加されていること、および(2)証明書が管理コンソー ルにインポートされていることを確認してください。
- 1. Atrust Client Setupで、「システム」>「証明書マネージャー」をクリックします。
- 2. 証明書リストの上部にある[追加]をクリックします。
- 3. [Atrustデバイスマネージャーから]セクションで、**[インポート]**をクリックして、Atrustデバイスマネージャーで利用可能なすべての証明書のインポートを開始します。
- 4. 完了すると、証明書が証明書リストに表示されます。



## 3.2.17 自動登録の有効化または無効化

自動登録により、シンクライアントはオンラインのときにAtrustデバイスマネージャーに自動的に登録され、Atrustデバイスマネージャーによって管理されるようになります。

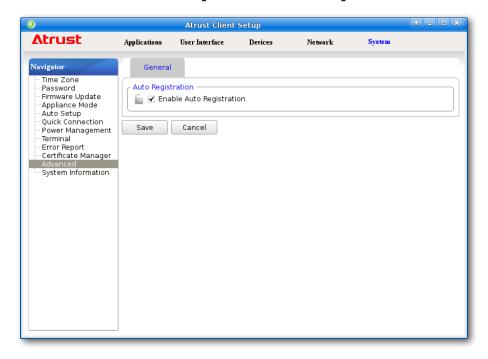


#### 注意

- この機能を機能させるには、シンクライアントとターゲットの両方で自動登録を有効にする必要があります。 さらに、ネットワーク上のDHCPサーバーまたはDNSサーバーでいくつかの構成が必要です。 詳細については、のユーザーズマニュアルを参照してください。
- デフォルトでは、自動登録はシンクライアント側で有効になっており、を無効にします。

シンクライアントで自動登録を有効または無効にするには、次の手順を実行します。

- 1. Atrust Client Setupで、システム> アドバンスをクリックします。
- 2. 自動登録を有効または無効にするには、[自動登録を有効にする]をオンまたはオフにします。



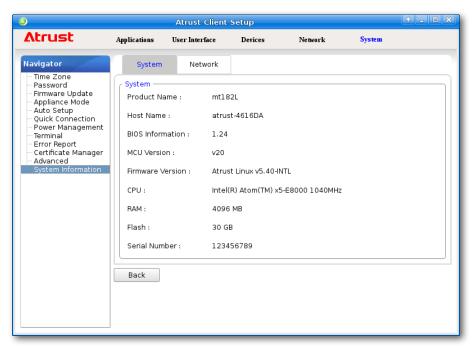
3. [保存]をクリックして適用します。

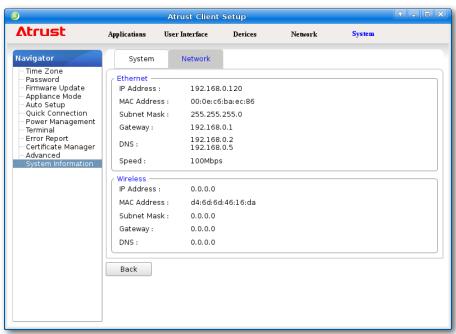
### 3.2.18 システムおよびネットワーク情報の表示

Atrust Client Setupを使用して、システムとネットワークの詳細情報を表示できます。

Atrust Client Setupを使用してシステムとネットワークの詳細情報を表示するには、次の手順を実行してください。

- 1. Atrust Client Setupで、[システム]> [システム情報]をクリックします。
- 2. システム/ネットワークタブをクリックして、システム/ネットワーク情報を表示します。



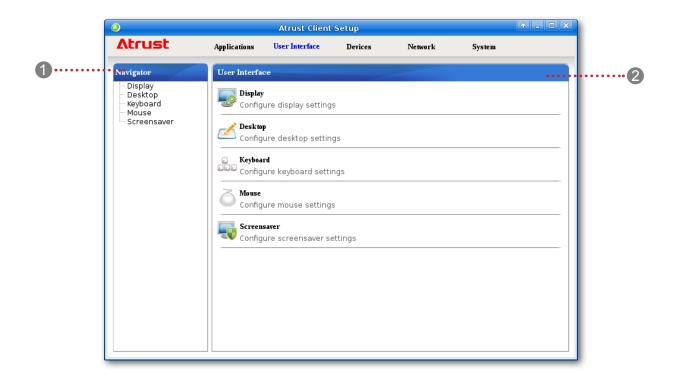


# 3.3 ユーザーインターフェイス設定の構成

# 3.3.1 [ユーザーインターフェイス]タブの概要

[ユーザーインターフェイス]タブでは、クライアントのユーザーインターフェイスの設定を構成できます。 [ユーザーインターフェイス]タブの利用可能な設定にアクセスするには、Atrust Client Setupのタブをクリックします。

## ユーザーインターフェース タブ Overview



インタ	ーフェース要素	
No.	名前	説明文
1	ナビゲーションエリア	[ <b>ユーザーインターフェイス]</b> タブの設定項目をクリックして選択します。
2	構成エリア	設定項目またはエントリを選択した場合の設定値を設定します。

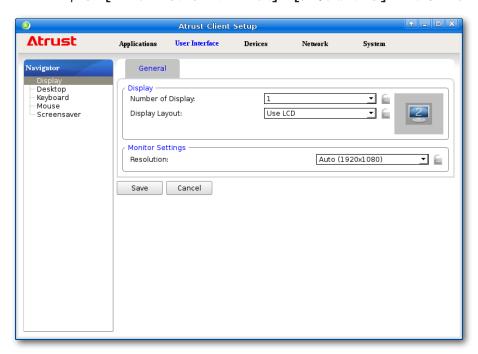
## 3.3.2 設定一覧

タブ	設定	アイコン	説明文	セクション	~-
ユーザーインタ ーフェース	ディスプレイ		クリックして表示設定を構成します。	3.3.3	80
	デスクトップ		クリックして、デスクトップとシステムの言語をカスタ マイズします。	3.3.4 3.3.5 3.3.6	83 86 87
	キーボード	e A:E	クリックしてキーボード設定を調整します。	3.3.7	88
	マウス	Õ	クリックしてマウス設定を調整します。	3.3.8	90
	スクリーンセ ーバー		クリックしてスクリーンセーバーの設定を構成します。	3.3.9	91

## 3.3.3 表示設定の構成

mt182Lの表示設定を構成するには、次の手順を実行します。

1. Atrust Client Setupで、[ユーザーインターフェース]> [ディスプレイ]をクリックします。



2. ドロップダウンメニューをクリックして、接続されているディスプレイの数、ディスプレイの配置、解像度などを選択します。適切な設定値を選択するには、次の表を参照してください。



• 使用可能な設定項目は、モデルおよび選択したディスプレイの数によって異

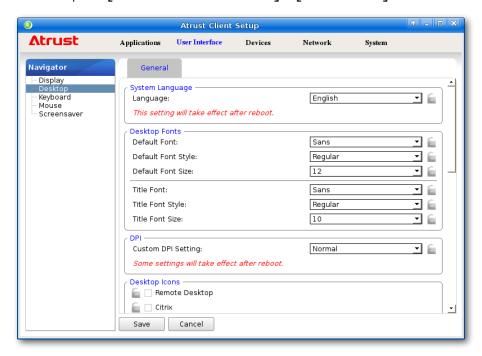
表示		
項目		説明文
	使用するディスプレー	イの数をクリックして選択します。
	オプション 訪	
Number of Display	1 1	 .台のディスプレイが使用されます。
	2 2	つのディスプレイが使用されます。
	クリックしてディスこ	プレイの配置を選択します。
	オプション	説明文
	外部を使用	付属のシングル外付けディスプレイを使用してください。
	LCDを使用する	単一の内部ディスプレイ(LCDパネル)を使用します。
Display Layout	外部-LCD水平	デュアルディスプレイを使用します。 2つのディスプレイが水平に配置されています。外部ディスプレイは左側にあります。 右のLCD。 拡張が選択されている場合、外部デスクトップはローカルデスクトップのメインディスプレイです。
	LCD-外部水平	デュアルディスプレイを使用します。 2つのディスプレイが水平に配置されています。LCDディスプレイは左側にあります。 外部の権利。 拡張が選択されている場合、LCD 1はローカルデスクトップの メインディスプレイです。
	外部-LCD垂直	デュアルディスプレイを使用します。 2つのディスプレイが垂直に配置されています。外部ディスプレイは上部にあります。 LCDは下にあります。 <b>拡張</b> が選択されている場合、外部デスクトップはローカルデスクトップのメインディスプレイです。
	LCD-外部垂直	デュアルディスプレイを使用します。 2つのディスプレイが垂直に配置されています。LCDの1つは上部にあります。 外部底。 拡張が選択されている場合、LCD 1はローカルデスクトップのメインディスプレイです。
	この項目は、[ディス み使用できます。	プレイの数]ドロップダウンメニューで <b>[2]</b> が選択されている場合にの
Display Mode	オプション 訪	
	l Eytend	ー方のディスプレイは、もう一方の拡張ディスプレイとして使用 されます。
	Clone 2	

モニター設定			
項目	説明文		
	クライアントの電源がオンになっているときに、使用されているモニターの自動検出を有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。		
	オプション	説明文	
電源投入時の自動検出を有効にする	有効	使用されているモニターの自動検出が有効になっています。 システムは、クライアントの電源がオンのときに、使用されてい るモニターに適切な解像度を設定します。	
	無効	使用されているモニターの自動検出は無効になっています。 電源投入時の自動検出が無効になっている場合、クライアントで サポートされているすべての解像度が[解像度]ドロップダウンメ ニューに表示されます。 一部の解像度はご使用のモニターに適用 できない場合があることに注意してください。	
	このアイテムを	使用して、使用するディスプレイに適切な解像度を設定します。	
	オプション	説明文	
	オート	このオプションは、 <b>[電源投入時に自動検出を有効にする]</b> が選択されている場合にのみ使用できます。	
モニター解像度	別のオプシ ョン	使用するディスプレイの[解像度]ドロップダウンメニューから目的 の解像度を選択します。	
	すべての	時の自動検出が無効になっている場合、クライアントでサポートされている 解像度が[解像度]ドロップダウンメニューに表示されます。 一部の解像度は モニターに適用できない場合があることに注意してください。	

## 3.3.4 デスクトップとシステムの言語設定のカスタマイズ

mt182Lのデスクトップおよびシステム言語設定をカスタマイズするには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、[ユーザーインターフェイス]> [デスクトップ]をクリックします。



2. ドロップダウンメニューまたはチェックボックスをクリックして、必要な設定を選択します。 各設定項目の説明については、次の表を参照してください。

システム言語		
項目	説明文	
言語	ドロップダウンメニューをクリックして、システム言語を選択します。 <b>注意:</b> 使用可能な言語は、デバイスのファームウェアバージョンによって異なる場合があります。 <b>注意:</b> 変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。	
デスクトップフォント		
項目	説明文	
デフォルトのフォント	ドロップダウンメニューをクリックして、メニュー、メニューのオプション、デスクトップ ラョートカットのテキストラベル、プログラムウィンドウのタブなど、オペレーティングシ	
デフォルトのフォントスタイル	ステムのユーザーインターフェイスに使用する目的のフォント、スタイル、サイズを選択し	
デフォルトのフォントサイズ	ます。 <b>注意:</b> 変更は、開いているウィンドウのタイトル、Atrust Client Setupコンソール、およびシステム情報ウィンドウ( <b>[スタート]&gt; [システム設定]&gt; [システム情報]</b> )には適用されません。	
タイトルフォント		
タイトルのフォントスタイル	<ul><li>─ ドロップダウンメニューをクリックして、目的のフォント、そのスタイル、および開いてい 」 るウィンドウのタイトルに使用されるサイズを選択します。</li></ul>	
タイトルのフォントサイズ		

DPI		
項目	説明文	
Custom DPI 設定	ドロップダウンメニューをクリックして、1インチあたりのドット数を変更します。 ユーザーインターフェイスの一部の変更を有効にするには、再起動が必要になる場合があります。	
デスクトップアイコン		
項目	説明文	
リモートデスクトップ	[スタート]メニューのショートカッ <b>トリモートデスクトップ ≥</b> とサービスのクイックアクセス用のローカルLinuxデスクトップの表示/非表示をオン/オフにします。 詳細については、"3.3.5 クイックアクセスショートカットの非表示または表示 (P.86)"を参照してください。	
Citrix	[スタート]メニューでショートカット <b>Citrix</b>	
VMware View	[スタート]メニューでデスクトップショートカットのVMware View を表示/非表示にするには、オン/オフをチェックしてください。 詳細については、"3.3.5 クイックアクセスショートカットの非表示または表示 (P.86)"を参照してください。	
Parallels 2X Client	[スタート]メニューでデスクトップショートカットのParallels 2X Client を表示/非表示にするには、オン/オフにしてください。サービスにすばやくアクセスするには、ローカルのLinuxデスクトップをオンにします。 詳細については、"3.3.5 クイックアクセスショートカットの非表示または表示 (P.86)"	
AnyDesk	を参照してください。  [スタート]メニューとローカルのLinuxデスクトップでデスクトップショートカット  AnyDesk を表示/非表示にするには、オン/オフにします。	
	AnyDesk ▼ を表示/非表示にするには、オン/オフにします。 [スタート]メニューおよびローカルLinuxデスクトップでデスクトップショートカット	
Teamviewer QuickSupport	Teamviewer QuickSupport を表示/非表示にするには、チェック/チェックを外します。	
Tokenadmin	[スタート]メニューおよびローカルLinuxデスクトップでデスクトップショートカット  Tokenadmin → を表示/非表示にするには、オン/オフにします。	
XDMCP	[スタート]メニューおよびローカルLinuxデスクトップでデスクトップショートカット XDMCP スを表示/非表示にするには、チェック/チェックを外します。	
Firefox ウェブブラウザ	[スタート]メニューでデスクトップショートカットのFirefox ウェブブラウザ	
LibreOffice	[スタート]メニューでデスクトップショートカットLibreOffice を表示/非表示にするには、チェックボックスをオン/オフにし、すばやくアクセスできるようにローカルLinuxデスクトップを表示します。  "トピック 5: 組み込みアプリケーションの使用 (P.36)" も参照してください。	

PDFビューアー(ドキュメントビュ ーアー)	[スタート]メニューのデスクトップショートカット <b>Document Viewer</b> とローカル Linuxデスクトップを表示/非表示にするには、チェック/チェックを外してすばやくアクセスします。		
	"トピック 5: 組み込みアプリケーションの使用 (P.36)"も参照してください。		
アイコンサイズ	ドロップダウンメニューをクリックして、デスクトップアイコン/ショートカットの希望の サイズを選択します。		
アイコンのフォントサイズ	ドロップダウンメニューをクリックして、デスクトップアイコン/ショートカットの必要な テキストラベルサイズを選択します。		
デスクトップの背景			
項目	説明文		
	Atrust壁紙の使用を有効/無効にするためにチェック/チェックを外します。		
デスクトップの壁紙を有効にする 	<b>注意:</b> 無効にすると、無地の背景(濃い青)が使用されます。		
	カスタム壁紙の使用を有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。 チェックす		
 からダウンロード	ると、さらに多くの設定が表示されます。		
カスタム壁紙ファイル	詳しくは"3.3.6 カスタム壁紙の使用 (P.87)"を参照してください。		
	ドロップダウンメニューをクリックして、壁紙の適用方法を選択します。 5つのオプションが利用可能です。 Centered, Tiled, Stretched, Scaled, および Zoomed.		
	オプション説明文		
	Centered 元の画像を画面の中央に配置します。		
	Tiled 画面に元の画像を並べて表示します。		
壁紙スタイル	Stretched 画面に合わせて画像を中央に配置し、拡大/縮小します。		
	Scaled 上下または左右が画面に合うまで、画面に合わせて画像を中央に配置してサイズを調整します。		
	Zoomed 画像を中央に配置してサイズを調整し、画面全体に表示します。		
	<b>注意:</b> 接続されているディスプレイのサイズによっては、2つのオプションが同じ効果を持つ場合があります。		
壁紙	ドロップダウンメニューをクリックして、Atrustの壁紙の色を選択します。 <b>グリーン、ブルー、オレンジ、シアン</b> の4色をご用意。		
タスクバー			
項目	説明文		
タスクバーの自動非表示	自動的に非表示にするか、常にタスクバーを表示するには、チェックをオン/オフにします。		

# 3. [保存]をクリックして適用します。

## 3.3.5 クイックアクセスショートカットの非表示または表示

ローカルデスクトップですぐにサービスにアクセスしたい場合は、[スタート]メニューとローカルLinuxデスクトップにクイックアクセスショートカット**リモートデスクトップ/ Citrix / VMware View**を表示するように選択できます。 これらのショートカットを使用すると、クリックするだけでサービスにすばやくアクセスできます。

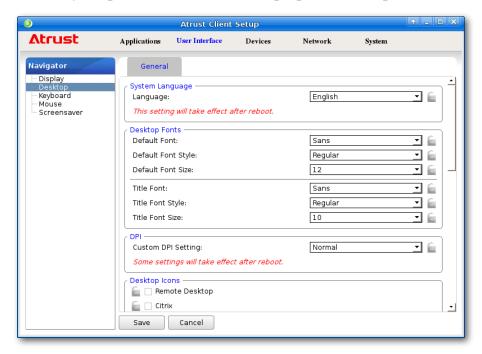


#### 注意

デフォルトでは非表示になっています。

スタートメニューのショートカット**リモートデスクトップ/ Citrix / VMware View**およびローカルLinux デスクトップを表示/非表示にするには、次の手順を実行します。

1. Atrust Client Setupで、[ユーザーインターフェイス]> [デスクトップ]をクリックします。



- 2. [デスクトップアイコン]セクションの[**リモートデスクトップ/ Citrix / VMware View**]をクリックしてオン/オフにし、[スタート]メニューとローカルLinuxデスクトップのクイックアクセスショートカット**リモートデスクトップ/ Citrix / VMware View**を表示/非表示にします。
- 3. 「保存」をクリックして変更を適用します。

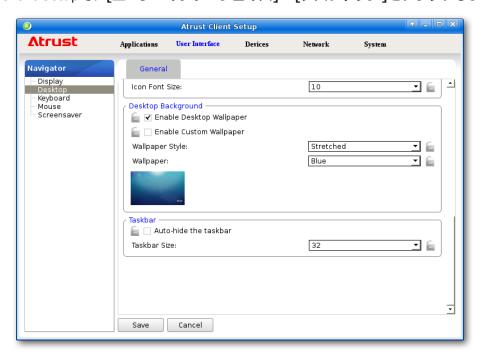
4. 選択したショートカットが表示/非表示になります。



### 3.3.6 カスタム壁紙の使用

カスタムの壁紙を使用するには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、[ユーザーインターフェイス]> [デスクトップ]をクリックします。



2. [カスタム壁紙を有効にする]をオンまたはオフにして、カスタム壁紙の使用を有効または無効にします。

3. 壁紙を適用する方法と、画像ファイルをダウンロードまたは取得する場所を選択します。 壁紙を取得するには、**自動セットアップ、Atrustデバイスマネージャー、ファイル**の3つのオプションを使用できます。



#### 注意

- **自動セットアップ**が選択されている場合、シンクライアントは自動セットアップ環境にあり、その環境用に適切に構成されている必要があります。 詳しくは"3.2.9 自動セットアップの有効化または無効化 (P.62)"をご覧ください。
- が選択されている場合、シンクライアントはによって管理されている必要があります。 詳細については、のユーザーマニュアルを参照してください。
- 4. 必要に応じて、その他の情報を提供します。



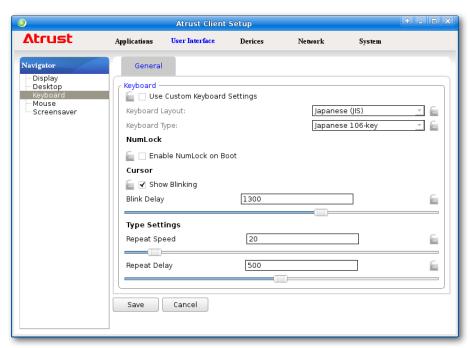
#### 注意

- [ファイル]を選択した場合は、ローカルに接続されたUSBフラッシュドライブなど、イメージファイルをローカルに取得する場所を指定する必要があります。
- カスタム壁紙ファイルの最大許容サイズは5 MBです。
- 5. [保存]をクリックして確定します。

#### 3.3.7 キーボード設定の調整

mt182Lのキーボード設定を調整するには、次の手順に従ってください。

1. Atrust Client Setupで、[ユーザーインターフェイス]> [キーボード]をクリックします。



2. ドロップダウンメニューをクリックするか、チェックボックスをオンまたはオフにするか、スライダーを動かして、目的の設定を選択します。 各設定項目の説明については、次の表を参照してください。

キーボード			
	項目	説明文	
カスタムキーする	ボード設定を使用	カスタムキーボード設定の使用を有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。 <b>注意:</b> この設定が有効になっている場合にのみ、キーボードのレイアウトとタイプを設定できます。	
キーボード・	レイアウト	ドロップダウンメニューをクリックして、目的のキーボードレイアウトを選択します。	
キーボードタ	·  イプ	ドロップダウンメニューをクリックして、目的のキーボードタイプを選択します。	
起動時にNun	nLockを有効にする	システムの起動後にNumLockキーを有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。	
カーソル	点滅を表示	カーソルの点滅を有効/無効にするには、チェック/チェックを外します(ローカルデスクトップのみ)。	
73 770	点滅遅延	スライダーを動かして、カーソルが出現するまでの点滅間隔を選択します。	
タイプ設定	繰り返し速度	スライダーを動かして、キーを押したときの文字リピート率を選択します。	
ラゴノ設定	遅延を繰り返す	スライダーを動かして、各出現間の文字繰り返し遅延を選択します。	



## ヒント

• 上/下矢印の上にマウスを置いて、キーボードレイアウトリストをすばやく上下にスクロールします。



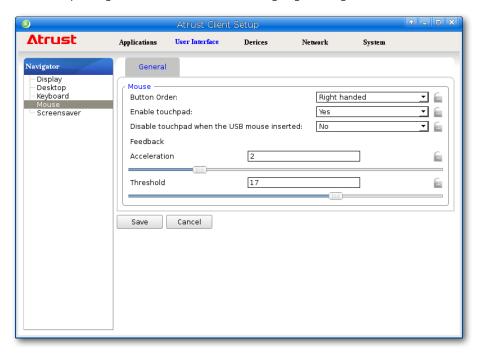
• 設定値を微調整するには、そのスライダーをクリックし、右/左キーを使用して値を1ず つ増減するか、ページ Up / ページ Downキーを使用して10ずつ増減します。

3. [保存]をクリックして適用します。

## 3.3.8 マウス設定の調整

mt182Lのマウス設定を調整するには、次の手順に従ってください。

1. Atrust Client Setupで、**[ユーザーインターフェイス]> [マウス]**をクリックします。



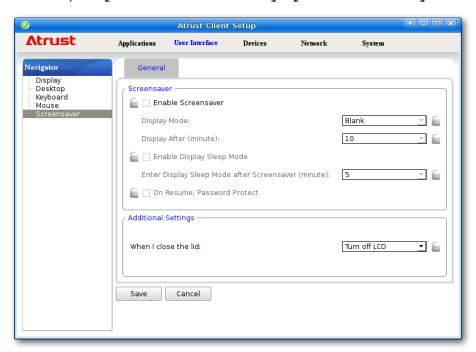
2. ドロップダウンメニューをクリックするか、スライダーを動かして、目的の設定値を選択します。 各設定項目の説明については、次の表を参照してください。

マウス		
項	I	説明文
ボタン注文		ドロップダウンメニューをクリックして、右利き用と左利き用のマウスボタンを切り替えます。
タッチパッドを	有効にする	ドロップダウンメニューをクリックして、タッチパッドを有効または無効にします。
USBマウスを指 タッチパッドを		ドロップダウンメニューをクリックして、USBマウスが接続されているときにタッチパッドを無効にするかどうかを選択します。
フィードバ	加速度	スライダーを動かして、マウスの移動速度を選択します。
ック	敷居	スライダーを動かして、マウスが加速し始めるまでの移動距離(ピクセル)を選択します。

### 3.3.9 スクリーンセーバー設定の構成

mt182Lのスクリーンセーバー設定を構成するには、次の手順を実行します。

1. Atrust Client Setupで、[ユーザーインターフェイス]> [スクリーンセーバー]をクリックします。



2. ドロップダウンメニューまたはチェックボックスをクリックして、必要な設定を選択します。

スクリーンセーバー			
項目	説明文		
スクリーンセーバーを有効にする	スクリーンセーバーを有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。		
	スクリーンセーバーの表示モードをクリックして選択します。 <b>Blank</b> , <b>Logo</b> , <b>Image</b> の3つのオプションを使用できます。		
	オプション	説明文	
ディスプレイモード	ブランク	黒い画面を表示します。	
		Atrustフローティングロゴを表示します。	
	画像	指定した画像を表示します。	
表示後(分)	スクリーンセーバーの待機時間をクリックして選択します。		

	クリックして画像を取得し、スクリーンセーバーに使用する場所を選択します。 3つのオプション、 <b>デフォルト、自動セットアップ、Atrustデバイスマネージャー</b> を使用できます。		
	オプション	説明文	
	デフォルト	シンクライアントのデフォルトイメージを使用します。	
	自動セットアップ	自動設定から画像を取得して使用します。	
ソースを指定してください	Atrustデバイスマネー ジャー	Atrustデバイスマネージャーからイメージを取得して使用します。	
	<b>注意:</b> 自動セットアップの詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。		
	注意: Atrustデバイスマネ- ください。	ージャーの詳細については、そのユーザーマニュアルを参照して	
毎回画像を変更	クリックして、表示される画像を変更する間隔を設定します。		
ディスプレイスリープモードを有 効にする	オンにすると、ディスプレイがオフになり(信号の送信が停止され)、エネルギーを最大限 に節約できます。		
スクリーンセーバーの後にディス プレイスリープモードに入ります (分)	スクリーンセーバーの起動後にディスプレイをオフにする(信号の送信を停止する)タイミングを選択するときにクリックします。		
再開時にパスワード保護	オン/オフすると、パスワードあり/なしで再開できます。		
追加の設定			
項目	説明文		
画面を閉じた時の動作	ふたを閉じたときの動作をクリックして選択します。		



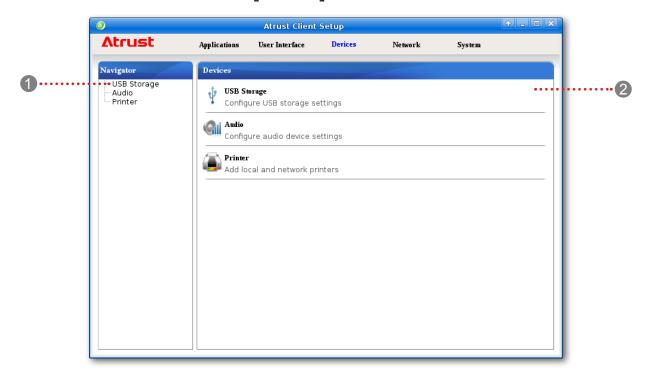
- スクリーンセーバーの待機時間を設定している間、上矢印/下矢印の上にマウ スを置くと、分リストをすばやく上下にスクロールできます。
- 3. [保存]をクリックして適用します。

# 3.4 外部デバイス設定の構成

# 3.4.1 [デバイス]タブの概要

[デバイス]タブでは、クライアントの外部デバイスの設定を構成できます。 [デバイス]タブの利用可能な設定にアクセスするには、Atrust Client Setupのタブをクリックします。

# [デバイス]タブの概要



インタ	インターフェース要素		
No.	名前	説明文	
1	ナビゲーションエリア	[デバイス]タブの設定項目をクリックして選択するか、選択した設定項目の設定エントリを選択します。	
2	構成エリア	設定項目またはエントリを選択した場合の設定値を設定します。	

## 3.4.2 設定一覧

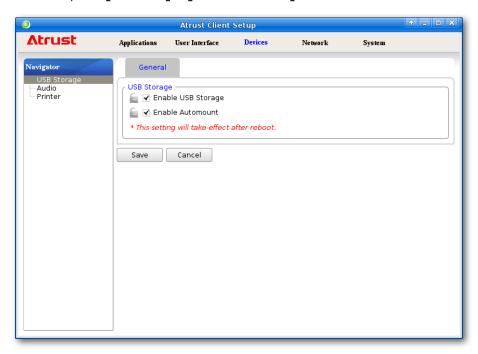
タブ	設定	アイコン	説明文	セクション	ページ
	USBストレ ージ	ψ	USBストレージデバイスの設定を構成するときにクリックします。	3.4.3 3.4.4	94 95
デバイス	オーディオ	Gil	クリックして、オーディオデバイスの設定を構成します。	3.4.5 3.4.6 3.4.7	96 97 98
	プリンター		クリックして、ローカルプリンターまたはネットワーク プリンターを追加します。	3.4.8 3.4.9	99 102

## 3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成

USBストレージデバイスの設定を構成するには、次の操作を行います。



- ローカルまたは仮想セッションでローカルに接続されたUSBストレージデバイスにアク セスするには、この設定項目で適切な設定を構成する必要があります。
- 1. Atrust Client Setupで、[デバイス]> [USBストレージ]をクリックします。



2. チェックボックスをオンまたはオフにして、必要な設定を選択します。

USBストレージデバイスの設定	
項目	説明文
USBストレージを有効にする	USBストレージデバイスへのアクセスを許可/禁止するには、このチェックボックスをオン/オフにします。  注意: RDP / ICA / View / 2Xセッションでローカルに接続されたUSBストレージデバイスを使用するには、このセッションのRDP / ICA / View / 2X接続設定でローカルUSBストレージデバイスのマッピングを有効にする必要があります。 詳細な手順と関連する設定については、セクションを参照してください。  "3.6.5 詳細なRDP接続設定の構成 (P.144)"  "3.6.11 ICA接続の詳細設定 (P.182)"  "3.6.14 詳細ビュー接続設定の構成 (P.216)"  "3.6.22 高度なRAS / RDP接続設定の構成 (P.235)"
自動マウントを有効にする	USBストレージデバイスの自動マウントを有効/無効にするには、このチェックボックスをオン/オフにします。 注意: この設定が無効になっている場合、ユーザーは接続されたUSBストレージデバイスを手動でマウントする必要があります。 詳細な手順については、"3.4.4 接続されたUSBストレージデバイスを手動でマウントおよびイジェクトする (P.95)"セクションを参照してください。

3. [保存]をクリックして変更を保存します。



• 変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。

#### 3.4.4 接続されたUSBストレージデバイスを手動でマウントおよびイジェクトする

接続されたUSBストレージデバイスをマウント/イジェクトするには、次の手順を実行してください。



### 注意

- [自動マウントを有効にする]がオンになっている場合("3.4.3 USBストレージデバイ えの設定の構成 (P.94) "を参照)、接続されているUSBストレージデバイスが自動的 にマウントされます。
- 1. 接続されているUSBストレージデバイスのデスクトップアイコンを右クリックします。
- 2. ポップアップメニューが表示されます。





3. **ボリュームのマウント/イジェクトボリューム**をクリックして選択し、接続されたUSBストレージデ バイスをマウント/イジェクトします。

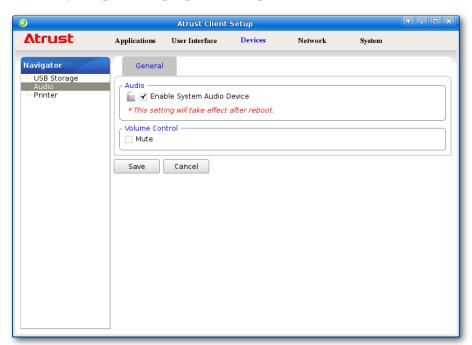
## 3.4.5 接続されたオーディオデバイスの無効化または有効化

接続されているオーディオデバイスを無効/有効にするには、次の操作を行います。



#### 注意

- ローカルに接続されたオーディオデバイスを無効にすると、クライアントユーザーは、RDP / ICA /ビューセッションでこれらのデバイスを使用したオーディオの再生または録音を実行できなくなります。
- RDP / ICA / Viewセッションでローカルオーディオデバイスを使用してオーディオの再生または録音を実行するには、ここでローカルに接続されたオーディオデバイス([デバイス]タブの[オーディオ]設定項目)を有効にし、RDP / ICA /ビュー接続でオーディオ関連の設定を構成する必要があります。 設定。 詳細な手順については、セクションを参照してください。
  - "3.6.5 詳細なRDP接続設定の構成 (P.144)"
  - "3.6.11 ICA接続の詳細設定 (P.182)"
  - "3.6.14 詳細ビュー接続設定の構成 (P.216)"
- 1. Atrust Client Setupで、[デバイス]> [オーディオ]をクリックします。



- 2. [システムオーディオデバイスを有効にする]をクリックしてオン/オフにします。
- 3. [保存]をクリックして選択を確認します。



## 注意

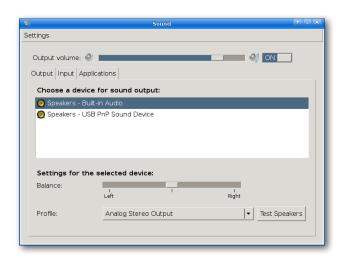
• この変更は、mt182Lが再起動されるまで有効になりません。

# 3.4.6 オーディオデバイスの使用

デフォルトでは、モバイルシンクライアントは、3.5 mmオーディオポートに接続された内蔵スピーカーやオーディオデバイスを使用します。 他のインターフェースのオーディオデバイスを使用する場合は、デフォルトを変更する必要があります。

デフォルトのオーディオデバイスを構成するには、次の操作を行います。

- 1. 目的のオーディオデバイスをシンクライアントに接続します。
- 2. ミキサーウィンドウを開きます。
  - **クイック接続画面**で、右下隅の マアイコンをクリックします。.
  - **ローカルデスクトップ**で、右下隅の アイコンを右クリックし、**[サウンド設定]**を選択します。

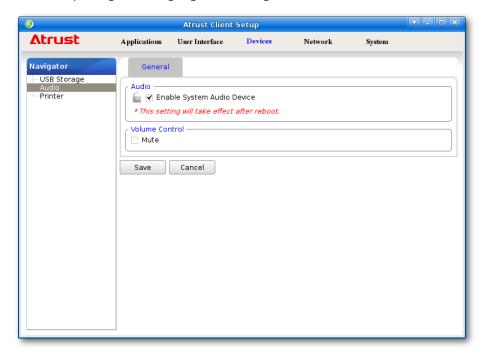


3. [出力/入力]タブをクリックし、サウンドの出力/入力のデフォルトデバイスを選択します。

# 3.4.7 サウンドをミュートまたはミュート解除する

Atrust Client Setupを使用してサウンドをミュート/ミュート解除するには、以下を実行してください:

1. Atrust Client Setupで、[デバイス]> [オーディオ]をクリックします。

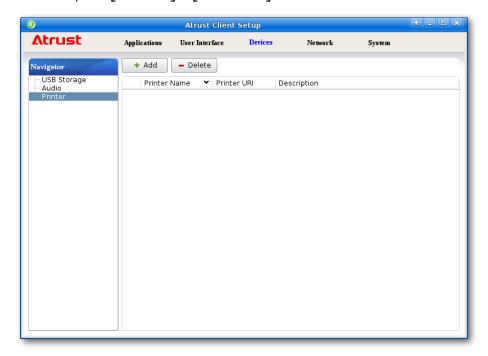


- 2. 音量コントロールセクションで、ミュートをオン/オフにして、サウンドをミュート/ミュート解除します。
- 3. [保存]をクリックして適用します。

# 3.4.8 ローカルプリンターの追加

mt182Lのローカルプリンターを追加するには、次の操作を行います。

- 1. 目的のプリンターをmt182Lに接続し、プリンターの電源を入れます。
- 2. Atrust Client Setupで、[デバイス]> [プリンター]をクリックします。

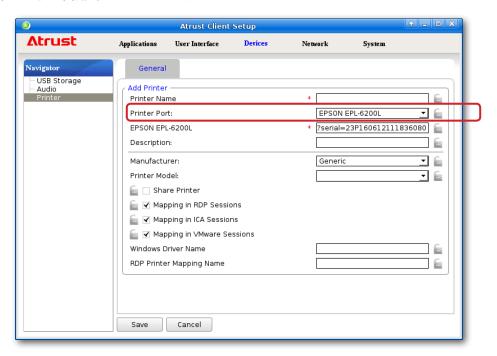


- 3. プリンターリストの上部にある[追加]をクリックします。
- 4. システムは、使用可能なローカルプリンターの検索を自動的に開始します。
- 5. 完了すると、検出されたローカルプリンターが[プリンターポート]ドロップダウンメニューに一覧表示されます。
- 6. [プリンターポート]ドロップダウンメニューをクリックして、目的のローカルプリンターを選択します。



7. [プリンターの追加]セクションのフィールドは、選択したプリンターの種類に合わせて自動的に変更されます。

8. 選択したプリンターのフィールドが表示され、プリンターURI(Uniform Resource Identifier)データがフィールドに自動的に入力されます。





#### 注意

- URI (Uniform Resource Identifier) は、インターネット上のリソースを識別するために使用される文字のシーケンスです。
- 9. 製造元とプリンターモデルのドロップダウンメニューをクリックして、接続されているローカルプリンターの製造元とモデルを選択します。



#### 注意

- プリンタが正常に動作するには、これら2つのフィールドに正しい情報を指定する必要があります。 そうしないと、プリンターが機能しなくなります。
- 10. 次の表を参照して、必要な設定を構成してください。



- プリンターのWindowsドライバー名を指定する必要がある場合があります。 詳細については、表の説明を参照してください。
- 11. 目的のプリンター名を入力し、[保存]をクリックして適用します。

プリンターの設定				
項目	説明文			
	プリンタを共有するには、チェックボックスをオン/オフにします。 <b>プリンタの共有</b> がチェックされると、同じネットワークセグメント内の他のコンピュータがプリンタを使用できるようになります。 この共有プリンターを他のコンピューターで使用できるように追加するには、次の操作を行います。			
	す。 1. Windows Server 2008 R2などのWindows Serverオペレーティングシステムを実行しているコンピューターの場合、最初に <b>インターネット印刷クライアント</b> 機能を追加してください([スタート]> [すべてのプログラム]> [管理ツール]> [サーバーマネージャー]> [アクション]> [機能の追加]> [インターネット印刷クライアント]をクリックし、ウィザードに従ってください。 タスクを完了してから、システムを再起動します)。			
プリンタを共有	<ol> <li>[スタート]&gt; [デバイスとプリンター]&gt; [プリンターの追加]&gt; [ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンターの追加]をクリックします。</li> <li>「停止]をクリックしてプリンターの自動検索をキャンセルし、「探しているプリンターは</li> </ol>			
	<b>この一覧にはありません]</b> をクリックします。 4. <b>[名前で共有プリンターを選択する]</b> で、http://IPクライアントのIPアドレス:631/printers/Printer Nameを入力します。			
	注意: たとえば、プリンターがシンクライアントにローカルに接続され、Atrust Client Setupを介してプリンター名 <b>EPS</b> でローカルプリンターとして追加され、シンクライアントのIPアドレスが192.168.50.146であるとします。 ここに入力する必要があります: http://192.168.50.146:631/printers/EPS  5. <b>[次へ]</b> をクリックして続行します。			
	<ol> <li>で、「はく」とフラックとも続けるよう。</li> <li>プリンターの製造元とモデルを選択し、[OK]をクリックして正しいドライバーをインストールします。</li> <li>完了すると、成功メッセージが表示されます。 [次へ]をクリックして続行します。</li> <li>表示されたページで、[テストページの印刷]をクリックしてプリンターをテストします。</li> <li>[完了]をクリックして適用します。 プリンタが[プリンタとFAX]リストに追加されます。</li> </ol>			
RDPセッションでのマッピング	RDPセッションでローカルに接続されているプリンターを有効/無効にするには、オン/オフにします。			
ICAセッションでのマッピング	ICAセッションでローカルに接続されているプリンターを有効/無効にするには、オン/オフにします。			
VMwareセッションでのマッ ピング	ビューセッションでローカルに接続されたプリンターを有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。			
	プリンタがセッションで適切に機能する場合は、このフィールドを空白のままにします。 プリンターが機能しない場合は、このフィールドに入力すると問題が解決することがあります。			
	必要な情報を見つけるには、以下を実行してください。			
	<ol> <li>Windows OSを実行しているコンピューターにプリンターを接続し、必要なインストールを完了して、プリンターが正常に動作することを確認します。</li> </ol>			
	2. <b>[スタート]&gt; [デバイスとプリンター]</b> をクリックし、開いたウィンドウでプリンターを 右クリックして、ポップアップメニューを開きます。			
Windowsドライバー名	<ul><li>3. ポップアップメニューで、[プリンターのプロパティ]をクリックして選択します。</li><li>4. 開いたウィンドウで、[詳細]をクリックします。 ドライバー名が表示されます。</li></ul>			
	General Sharing Pots Advanced Color Management Security Optional Settings  Always available Available from Priority:  Drivers  Enson EPI -62001  New Driver			
RDPプリンターマッピング名 (RDPセッションのみ)	セッションで目的のプリンター名を入力します(Windowsデスクトップ)。 このフィールドが 空白のままの場合、[プリンタ名]フィールドに入力した名前が使用されます。			

## 3.4.9 ネットワークプリンターの追加

mt182Lのネットワークプリンターを追加するには、次の操作を行います。

- 1. mt182Lがネットワークに接続され、目的のネットワークプリンターの電源が入っていることを確認 します。
- 2. Atrust Client Setupで、[デバイス]> [プリンター]をクリックします。
- 3. プリンターリストの上部にある[追加]をクリックします。
- 4. システムは、使用可能なローカルプリンターの検索を自動的に開始します。 完了すると、検出された ローカルプリンターが[プリンターポート]ドロップダウンメニューに一覧表示されます。
- 5. [プリンターポート]ドロップダウンメニューをクリックして、目的のネットワークプリンターを選択します。 TCPネットワークプリンター、LPDネットワークプリンター、IPPネットワークプリンターの3種類のネットワークプリンターを使用できます。



- 6. [プリンターの追加]セクションのフィールドは、選択したプリンターの種類に合わせて自動的に変更されます。
- 7. TCPプリンターサーバー、LPDプリンターサーバー、またはIPP URIフィールドにネットワークプリンターのIPアドレスを入力します。



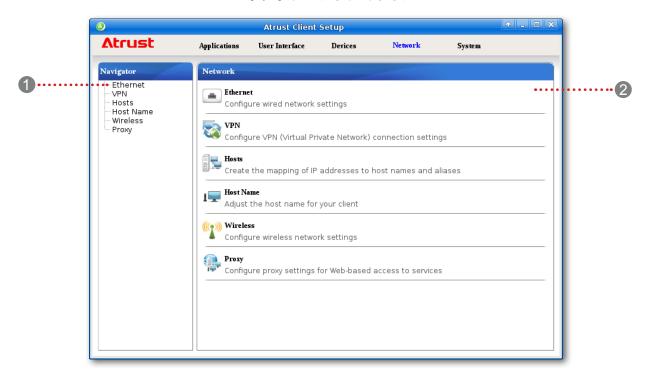
- 8. 製造元とプリンターモデルのドロップダウンメニューをクリックして、目的のネットワークプリンターの製造元とモデルを選択します。
- 9. ページ101 の表を参照して他のプリンター設定を構成し、「保存」をクリックして適用します。

# 3.5 ネットワーク設定の構成

# 3.5.1 [ネットワーク]タブの概要

[ネットワーク]タブでは、クライアントのネットワーク設定を構成できます。 [ネットワーク]タブの利用可能な設定にアクセスするには、Atrust Client Setupのタブをクリックします。

# ネットワークタブの概要



インターフェース要素				
No.	名前	説明文		
1	ナビゲーションエリア	クリックして、[ネットワーク]タブの設定項目を選択するか、選択した設定項目の 設定エントリを選択します。		
2	構成エリア	設定項目またはエントリを選択した場合の設定値を設定します。		

# 3.5.2 設定一覧

タブ	設定	アイコン	説明文	セクション	ページ
	イーサネット	-	クリックして有線ネットワーク設定を構成します。	3.5.3 3.5.4	105 108
	VPN		クリックしてVPN(仮想プライベートネットワーク)接 続設定を構成し、VPN接続を作成します。	3.5.5 3.5.6	109 113
<b>→</b> w.トロ <i>ロ</i>	ホスト		クリックして、ホストの名前またはエイリアスへのIPアドレスのマッピングを作成し、フェイルオーバークラスターリストを作成します。	3.5.7 3.5.8	114 116
ネットワーク	ホスト名	1	クリックして、Thin Clientのホスト名を変更します。	3.5.9	118
	ワイヤレス	<b>((7))</b>	クリックしてワイヤレスネットワーク設定を構成し、ワ イヤレス接続を作成します。	3.5.10 3.5.11 3.5.12 3.5.13	119 120 121 124
	プロキシ		サービスへのWebベースのアクセスのプロキシ設定を構成するときにクリックします。	3.5.14	125

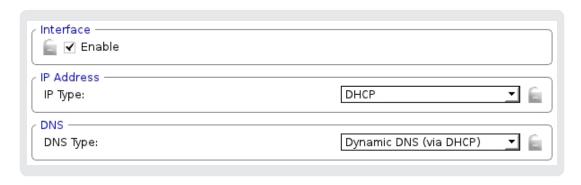
## 3.5.3 有線ネットワーク設定の構成

イーサネット設定を使用すると、mt182Lシンクライアントの有線ネットワーク設定を構成できます。

# イーサネットネットワークインターフェイスの有効化または無効化

イーサネットネットワークインターフェイスを有効/無効にするには、次の手順に従ってください。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [イーサネット]をクリックします。
- 2. [インターフェイス]セクションで、**[有効にする]**をオンまたはオフにして、イーサネットネットワークインターフェイスを有効または無効にします。



3. [保存]をクリックして適用します。

## 動的IPアドレスの使用

動的IPアドレスを使用するには、以下を実行してください。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [イーサネット]をクリックします。
- 2. [IPアドレス]セクションで、ドロップダウンメニューをクリックして、[IPタイプ]フィールドで **[DHCP]**を選択します。



#### 注意

- **DHCP**が選択されている場合、ネットワーク上のDHCPサーバーは自動的に IPアドレスをmt182Lシンクライアントに割り当てます。 これがデフォルト の設定です。
- 3. [保存]をクリックして適用します。

### 静的IPアドレスの使用

静的IPアドレスを使用するには、次の操作を行います。

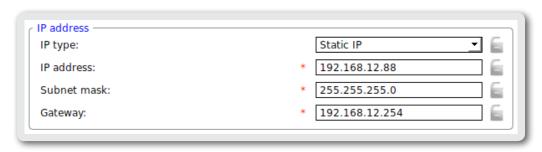


- 企業ネットワーク環境では、mt182Lシンクライアントに動的IPアドレスを使用することをお勧めします。
- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [イーサネット]をクリックします。
- 2. [IPアドレス]セクションで、ドロップダウンメニューをクリックして、[IPタイプ]フィールドで**[静 的IP]**を選択します。
- 3. IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの各フィールドが[IPアドレス]セクションに表示されます。

ネットワーク設定の構成



4. mt182LシンクライアントのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。





### 注意

- mt182Lが接続するネットワークに関する無料のIPアドレスやその他の必要な データについては、ネットワーク管理者に問い合わせてください
- 赤いアスタリスクは必須フィールドを示します。
- 5. [保存]をクリックして適用します。



#### 注意

• 静的IPアドレスを使用する場合は、さらにDNSサーバーアドレスを手動で指定する必要があります。

### DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する

DNSサーバーアドレスを自動的に取得するには、次の操作を行います。



#### 注意

• DHCPサーバー経由でIPアドレスを取得しないことを選択した場合、DHCPサーバー経由でDNSサーバーアドレスを自動的に取得することはできません。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [イーサネット]をクリックします。
- 2. [DNS]セクションで、ドロップダウンメニューをクリックして、[DNSタイプ]フィールドで**[動的 DNS (DHCP経由)]**を選択します。
- 3. [保存]をクリックして適用します。

# DNSサーバーのアドレスを手動で指定する

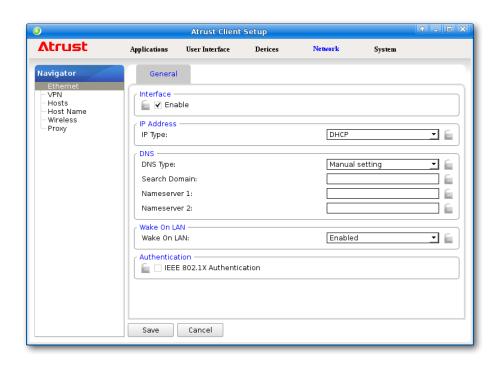
DNSサーバーアドレスを手動で指定するには、次の操作を行います。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [イーサネット]をクリックします。
- 2. [DNS]セクションで、プルダウンメニューをクリックして[**手動設定]**を選択します。
- **3. [検索ドメイン]、[ネームサーバー1]**、および**[ネームサーバー2]**フィールドがDNSセクションに表示されます。



#### 注意

• mt182Lシンクライアントに静的IPアドレスを使用する場合は、DNSサーバーアドレスを手動で指定する必要があります。 この場合、[DNSの種類]フィールドは表示されないため、[手動設定]または[動的DNS(DHCP経由)]を選択することはできません。



4. Nameserver 1フィールドに優先DNSサーバーアドレスを入力し、存在する場合はNameserver 2フィールドに代替DNSサーバーアドレスを入力します。

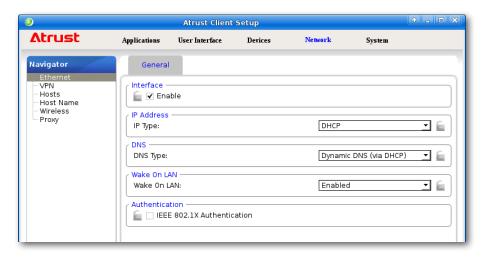


- [ドメインの検索]フィールドでドメイン名を指定すると、システムはそのドメイン内のコンピューターを、FQDN(完全修飾ドメイン名)ではなくコンピューター名だけで検出できるようになります。
- 5. [保存]をクリックして適用します。

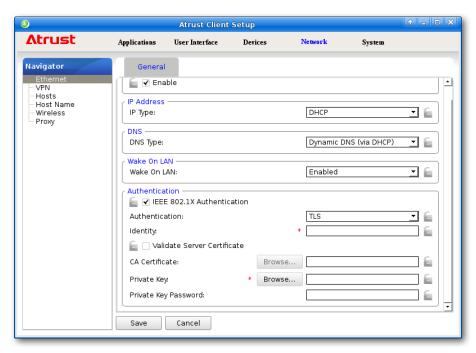
### 3.5.4 IEEE 802.1X認証の構成

IEEE 802.1X認証を構成するには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [イーサネット]をクリックします。



2. [認証]セクションで、**[IEEE 802.1X認証]**をオンまたはオフにして、IEEE 802.1X認証を有効または無効にします。



3. 目的の認証方法を選択し、必要に応じてファイルまたは情報を入力します。



#### 注意

• 必要なファイルまたは構成と認証に関する情報については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

## 3.5.5 VPN接続の確立と停止

VPN設定により、mt182Lの仮想プライベートネットワーク接続を確立/停止できます。



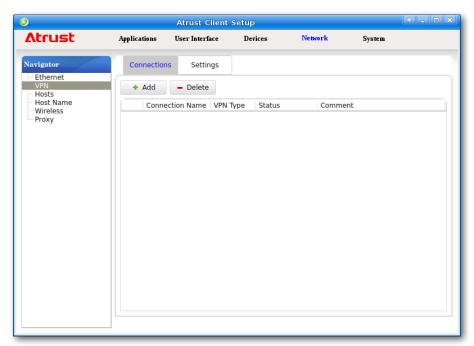
#### 注意

• VPN設定では、仮想プライベートネットワーク設定を構成および管理することもできます。 仮想プライベートネットワーク設定を構成および管理する方法については、セクション "3.5.6 仮想プライベートネットワーク設定の構成(P.113)"を参照してください。

# 仮想プライベートネットワークの追加

仮想プライベートネットワークを追加するには、次の手順を実行してください。

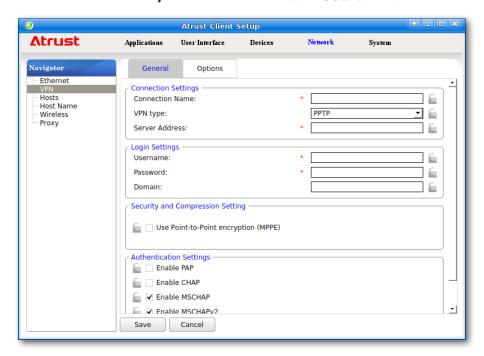
1. Atrust Client Setupでは、仮想プライベートネットワークのリストを開くには、[ネットワーク]> [VPN]をクリックします。





- エントリを作成していない場合、仮想プライベートネットワークリストは空になります。
- 2. [仮想プライベートネットワーク]リストの上部にある[追加]をクリックします。

3. [全般]タブで、ドロップダウンメニューをクリックして、目的のVPNタイプを選択します。 PPTP、L2TP、およびCisco AnyConnectの3つのタイプを使用できます。





- 設定項目は、選択したVPNの種類によって異なります。
- 4. 入力またはドロップダウンメニューをクリックして、構成と認証に関する情報を提供します。



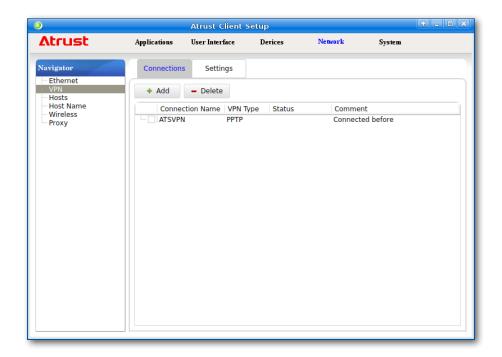
#### 注意

- 構成と認証に必要な情報については、ネットワーク管理者に問い合わせてく ださい。
- 5. 「オプション]タブで、必要に応じてDNS関連の設定を構成します。
- 6. [保存]をクリックして、仮想プライベートネットワークを追加します。

# 仮想プライベートネットワーク接続の確立

mt182Lの仮想プライベートネットワーク接続を確立するには、次の手順に従ってください。

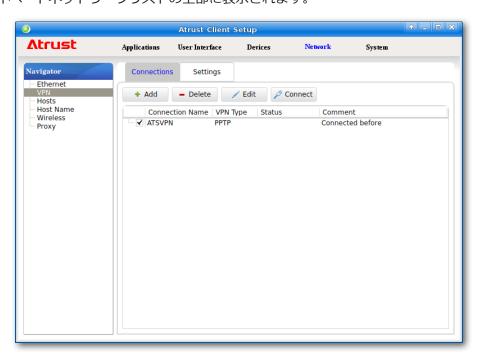
1. Atrust Client Setupで、仮想プライベートネットワークのリストを開くには、[ネットワーク]> [VPN]をクリックします。





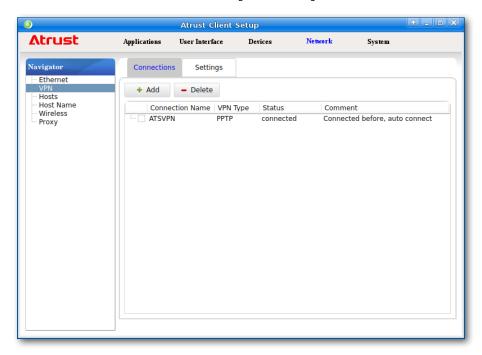
### 注意

- エントリを作成していない場合、仮想プライベートネットワークリストは空になります。 仮想プライベートネットワークを追加する手順については、前のトピックを参照してください。



3. **[接続]**をクリックして、選択したネットワークエントリを介して仮想プライベートネットワーク接続を作成します。

4. 完了すると、仮想プライベートネットワークの[ステータス]列に接続が表示されます。



# 仮想プライベートネットワーク接続の停止

仮想プライベートネットワーク接続を停止するには、以下を実行してください。

- 1. Atrust Client Setupで、仮想プライベートネットワークのリストを開くには、[ネットワーク]> [VPN]をクリックします。
- 2. クリックして、目的の仮想プライベートネットワークを確認します。 [仮想プライベートネットワー ク]リストの上部に[ / Disconnect の切断]ボタンが表示されます。
- 3. [切断]をクリックして、仮想プライベートネットワーク接続を停止します。

# 仮想プライベートネットワークの削除

仮想プライベートネットワークを削除するには、次の手順を実行してください。

- 1. Atrust Client Setupで、仮想プライベートネットワークのリストを開くには、「ネットワーク]> [VPN]をクリックします。
- 2. クリックして、目的の仮想プライベートネットワークを確認します。
- 3. [削除]をクリックして、選択した仮想プライベートネットワークを削除します。

# 3.5.6 仮想プライベートネットワーク設定の構成

# 仮想プライベートネットワークの接続設定の調整

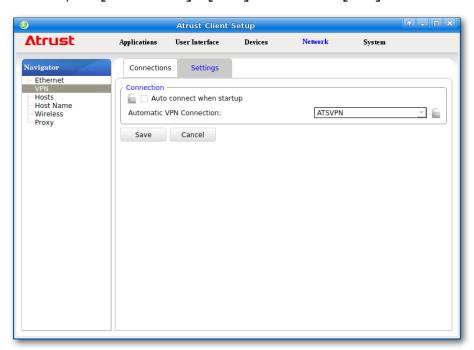
仮想プライベートネットワークの接続設定を調整するには、次の操作を行います。

- 1. Atrust Client Setupで、仮想プライベートネットワークのリストを開くには、[ネットワーク]> [VPN]をクリックします。
- 2. クリックして、目的の仮想プライベートネットワークを確認します。 [仮想プライベートネットワーク]リストの上部に[ / Edit の編集]ボタンが表示されます。
- 3. [編集]をクリックして設定を調整し、[保存]をクリックして適用します。

# 仮想プライベートネットワーク接続の一般設定の構成

仮想プライベートネットワーク接続の一般的な設定を構成するには、次の操作を行います。

1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [VPN]をクリックし、[設定]サブタブをクリックします。



2. [接続]セクションで、**[起動時に自動接続]**をクリックしてオン/オフにし、システム起動後の自動仮想 プライベートネットワーク接続を許可/禁止します。 この機能が有効になっている場合は、ドロップ ダウンメニューから目的の仮想プライベートネットワークを選択します。

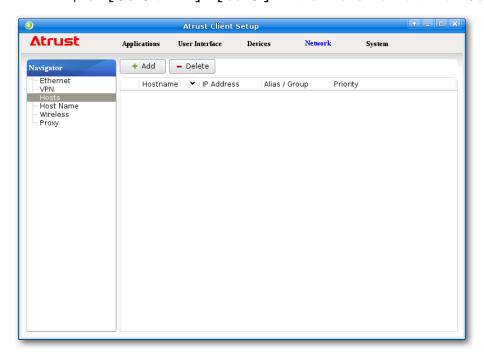
# 3.5.7 ホスト名へのIPアドレスのマッピングの作成

Atrust Client Setupでは、クライアント設定の構成中にIPアドレスを指定する必要がある場合は、IPアドレスの代わりにホストの名前またはエイリアスを使用できます。 この機能を使用するには、まずIPアドレスからホストの名前またはエイリアスへのマッピングを作成する必要があります。

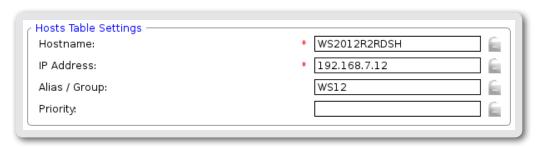
### マッピングリストの作成

名前またはエイリアスへのIPアドレスのマッピングを作成するには、以下を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、「ネットワーク]> 「ホスト]をクリックして、ホストリストを開きます。



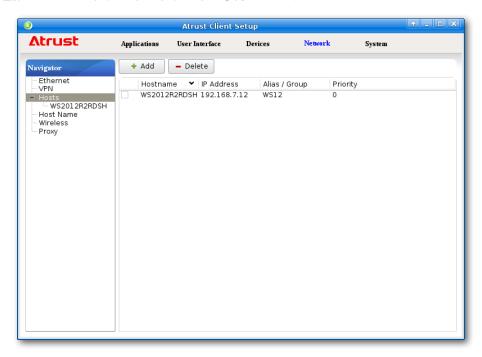
- 2. [追加]をクリックして、新しいホストエントリの追加を開始します。
- 3. ホストの名前、IPアドレス、エイリアスを入力し、[優先度]フィールドを空白のままにして、**[保存]** をクリックして適用します。





- ホストがドメインに属している場合は、[ホスト名]フィールドにFQDN (完全 修飾ドメイン名) または**完全な**コンピューター名を入力しないでください。 この必須フィールドには、ホストのコンピューター名のみを入力します。
- ホストフェイルオーバー機能を許可するフェイルオーバークラスターリストを作成する場合にのみ、[優先度]フィールドに数値を入力する必要があります。 詳細は"3.5.8 フェールオーバークラスターリストの構成 (P.116)"を参照してください。

4. 新しく追加されたエントリがホストリストに表示されます。



- 5. 手順2~3を繰り返して、別の新しいエントリを追加します。
- 6. これで、クライアント設定の構成中にAtrust Client SetupでIPアドレスを指定する必要がある場合は、IPアドレスの代わりにホストの名前またはエイリアスを使用できます。

# マッピングリストの管理

マッピングリストを管理するには、次の操作を行います。

- 1. Atrust Client Setupで、「ネットワーク]> 「ホスト]をクリックして、ホストリストを開きます。
- 2. ホストリストのエントリを管理する場合に選択します。
  - エントリの設定を調整するには、エントリをダブルクリックするか、エントリをチェックオフしてから、マッピングリストの上部にある[編集]ボタンをクリックします。
  - エントリを削除するには、エントリをチェックして、マッピングリストの上部にある[削除]をクリックします。
  - 複数のエントリを削除するには、目的のエントリをすべてオフにして、[**削除**]をクリックします。 確認を求めるウィンドウが表示されます。 **[はい]**をクリックして確認します。

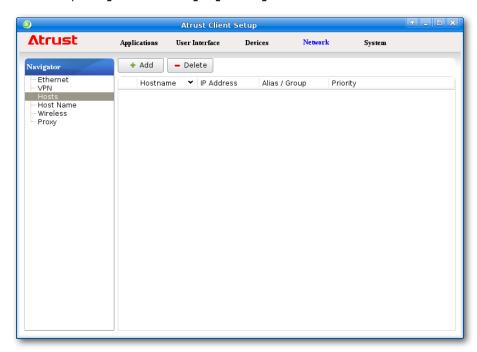
# 3.5.8 フェールオーバークラスターリストの構成

Atrust Client Setupを使用すると、フェールオーバークラスターリストを作成し、そのサーバーグループ (フェールオーバークラスター) からのサービスの高可用性を維持できます。

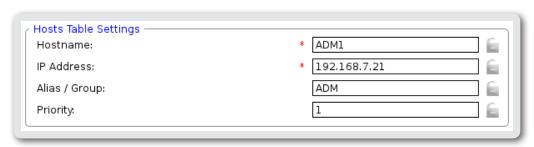
# フェールオーバークラスターリストの作成

フェールオーバークラスターリストを作成するには、次の手順を実行します。

1. Atrust Client Setupで、「ネットワーク]>「ホスト]をクリックして、ホストリストを開きます。



- 2. [追加]をクリックして、新しいホストエントリの追加を開始します。
- 3. 名前、IPアドレス、エイリアス、さらにクラスター(グループ)名、クラスター(グループ)の優先 順位を入力し、[保存]をクリックして適用します。

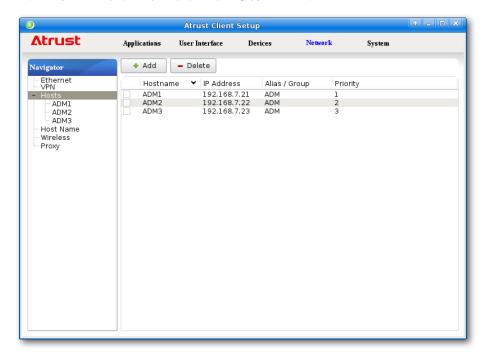




#### 注意

• ホストがドメインに属している場合は、[ホスト名]フィールドにFQDN(完全 修飾ドメイン名) または完全なコンピューター名を入力しないでください。 この必須フィールドには、ホストのコンピューター名のみを入力します。

- 4. 手順2~3を繰り返して、別の新しいエントリを追加します。
- 5. 追加されたすべてのエントリがホストリストに表示されます。



6. mt182Lは、このフェイルオーバークラスター(グループ)に接続している間、指定された優先順位に従います。

Hostname	<b>▼</b> IP Address	Alias / Group	Priority
ADM1	192.168.7.21	ADM	1
ADM2	192.168.7.22	ADM	2
ADM3	192.168.7.23	ADM	3

# フェールオーバークラスターリストの管理

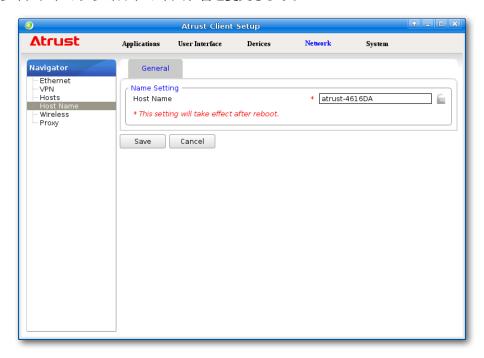
ホストリストを管理するには、次の操作を行います。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]>[ホスト]をクリックして、ホストリストを開きます。
- 2. ホストリストのエントリを管理する場合に選択します。
  - エントリの設定を調整するには、エントリをダブルクリックするか、エントリをチェックオフしてから、ホストリストの上部にある**[編集]**ボタンをクリックします。
  - エントリを削除するには、エントリをチェックして、ホストリストの上部にある[削除]をクリックします。
  - 複数のエントリを削除するには、目的のエントリをすべてオフにして、[**削除**]をクリックします。 確認を求めるウィンドウが表示されます。 **[はい]**をクリックして確認します。

# 3.5.9 シンクライアントのホスト名の変更

シンクライアントのホスト名を変更するには、次の手順を実行してください。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]>[ホスト名]をクリックします。
- 2. シンクライアントのデフォルトのホスト名を変更します。



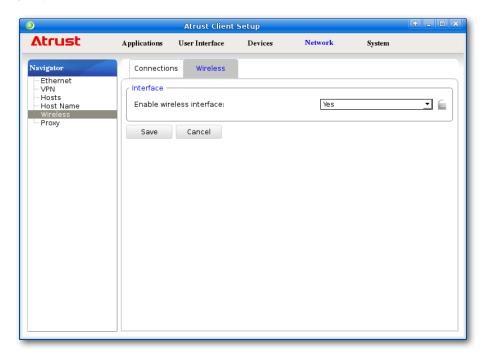
- 3. [保存]をクリックして確定します。
- 4. 変更を有効にするには再起動が必要です。

# 3.5.10 ワイヤレスインターフェイスの有効化または無効化

ワイヤレスインターフェイスを有効または無効にするには、次の操作を行います。



- デフォルトでは、ワイヤレスインターフェイスは**有効に**なっています。
- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [ワイヤレス]をクリックし、次に[ワイヤレス]サブタブを クリックします。

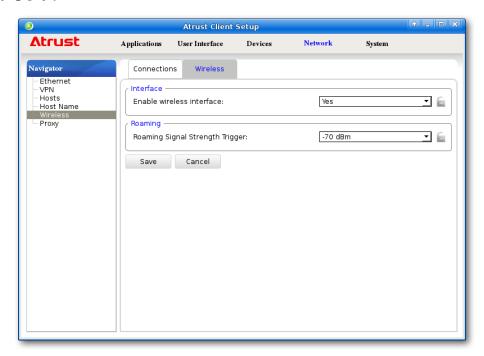


- 2. [インターフェイス]セクションで、ドロップダウンメニューをクリックして、ワイヤレスネットワー クインターフェイスを有効または無効にします。
- 3. [保存]をクリックして適用します。

# 3.5.11 ローミングのトリガーしきい値の構成

ワイヤレス接続のローミングトリガーしきい値を構成するには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [ワイヤレス]をクリックし、次に[ワイヤレス]サブタブを クリックします。



2. [ローミング]セクションで、ドロップダウンメニューをクリックして、目的のトリガーしきい値を選 択します。



- ワイヤレスローミングを無効にするには、ここで[ローミングなし]を選択し
- 3. [保存]をクリックして適用します。

# 3.5.12 ワイヤレス接続の確立と停止



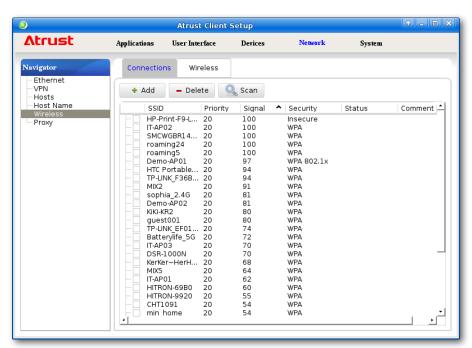
### 注意

• ワイヤレスインターフェイスが**有効に**なっていることを確認します。 "ワイヤレスインターフェイスの有効化または無効化" on page 119を参照してください。

# ワイヤレスネットワーク接続の確立

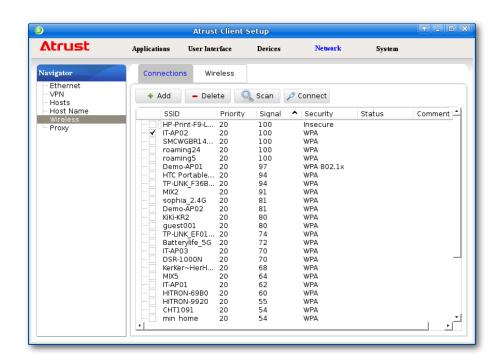
mt182Lシンクライアントのワイヤレスネットワーク接続を確立するには、次の手順に従ってください。

1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [ワイヤレス]をクリックして、[ワイヤレスネットワーク] リストを開きます。





- mt182Lはネットワーク検出を1回実行し、使用可能なすべてのワイヤレスネットワークを指定します。 更新するには、ワイヤレスネットワークリストの上部にある[スキャン]をクリックします。
- 2. クリックして、目的のワイヤレスネットワークを確認します。 [ / Connect の接続]ボタンがワイヤレスネットワークリストの上部に表示されます。

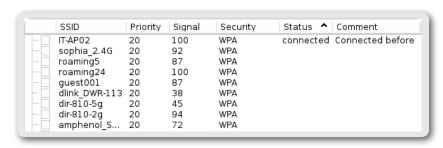


- 3. **[接続]**をクリックして、選択したワイヤレスネットワークを介したワイヤレスネットワーク接続を作成します。
- 4. 確認または認証を求めるウィンドウが表示されます。





- 以前にこのワイヤレスネットワークにアクセスしたことがある場合、パスワードは今後のアクセスのために自動的に記録されます。 この場合、パスワードを再度入力する必要はありません。 無線接続の確立を確認するだけです。
- 認証に必要な情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 5. 必要なパスワードを入力し、**[接続]**をクリックして続行します。 または、**[OK]**をクリックして、ワイヤレス接続の確立を確認します。
- 6. 完了すると、ワイヤレスネットワークの[ステータス]列に接続が表示されます。



# ワイヤレスネットワーク接続の停止

ワイヤレスネットワーク接続を停止するには、次の操作を行います。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [ワイヤレス]をクリックして、[ワイヤレスネットワーク] リストを開きます。
- 2. クリックして、目的のワイヤレスネットワークを確認します。 ワイヤレスネットワークリストの上部 [□ Disconnect の切断]ボタンが表示されます。
- 3. ワイヤレスネットワーク接続を停止するには、「切断」をクリックします。

# ワイヤレスネットワークの追加

ワイヤレスネットワークリストで目的のワイヤレスネットワークが見つからない場合は、手動で追加できます。

ワイヤレスネットワークをワイヤレスネットワークリストに追加するには、次の手順を実行します。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [ワイヤレス]をクリックして、[ワイヤレスネットワーク] リストを開きます。
- 2. ワイヤレスネットワークリストの上部にある「追加」をクリックします。
- 3. 開いたウィンドウで、ワイヤレスネットワーク名(SSID)を入力し、使用するワイヤレスセキュリティ方法を選択して、必要な情報を入力します。



4. [接続]をクリックして、ワイヤレス接続を作成します。



# 注意

- IPアドレスの設定方法については、"3.5.3 有線ネットワーク設定の構成 (P.105)"を参照してください。
- デフォルトでは、DHCPサーバーによって割り当てられた動的IPアドレスを使用します。
- 5. 完了すると、追加されたワイヤレスネットワークが[ワイヤレスネットワーク]リストに表示され、接続されていることが[ステータス]列に表示されます。

#### ワイヤレスネットワークの削除

ワイヤレスネットワークを削除するには、次の手順に従ってください。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [ワイヤレス]をクリックして、[ワイヤレスネットワーク] リストを開きます。
- 2. 目的のワイヤレスネットワークをクリックしてチェックし、[削除]をクリックして、選択したワイヤレスネットワークを削除します。



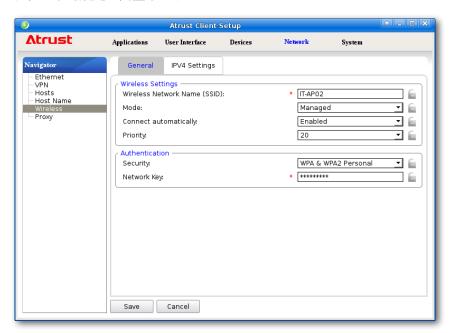
### 注意

• mt182Lは利用可能なワイヤレスネットワークを自動的に検出し、検出されたネットワークをワイヤレスネットワークリストに追加します。 したがって、削除されたワイヤレスネットワークはリストに再び表示される可能性がありますが、保存されている認証データを含む接続設定は削除されます。

# 3.5.13 ワイヤレス接続設定の構成

ワイヤレスネットワークの接続設定を調整するには、次の操作を行います。

- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [ワイヤレス]をクリックして、[ワイヤレスネットワーク] リストを開きます。
- 2. クリックして、現在接続されている目的のワイヤレスネットワークを確認します。 [ / Edit の編集]ボタンがワイヤレスネットワークリストの上部に表示されます。
- 3. [編集]をクリックして設定を調整します。



• [全般]タブで、ドロップダウンメニューをクリックして、このワイヤレスネットワークが範囲内にあるときの自動接続、優先度、およびその他の接続設定を構成します。



# 注意

- デフォルトでは、クライアントがワイヤレスネットワークに正常に接続した場合、その ネットワークに自動的に接続します。
- 優先度順にワイヤレスネットワークに接続するために、**優先度**を設定できます。 デフォルトでは、優先順位はなく、すべてのネットワークに最低値の**20**が指定されています。
- [IPV4設定]タブで、ドロップダウンメニューをクリックするか、フィールドに値を入力してIP設定を構成します。



### 注意

● [全般]タブで接続設定を構成する方法については、"3.5.12 ワイヤレス接続の確立と停止 (P.121)"セクションを参照してください。 [IPV4設定]タブでIPアドレスを設定する方法については、"3.5.3 有線ネットワーク設定の構成 (P.105)"を参照してください。

4. [保存]をクリックして適用します。

### 3.5.14 サービスへのWebベースのアクセスのプロキシ設定の構成

サービスへのWebベースのアクセスのプロキシ設定を構成するには、次の手順を実行してください。



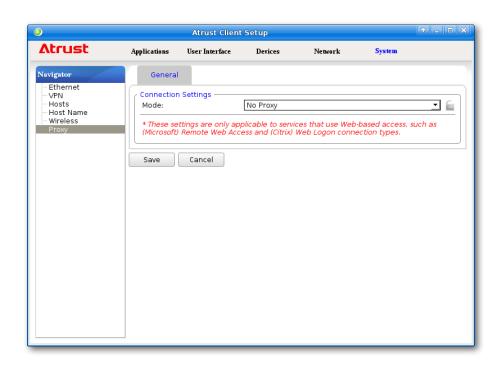
#### 注意

- ここで使用できる設定は、(Microsoft) リモートWebアクセスや(Citrix) Webログオン接続タイプなど、Webベースのアクセスを使用するサービスにのみ適用されます。
- 1. Atrust Client Setupで、[ネットワーク]> [プロキシ]をクリックします。
- 2. モードのドロップダウンメニューをクリックして、目的の構成モードを選択します。 4つのモードを 使用できます。プロキシなし、プロキシ設定の自動検出、プロキシの手動設定、および自動プロキシ 設定。



#### 注意

• 設定項目は、選択したモードによって異なります。



3. 必要に応じてデータを提供します。 各設定項目の説明については、以下の表を参照してください。

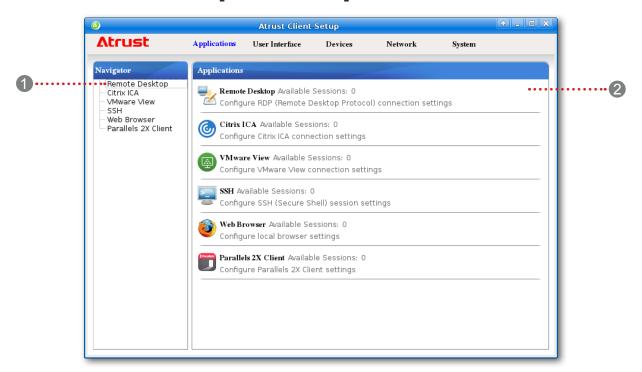
接続設定					
項目	説明文				
	目的のプロキシ構成モードをクリックして選択します。				
	モード	説明文			
	プロキシなし	プロキシサーバーは使用しないでください。			
モード	プロキシ設定の自動検出	ネットワークのプロキシ設定を自動的に検出します。			
	手動プロキシ設定	プロキシ設定を手動で構成します。			
	自動プロキシ設定	プロキシ設定ファイルへの接続を通じてプロキシ設定を自 動的にロードします。			
モード: 手動プロキシ設定					
HTTPプロキシ	HTTPプロキシサーバーのIPアドレスを提供します。				
ポート	HTTPプロキシサーバーが使用するポート番号を提供します。				
プロキシなし	プロキシリストを提供しません。 指定されたURLへの接続中にプロキシサーバーを使用しないでください。				
モード: 自動プロキシ設定					
URL	プロキシ設定をネットワーク経由でロードできるプロキシ設定ファイルのURLを提供します。				

# 3.6 サービスアクセス設定の構成

# 3.6.1 [アプリケーション]タブの概要

[アプリケーション]タブでは、クライアントでのサービスアクセスの設定を構成できます。 [アプリケーション]タブの利用可能な設定にアクセスするには、Atrust Client Setupのタブをクリックします。

# [アプリケーション]タブの概要



インターフェース要素				
No.	名前	説明文		
1	ナビゲーションエリア	[アプリケーション]タブで設定項目を選択するか、選択した設定項目で設定エントリを選択するときにクリックします。		
2	構成エリア	設定項目またはエントリを選択した場合の設定値を設定します。		

# 3.6.2 設定一覧

タブ	設定	アイコン	説明文	セクション	ページ
	リモートデスク トップ	<b>2</b>	クリックしてRDP(リモートデスクトッププロトコル)接 続設定を構成し、リモートデスクトップセッションのロー カルデスクトップと[スタート]メニューにショートカット を作成します。	3.6.3 3.6.4 3.6.5	129 138 144
	Citrix ICA	<b>©</b>	クリックしてICA(独立コンピューティングアーキテクチャ)接続設定を構成し、ICAセッションのローカルデスクトップと[スタート]メニューにショートカットを作成します。	3.6.6 3.6.7 3.6.8 3.6.9 3.6.10 3.6.11	159 172 173 174 175 182
アプリケーシ ョン	VMware View		クリックして、VMware View接続設定を構成し、ローカルデスクトップとViewセッションの[スタート]メニューにショートカットを作成します。	3.6.12 3.6.13 3.6.14	212 214 216
	SSH	<u></u>	クリックしてSSH(Secure SHell)接続設定を構成し、ローカルデスクトップにショートカットを作成し、SSHセッションの[スタート]メニューを作成します。	3.6.15 3.6.16	221 223
	ウェブブラウザ	<b>3</b>	クリックして設定を構成し、ローカルデスクトップとブラウザセッションの[スタート]メニューにショートカットを作成します。	3.6.17 3.6.18 3.6.19	224 226 227
	Parallels 2X クライアント	Parado	クリックしてRAS(リモートアプリケーションサーバー)/ RDP(リモートデスクトッププロトコル)接続設定を構成し、ローカルデスクトップとRAS / RDPセッションの[スタート]メニューにショートカットを作成します。	3.6.20 3.6.21 3.6.22	228 233 235

# 3.6.3 基本的なRDP接続設定の構成

**リモートデスクトップ**設定を使用すると、RDP(リモートデスクトッププロトコル)接続設定を構成し、サ ービスアクセス用のローカルデスクトップと[スタート]メニューにショートカットを作成できます。 これらのショートカットを使用するだけで、リモートデスクトップまたはアプリケーションにアクセスして作業 できます。



• Microsoftリモートデスクトップサービスの詳細については、MicrosoftのWebサイト (www.microsoft.com) にアクセスしてください。

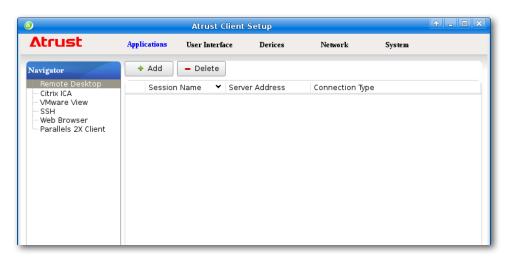
#### 3つの接続タイプを使用できます。

接続タイプ	説明文	ページ
リモートデスクトップ	リモートデスクトップ/アプリケーションサービスへのアクセスを選択します。	130
リモートWebアクセス	Webブラウザーを介してリモートアプリケーションサービスにアクセスすることを選択します。	132
ウェブフィード	公開されたデスクトップショートカットを介してリモートアプリケーションサービスにアクセ スすることを選択します。	134

# 接続タイプ: リモートデスクトップ

リモートデスクトップ接続タイプのRDP接続設定をすばやく構成するには、次の手順を実行します。

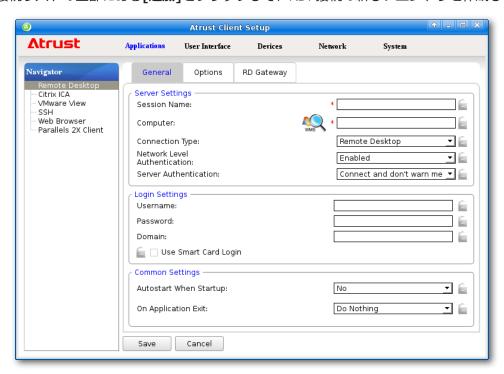
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [リモートデスクトップ]をクリックします。
- 2. RDP接続リストが構成エリアに表示されます。





#### 注意

- エントリを作成していない場合、RDP接続リストは空になります。
- 3. RDP接続リストの上部にある[追加]をクリックして、RDP接続の新しいエントリを作成します。



4. 「一般」サブタブの「サーバー設定」セクションで、セッション名とサーバー/仮想マシンのアドレスを入力します。



### 注意

- 赤いアスタリスクは必須フィールドを示します。
- リモートサービスでホストされるコンピューターは、物理サーバーまたは仮想マシン です。 詳細については、MicrosoftのWebサイトwww.microsoft.comまたはsupport. microsoft.comにアクセスしてください。
- mt182Lは、最大2つのリモートデスクトップセッションを同時にサポートします。
- Windows® RemoteFX™は、リモートデスクトップユーザーにネットワーク経由でリッ チなユーザーエクスペリエンスを提供するテクノロジーです。



- MultiPoint™ RリモートデスクトップセッションのRDP接続設定のエントリを作成する には、以下を実行してください。
  - 1. [サーバー設定]セクションで、[WMS] ファクリックして、ネットワーク上の MultiPoint™ Serverシステムの検出を開始します。
  - 2. 開いたウィンドウで、ドロップダウンメニューをクリックして目的のサーバーを 選択し、[OK]をクリックして確認します。
  - 3. 選択したサーバーの名前とIPアドレスが、対応するフィールドに自動的に入力さ れます。
- デフォルトのセッション名は、選択したMultiPointホストサーバーの名前になります が、デフォルトを変更することもできます。
- Windows® MultiPoint™ は共有リソーステクノロジーです。 このWindowsベースの オペレーティングシステムにより、ホストサーバーは複数の独立したステーションに電 力を供給できるようになり、ユーザーは単一のサーバーの処理能力を共有できます。 こ のオペレーティングシステムに基づいて、Atrustはサーバーとクライアントの両方を含 む完全なソリューションを提供します。 詳細については、当社のウェブサイトwww. atrustcorp.comをご覧ください。
- 5. [保存]をクリックして、このRDP接続エントリを追加します。
- 6. リモートデスクトップサービスのショートカットは、ローカルデスクトップと[スタート]メニューに 自動的に作成されます。



#### 注意

• サービス提供の計画とサーバーの構成によっては、サービスアクセス用に他の高度な RDP接続設定を構成する必要がある場合があります。 その他の利用可能な設定の詳細に ついては、セクション "3.6.5 詳細なRDP接続設定の構成 (P.144)"を参照してください。

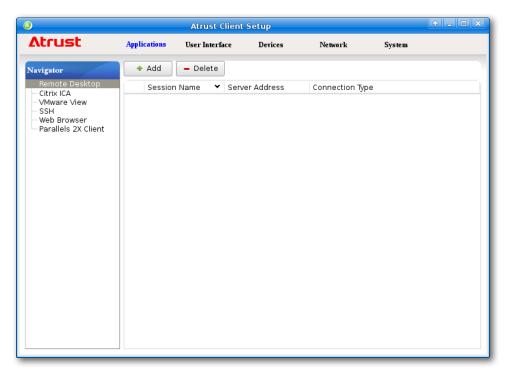
# 接続タイプ: リモートWebアクセス

リモートWebアクセス接続タイプのRDP接続設定をすばやく構成するには、以下を実行してください。



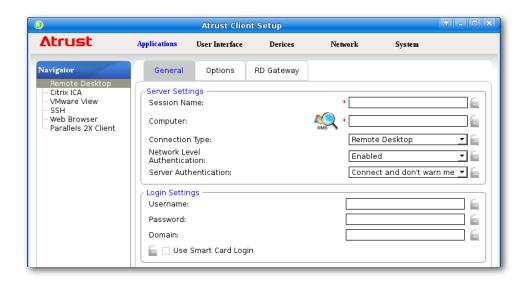
#### 注意

- Atrust mt182Lは、Windows Sever 2012 R2に基づくRD Webアクセスのみをサポートしています。 Windows Server 2008 R2ベースはサポートされていません。
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [リモートデスクトップ]をクリックします。
- 2. RDP接続リストが構成エリアに表示されます。

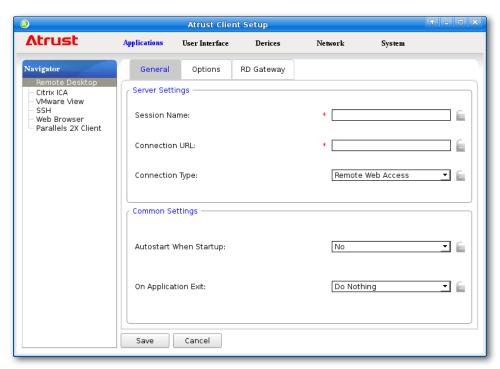




- エントリを作成していない場合、RDP接続リストは空になります。
- 3. RDP接続リストの上部にある「追加」をクリックして、RDP接続の新しいエントリを作成します。



4. **[全般]**サブタブで、[接続タイプ]ドロップダウンメニューをクリックして、**[リモートWebアクセ ス]**を選択します。



5. Webベースのリモートアプリケーションにアクセスするためのセッション名と接続URLを入力します。



- 赤いアスタリスクは必須フィールドを示します。
- 適切な接続URLについては、IT管理者にお問い合わせください。
- 6. [保存]をクリックして、このRDP接続エントリを追加します。
- 7. リモートWebアクセスのショートカットは、ローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に 作成されます。

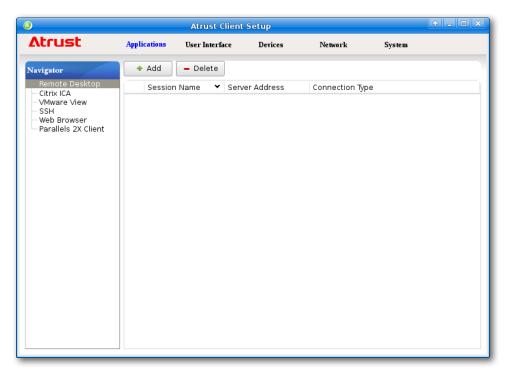
# 接続タイプ: Webフィード

Webフィード接続タイプのRDP接続設定をすばやく構成するには、以下を実行してください。



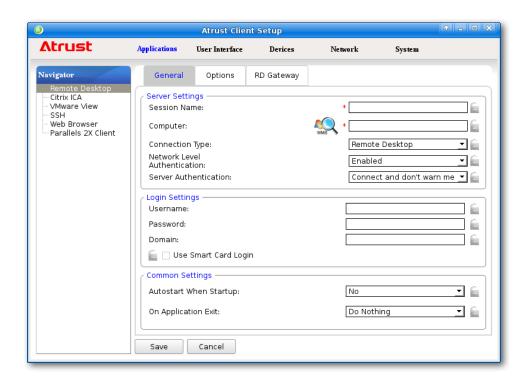
## 注意

- Atrust mt182Lは、Windows Sever 2012 R2に基づくRD Webフィードのみをサポートしています。 Windows Server 2008 R2ベースはサポートされていません。
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [リモートデスクトップ]をクリックします。
- 2. RDP接続リストが構成エリアに表示されます。

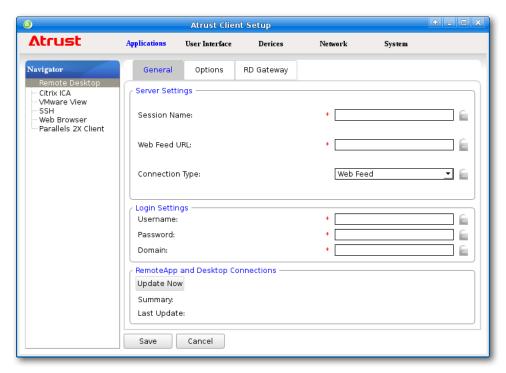




- エントリを作成していない場合、RDP接続リストは空になります。
- 3. RDP接続リストの上部にある「追加」をクリックして、RDP接続の新しいエントリを作成します。



4. **[全般]**サブタブで、[接続タイプ]ドロップダウンメニューをクリックして、**[Webフィード]**を選択します。



5. セッション名、リモートアプリケーションにアクセスするためのWebフィードURL、およびWebフィードの資格情報を入力します。



- 赤いアスタリスクは必須フィールドを示します。
- 適切なWebフィードURLについては、IT管理者にお問い合わせください。

6. [RemoteAppとデスクトップ接続]セクションで**[今すぐ更新]**をクリックします。 完了すると、その セクションに結果が以下のように表示されます。

RemoteApp and Desktop Connections -

Update Now

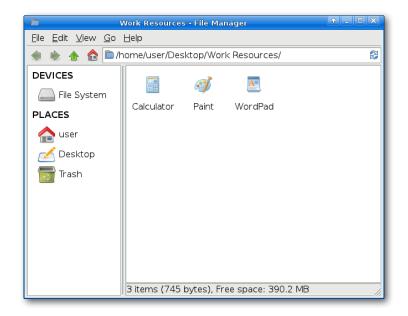
Summary: 3 applications, 0 desktops Last Update: Mon Jun 30 2014 10:13:16



- 新しく公開されたアプリケーションがある場合は、**今すぐ更新**を使用して Webフィードの概要を更新する必要があります。 そうしないと、新しいアプリケーションにアクセスできなくなります。
- 7. [保存]をクリックして、このRDP接続エントリを追加します。
- 8. アクセスショートカットのあるWork Resources という名前のフォルダーがローカルデスクトップ に自動的に作成されます。



9. 利用可能なアプリケーションへのアクセスショートカットは、そのフォルダーにあります。





• 新しく公開されたアプリケーションがある場合は、ステップ6で説明されている「**今すぐ更新」**を使用してWebフィードを更新する必要があります。 そう しないと、新しいアプリケーションは表示されません。

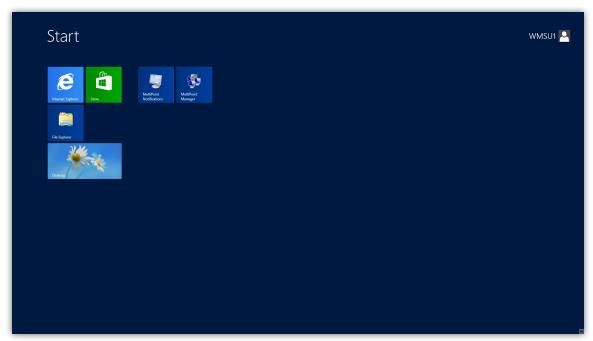
# 3.6.4 リモートデスクトップサービスへのアクセス

# 接続タイプ: リモートデスクトップ

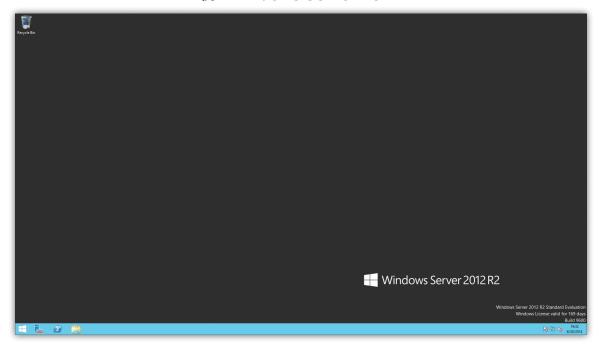
リモートデスクトップにアクセスするには、次の操作を行います。

- 1. デスクトップに作成されたショートカットをダブルクリックします。
- 2. 画面の指示に従い、必要に応じて必要な資格情報を提供します。
- 3. リモートデスクトップが画面に表示されます。

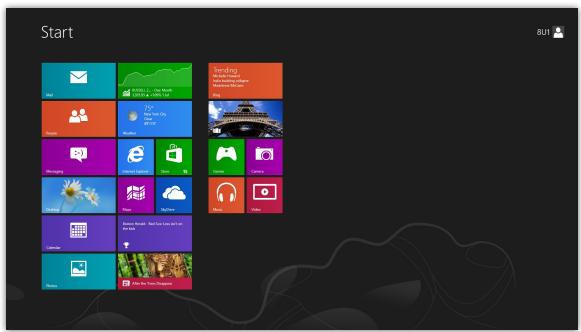
例: Windows MultiPoint Server 2012



例: Windows Server 2012



例: Windows 8 Enterprise



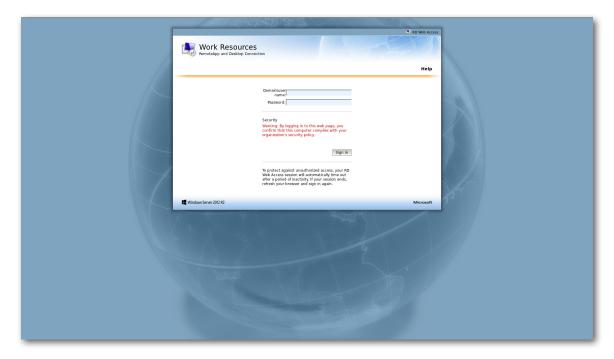


 リモートデスクトップの接続タイプでは、アプリケーションのみのセッションを起動することもできます。 デスクトップ全体ではなく、特定のアプリケーションのみが起動されます。 詳しくは "3.6.5 詳細なRDP接続設定の構成 (P.144)"をご参照ください。

## 接続タイプ: リモートWebアクセス

リモートアプリケーションにアクセスするには、次の手順を実行してください。

- 1. デスクトップに作成されたショートカットをダブルクリックします。
- 2. 資格情報の入力を求めるウィンドウが表示されます。





## 注意

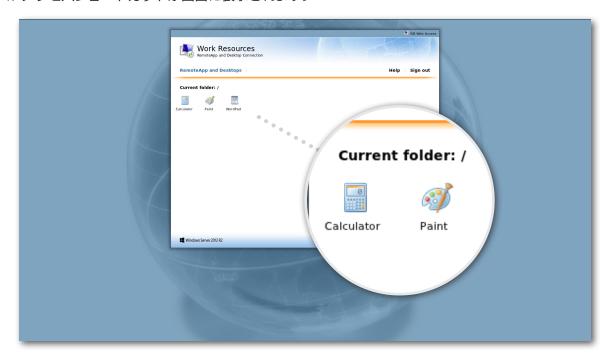
• 「この接続は信頼できません」という警告メッセージが表示される場合があります。 詳細についてはIT管理者に相談し、接続が最初に安全であることを確認してください。 セキュリティ証明書をインポートするには、"3.2.16 リモートコンピューターの証明書のインポート (P.73)"を参照してください。 バイパスするには、[リスクを理解する]> [例外を追加]> [セキュリティ例外の確認]をクリックします。



## ヒント

- このログオン画面または他の画面を終了してローカルデスクトップに**戻る**には、**Alt + F4**キーを押してください。
- 3. 資格情報を入力し、[サインイン]をクリックします。

4. アクセスショートカットが画面に表示されます。



- 5. クリックまたはダブルクリックして、目的のアプリケーションを選択します。
- 6. 資格情報の入力を求めるウィンドウが表示されます。



7. 資格情報を入力し、[OK]をクリックして、選択したアプリケーションを起動します。



## ヒント

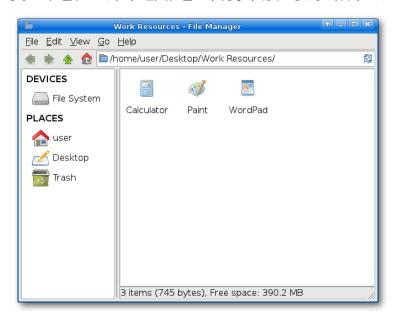
• **Alt + Tab**を使用して、非表示または最小化されたアプリケーションまたは デスクトップを選択して復元します。

# 接続タイプ:Webフィード

1. ローカルデスクトップのWork Resourcesフォルダをダブルクリックします。



2. 利用可能なアプリケーションへのアクセスショートカットは、そのフォルダーにあります。



3. ダブルクリックして目的のアプリケーションを選択します。

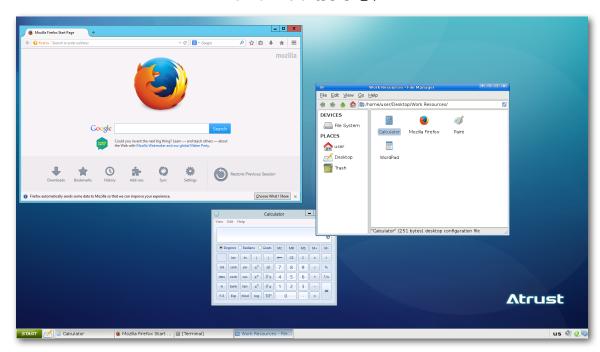
4. 資格情報の入力を求めるウィンドウが表示されます。



5. 資格情報を入力し、[OK]をクリックして、選択したアプリケーションを起動します。

# リモートアプリケーションの例

Mozilla Firefoxおよび電卓



## 3.6.5 詳細なRDP接続設定の構成

以下の表は、RDP接続の各設定項目の説明です。 これらの表を参照して、詳細設定を構成し、ローカルデ スクトップのショートカットとサービスアクセスの[スタート]メニューをカスタマイズしてください。



• 使用可能な設定は、選択した接続タイプによって異なることに注意してくだ

## リモートデスクトップの接続タイプの設定



- リモートWebアクセスの接続タイプの設定の説明については、"リモートWeb アクセスの接続タイプの設定 (P.151)"を参照してください。
- Webフィードの接続タイプの設定については、"Webフィードの接続タイプの 設定 (P.155)"を参照してください。

## 一般サブタブ

サーバー設定			
項目	説明文		
セッション名	リモートデスクトップセッションの名前を入力します。		
コンピューター	リモートデスクトップセッションを配信するサーバーのコンピューター名またはIPアドレス を入力します。		
	この表では、 <b>リモートデスクトップ</b> が選択されている場合に使用可能な設定についてのみ説 明します。		
	3つの接続タイプを使用できます。		
	オプション	説明文	
接続タイプ	リモートデスクトップ	リモートデスクトップセッションの名前を入力します。	
	リモートWebアクセス	Webブラウザー(Mozilla Firefox)を介してリモートアプリケーションサービスにアクセスすることを選択します。	
	ウェブフィード	公開されたデスクトップショートカットを介してリモートア プリケーションサービスにアクセスすることを選択します。	
	ネットワークレベル認証を有効/無効にします。		
ネットワークレベルの認証	注意: ネットワークレベル認証は、ログオン画面が表示されてセッションが作成されてザーの認証を要求することにより、サーバーのセキュリティを強化する用される認証方法です。 これは、リモートコンピュータを悪意のあるユーフトウェアから保護するのに役立つ、より安全な認証方法です。		

	クライアントがリモートコンピューターのIDを確認できない場合の次の処理を選択します。 3つのオプション、 <b>[接続して警告しない]、[警告する]</b> 、および <b>[接続しない]</b> を使用できます。	
	オプション	説明文
	接続して警告しない	警告なしでとにかく接続します。
サーバー認証	警告する	警告し、ユーザーが接続するかどうかを選択できるよう にします。
	接続しない	接続を拒否します。
ロガノ、乳ウ		ーターの証明書をインポートするには、セクション"3.2.16 リモー の証明書のインポート (P.73)"を参照してください。
ログイン設定	T	
項目	説明文	
	認証に使用するユーザー/アカウント名を入力します。	
ユーザー名	認証に使用するユーザー	/アカウント名を入力します。
ユーザー名 パスワード		/アカウント名を入力します。 アカウントのパスワードを入力します。
	認証に使用するユーザー サーバーのドメインを入 注意: ドメインは、共通の のコンピューターの	アカウントのパスワードを入力します。

共通設定			
項目	説明文		
	開くか。 <b>注意:</b> n	どうかを選択します。 nt182Lには、似ている	ートモード)に、リモートデスクトップセッションを自動的に るが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場 が有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。
	No.		説明文
	140.		クライアントは、目的のMicrosoft RDPセッションで直接 起動し、セッションを終了した後、構成されたアクショ ンを実行します。
	1	アプライアンス	利用可能なアクションは次のとおりです。
	1	アフライアン人	<ul><li>新しいセッションを再開する</li></ul>
			<ul><li>シンクライアントの再起動</li></ul>
			• シンクライアントをオフにする
起動時に自動起動			クライアントは、目的のMicrosoft RDPセッションで直接 起動し、セッションを終了した後、構成されたアクショ ンを実行します。
	2 自動起動		利用可能なアクションは次のとおりです。
		自動起動	<ul><li>ローカルデスクトップに戻る</li></ul>
			<ul><li>新しいセッションを再開する</li></ul>
			<ul><li>シンクライアントの再起動</li><li>シンクライアントをオフにする</li></ul>
			• シンケンイナンドセオンにする
	3	クイック接続	ステム起動後クライアントはAtrustクイック接続画面に 入ります。
		自動開始モードを使用 忍してください。	するには、アプライアンスモードが無効になっていることを確
	リモートデスクトップセッションが終了したときの動作を選択します。 <b>何もしない、アプリケーションの再起動、アプリケーションの強制再起動、再起動、シャットダウン</b> の5つのオプションを使用できます。		
	オプミ	ション	説明文
	何もし	しない	mt182LローカルLinuxデスクトップに戻ります。
アプリケーション終了時	アプリ	リケーションの再起動	リモートデスクトップセッションを再度開きます。
	アプリ 起動	リケーションの強制再	リモートデスクトップセッションを再度開き、その間 のメッセージをスキップします。
	再起重	<b>д</b>	mt182Lを再起動します。
	シャッ	<b>ットダウン</b>	mt182Lの電源を切ります。

# **オプション**サブタブ

プログラム			
項目	説明文		
接続時に次のプログラムを起動します	す。このオプションを使用できま・リモートデスクトップ・リモートアプリケーションのみにアーションのでは追加する必要が、プリケーションをデリケーションをデリケーションを	をクリックして、アプリケーションモードを有効または無効にしま 使用して、セッションタイプを選択します。 2つのリモートセッシ す。 プ(アプリケーションモードが無効な場合) ション(アプリケーションモードが有効な場合) ーションセッションは、フルデスクトップではなく特定のアプリケクセスするために使用されるリモートセッションです。 ーションセッションを開く前に、ホストサーバー上のRemoteApp 用して、目的のアプリケーションをRemoteAppプログラムリスト あります。 サーバー上のRemoteAppプログラムリストに目的のア 追加する方法の詳細については、MicrosoftのWebサイト (www.	
次のフォルダから始めます	場所(ホストサーバー上 注意: このフィールドに ファイル名(次の たは、[プログラム	を起動するが有効になっている場合は、目的のアプリケーションの)を入力します。 目的のアプリケーションの場所/パスを入力し、プログラムパスとフィールド)にアプリケーションの名前のみを指定できます。 まるのパスとファイル名]にアプリケーションの完全なパスと名前を入ルドを空のままにすることができます。	
	の名前を入力します。	<b>なを起動する]</b> が有効になっている場合は、目的のアプリケーション	
	Remote APP	フォーマット例	
プログラムのパスとファイル名	Windows Media Player	C:¥Programs Files (x86)¥Windows Media Player¥wmplayer.exe	
	Adobe Reader X  Adobe Reader X	C:\Programs Files (x86)\Adobe\Reader 10.0\Reader\ArcoRd32.exe	
	Adobe Reader X <b>注意:</b> ファイル拡張子は	C:¥Programs Files (x86)¥Adobe¥Reader 10.0¥Reader¥ArcoRd32 省略できます。	
ウィンドウ設定	ウィンドウ設定		
項目	説明文		
色深度	ドロップダウンメニューをクリックして、リモートデスクトップセッションに必要な色深度を選択します。5つのオプション、自動、15ビット、16ビット、24ビット、32ビットを使用できます。  注意: RemoteFXが有効になっている場合、ここで選択した色深度に関係なく、32ビット/ピクセルが適用されます。  注意: [自動]オプションは、ホストサーバーによって定義された設定を使用します。  注意: ホストサーバー上のリモートデスクトップセッションの色深度の上限を構成できます。この場合、ここで選択する色深度に関係なく、値は定義された制限を超えるこ		

	ドロップダウンメニューをクリックして、リモートデスクトップセッションで必要なディスプレイ解像度を選択します。 <b>フルスクリーン、ラージウィンドウ、ミディアムウィンドウ、スモールウィンドウ</b> の4つのオプションを使用できます。		
解像度	オプション説明文		
	フルスクリーン ローカルデスクトップと同じディスプレイ解像度でリモートデスクトップセッションを全画面で開きます。		
	ラージウィン ドウ 大きなディスプレイ解像度でリモートデスクトップセッションを開きます。		
	ミディアムウィ 中程度のディスプレイ解像度でリモートデスクトップセッションを開きます。 ンドウ		
	スモールウィン 小さなディスプレイ解像度でリモートデスクトップセッションを開きます。 ドウ		
	注意: ローカルデスクトップの表示解像度を構成するには、セクション "3.3.3 表示設定の構成 (P.80)"を参照してください。		
ツールバー	ドロップダウンメニューをクリックして、リモートデスクトップセッションでAtrustツールバーを使用するかどうかを選択します。 ツールバーを使用すると、セッションウィンドウのサイズを調整したり、セッションを一時停止したりできます。		
	Λtrust ト		
フルスクリーン切り替え	ドロップダウンメニューをクリックして、 <b>Ctrl + Alt + Enter</b> によるリモートセッション の全画面切り替えを許可/禁止します。		
カーソルの自動非表示	ドロップダウンメニューをクリックして、リモートデスクトップセッションでの非アクティ ブ時のマウスカーソルまたはポインターの自動非表示を有効または無効にします。		
	ドロップダウンメニューをクリックして、RemoteFXを無効または有効にします。		
	<b>注意:</b> Windows® RemoteFX™は、リモートデスクトップユーザーにネットワーク経由でリッチなユーザーエクスペリエンスを提供するテクノロジーです。		
RemoteFXを使用する	注意: mt182LシンクライアントのリモートデスクトップセッションでRemoteFX機能を有効にするには、ホストサーバーを構成する必要があります。 ホストサーバーでRemoteFXを有効にする方法の詳細については、MicrosoftサポートWebサイトsupport.microsoft.comにアクセスしてください。		
GFX優先モード	ドロップダウンメニューをクリックして、使用するグラフィック圧縮方法を選択します: RemoteFX、Progressive RemoteFX、またはH.264 / AVC 444。  注意: この設定項目は、「RemoteFXの使用」が有効になっている場合にのみ表示されます。		
	2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1		
バルク圧縮を使用する	クリックして、サーバーとクライアント間のデータトラフィックの一括圧縮を有効/無効に します。		

最適化設定			
項目	説明文		
接続品質	ネットワーク接続の品質を最もよく表すオプションを選択します。 3つのオプション、LAN( <b>非常に高速)、ブロードバンド(高速)</b> 、および <b>モデム(低速)</b> を使用できます。		
	注意: ここで選択すると、このセクションの項目のデフォルトが次のように決定されます。		
デスクトップの背景	チェックすると、デスクトップの背景が使用されます。		
フォントスムージング	チェックを入れると、ClearType $^{f B}$ テクノロジーを使用して、フォントを明確で滑らかにします。		
ドラッグ中にウィンドウの内容を 表示する	オンにすると、ウィンドウのドラッグ中にウィンドウの内容が表示されます。		
メニューとウィンドウのアニメー ション	チェックすると、メニューとウィンドウのアニメーションが表示されます。		
視覚スタイル	チェックして、クラシックでないテーマを許可します。		
永続的なビットマップキャッシング	チェックして、セッションでビットマップのクライアント側キャッシュを許可します。		
接続設定			
項目	説明文		
	ドロップダウンメニューをクリックして、マルチメディアリダイレクトを無効または有効にします。		
マルチメディアリダイレクト	有効にすると、クライアントは元の圧縮マルチメディアストリームを受信し、ローカルでデコードして表示します。 この機能は、クライアントの負荷を増やしますが、サーバーリソースを節約し、帯域幅の使用を減らし、オーディオとビデオの再生エクスペリエンスを向上させます。		
USBストレージマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、USBストレージマッピングを有効/無効にします。 <b>[有効にする]</b> を選択すると、ユーザーはリモートデスクトップセッションでUSBフラッシュドライブやメモリカードリーダーなどのローカルUSBストレージデバイスにアクセスできます。 <b>注意:</b> Atrust Client Setupでは、ローカルに接続されたUSBストレージデバイスの使用を有効または無効にすることもできます。 ローカルに接続されたUSBストレージデバイスをリモートデスクトップセッションで使用するには、まずそれらを有効にする必要があります。 デフォルトは有効です。 <b>注意:</b> USBストレージデバイスの使用を設定するには、セクション"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"を参照してください。		
プリンターマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、プリンターマッピングを有効/無効にします。  [有効にする]を選択すると、ユーザーはリモートデスクトップセッションでローカルプリンターまたはネットワークプリンターにアクセスできます。  注意: 最初にmt182Lのローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加し、次にこの機能を有効にして、リモートプリンターセッションでそのプリンターを使用する必要があります。  注意: mt182Lにローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する方法の詳細については、"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)"または"3.4.9 ネットワークプリンターの追加 (P.102)"を参照してください。		
シリアルポートマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、シリアルポートマッピングを有効/無効にします。 <b>[有効にする]</b> を選択すると、ユーザーはリモートデスクトップセッションでバーコードスキャナーなどのシリアルデバイスにアクセスできます。		

	ドロップダウンメニューをク	リックして、パラレルポートマッピングを有効または無効にします。		
パラレルポートマッピング   		、ユーザーはリモートデスクトップセッションでプリンターやス バイスにアクセスできます。		
	ドロップダウンメニューをク	リックして、スマートカードマッピングを有効または無効にします。		
スマートカードマッピング   		、ユーザーはリモートデスクトップセッションでスマートカード カードにアクセスできます。		
ロードバランス情報	このフィールドを使用して ョンの値を指定します。	、必要に応じて、目的のリモートデスクトップサービスコレクシ		
	ドロップダウンメニューを	クリックして、接続ステータスチェックを有効/無効にします。		
サーバーステータスチェック	をサポートしていない	用にデプロイされた一部のサーバーは、接続ステータスチェック い場合があります。 この機能を有効にすると、リモートセッシ 。 この場合は、切断しないように無効にします。		
接続ダイアログの設定				
項目		説明文		
使用して接続情報を表示		クリックして、接続ダイアログウィンドウでリモートコンピュ します。 <b>[コンピュータ]フィールド</b> または[ <b>セッション名]フィー</b>		
ドメインフィールドを表示	ドロップダウンメニューを を表示/非表示にします。	クリックして、接続ダイアログウィンドウのドメインフィールド		
記憶フィールドを表示		ドロップダウンメニューをクリックして、ダイアログウィンドウの <b>[資格情報を記憶する]</b> チェックボックスを <b>表示</b> または <b>非表示</b> にします。		
ローカルリソースの設定				
項目		説明文		
		クリックして、リモートデスクトップセッションのオーディオ再のオプションが利用可能です: <b>このコンピューターで再生、リモ、 再生しない</b> 。		
	オプション	説明文		
 	<b>オプション</b> このコンピューターで 再生	<b>説明文</b> ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。		
リモートオーディオ再生	このコンピューターで			
リモートオーディオ再生	このコンピューターで 再生 リモートコンピューター	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。 リモートコンピューターに接続されているオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディ		
リモートオーディオ再生	プロコンピューターで 再生 リモートコンピューター で再生	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。  リモートコンピューターに接続されているオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。  ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用したリモートデスクトップセッションでのオーディオ再生を無効にし		
リモートオーディオ再生	プロンピューターで 再生 リモートコンピューターで再生 再生しない	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。  リモートコンピューターに接続されているオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。  ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用したリモートデスクトップセッションでのオーディオ再生を無効にし		
リモートオーディオ再生	プロンピューターで 再生 リモートコンピューターで再生 再生しない ドロップダウンメニューを 生設定を構成します。 次の	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。  リモートコンピューターに接続されているオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。  ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用したリモートデスクトップセッションでのオーディオ再生を無効にします。		
リモートオーディオ再生	このコンピューターで 再生 リモートコンピューター で再生 再生しない ドロップダウンメニューを 生設定を構成します。 次の 録と記録しない。	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。 リモートコンピューターに接続されているオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。 ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用したリモートデスクトップセッションでのオーディオ再生を無効にします。 クリックして、リモートデスクトップセッションのオーディオ再ウンのオプションを使用できます。このコンピューターからの記		
	このコンピューターで 再生 リモートコンピューターで再生 再生しない ドロップダウンメニューを 生設定を構成します。次の 縁と記録しない。 オプション このコンピューターから	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。  リモートコンピューターに接続されているオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。  ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用したリモートデスクトップセッションでのオーディオ再生を無効にします。  クリックして、リモートデスクトップセッションのオーディオ再の2つのオプションを使用できます。 このコンピューターからの記  説明文  ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモートデスクトップセッションでのオーディオ録音を許可し		

RemoteFX USBリダイレクト設定	
項目	説明文
	リモートデスクトップセッションでローカルに接続されたUSBデバイスを有効/無効にする には、オン/オフを切り替えます(仮想マシンベースのみ)。
	<b>注意:</b> RemoteFX USBリダイレクトを使用すると、サーバーでホストされている仮想マシン (ゲストオペレーティングシステムを使用)にUSBデバイスをリダイレクトできます。
	<b>注意:</b> RemoteFX USBリダイレクトは、セッションベースではなく、仮想マシンベースの リモートデスクトップサービスにのみ適用できます。 詳細については、 support. microsoft.comのMicrosoftサポートWebサイトにアクセスしてください。
	クライアント側で、仮想マシンベースのデスクトップでローカルに接続されたUSBデバイス を有効にするには、次の手順を実行してください。
   マルチメディアリダイレクト	1. 目的のUSBデバイスがクライアントに接続されていることを確認します。
	2. mt182LでRemoteFXが有効になっていることを確認します( "RemoteFXを使用する (P.148) "を参照)。
	3. 使用のRemoteFX USBリダイレクトをチェックするためにクリックしてください。
	<ol> <li>新しいチェックボックスが表示され、必要なデバイスドライバーが示されます。 チェックして、ドライバーを有効にします。</li> </ol>
	5. <b>[保存]</b> をクリックして適用します。
	注意: また、リモートデスクトップセッションでRemoteFX USBリダイレクトを有効にするには、ホストサーバーとそのゲストOSを構成する必要があります。 サーバー側の構成手順については、MicrosoftサポートWebサイトsupport.microsoft.comにアクセスしてください。

## **RDゲートウェイ**サブタブ

接続設定	
項目	説明文
RDゲートウェイサーバーを使用 する	RDゲートウェイサーバーの使用を有効または無効にするには、チェックボックスをオンまたはオフにします。 オンにすると、この表に次の2つの項目が表示されます。
サーバー名	RDゲートウェイサーバーの名前を入力します。 ネットワーク管理者に尋ねます この情報。
RDゲートウェイにリモートデスク トップの資格情報を使用する	チェックして、リモートデスクトップコンピューターとRDゲートウェイサーバーの両方に 対する認証に同じ資格情報のセットを使用します。
ローカルアドレスに対してRDゲー トウェイをバイパスする	オンにすると、ローカルネットワークアドレスとの間のトラフィックがRDゲートウェイサーバー経由でルーティングされなくなります。 これにより、RDP接続が速くなる可能性があります。

# リモートWebアクセスの接続タイプの設定



- リモートデスクトップの接続タイプの設定の説明については、"リモートデス クトップの接続タイプの設定 (P.144)"を参照してください。
- Webフィードの接続タイプの設定については、"Webフィードの接続タイプの 設定 (P.155)"を参照してください。

# **一般**サブタブ

サーバー設定		
項目	説明文	
セッション名	リモートWebアクセスセッションの名前を入力します。	
接続URL	リモートWebアクセスセッションを配信するサーバーのURLを入力します。	
	この表は、 <b>リモートWeb7</b> 供します。	<b>アクセス</b> が選択されている場合に利用可能な設定の説明のみを提
	3つの接続タイプを使用できます。	
	オプション	説明文
接続タイプ	リモートデスクトップ	リモートデスクトップ/アプリケーションサービスへのアク セスを選択します。
	リモートWebアクセス	Webブラウザー(Mozilla Firefox)を介してリモートアプ リケーションサービスにアクセスすることを選択します。
	ウェブフィード	公開されたデスクトップショートカットを介してリモートア プリケーションサービスにアクセスすることを選択します。

共通設定				
項目	説明文	説明文		
	オートスタートモード)。 <b>注意:</b> mt182Lには、似てい	モートWebアクセスセッションを開くかどうかを選択します(るが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場が有効になります。3つのモードと優先順位は次のとおりです。		
	No. <del>モー</del> ド	説明文		
		クライアントは、目的のMicrosoft RDPセッションで直接 起動し、セッションを終了した後、構成されたアクショ ンを実行します。		
	1 アプライアンス	利用可能なアクションは次のとおりです。		
		<ul><li>新しいセッションを再開する</li><li>シンクライアントの再起動</li></ul>		
		• シンクライアントをオフにする		
起動時に自動起動		クライアントは、目的のMicrosoft RDPセッションで直接 起動し、セッションを終了した後、構成されたアクショ ンを実行します。		
		利用可能なアクションは次のとおりです。		
	2 自動起動	<ul><li>ローカルデスクトップに戻る</li></ul>		
		<ul><li>新しいセッションを再開する</li></ul>		
		<ul><li>シンクライアントの再起動</li></ul>		
		• シンクライアントをオフにする		
	3 クイック接続	ステム起動後クライアントはAtrustクイック接続画面に 入ります。		
	注意: 自動開始モードを使用 認してください。	するには、アプライアンスモードが無効になっていることを確		
	リモートWebアクセスセッションが終了したときの動作を選択します。 <b>何もしな リケーションの再起動、アプリケーションの強制再起動、再起動、シャットダウ</b> オプションを使用できます。			
	オプション	説明文		
	何もしない	mt182LローカルLinuxデスクトップに戻ります。		
アプリケーション終了時	アプリケーションの再起動	リモートWebアクセスセッションを再度開きます。		
	アプリケーションの強制再 起動	リモートWebアクセスセッションを再度開き、その間 のメッセージをスキップします。		
	再起動	mt182Lを再起動します。		
	シャットダウン	mt182Lの電源を切ります。		

# **オプション**サブタブ



• リモートWebアクセスの接続タイプの[オプション]サブタブで利用できる設 定はありません。

# **RDゲートウェイ**サブタブ



• リモートWebアクセスの接続タイプの[RDゲートウェイ]サブタブでは、オプ ションは利用できません。

# Webフィードの接続タイプの設定



- リモートデスクトップの接続タイプの設定の説明については、"リモートデスクトップの 接続タイプの設定 (P.144)"を参照してください。
- リモートWebアクセスの接続タイプの設定の説明については、"リモートWebアクセス の接続タイプの設定 (P.151)"を参照してください。

# **一般**サブタブ

サーバー設定			
項目	説明文		
セッション名	Webフィードセッションの名前を入力します。		
WebフィードURL	Webフィードセッションを配信するサーバーのURLを入力します。		
	この表は、Webフィードが選	訳されている場合に使用可能な設定の説明のみを提供しています。	
	3つの接続タイプを使用でき	きます。	
	オプション	説明文	
接続タイプ	リモートデスクトップ	リモートデスクトップ/アプリケーションサービスへのアク セスを選択します。	
	リモートWebアクセス	Webブラウザー(Mozilla Firefox)を介してリモートアプ リケーションサービスにアクセスすることを選択します。	
	ウェブフィード	公開されたデスクトップショートカットを介してリモートア プリケーションサービスにアクセスすることを選択します。	
ログイン設定			
項目	説明文		
ユーザー名	認証に使用するユーザー/アカウント名を入力します。		
パスワード	認証に使用するユーザーアカウントのパスワードを入力します。		
ドメイン	サーバーのドメインを入力します。		
RemoteAppとデスクトップ接続			
項目	説明文		
今すぐアップデート	クリックすると、サーバー	から公開アプリケーションリストを取得して更新します。	

# **オプション**サブタブ

ウィンドウ設定		
項目	説明文	
色深度	ドロップダウンメニューをクリックして、リモートデスクトップセッションに必要な色深度を選択します。5つのオプション、自動、15ビット、16ビット、24ビット、32ビットを使用できます。  注意: RemoteFXが有効になっている場合、ここで選択した色深度に関係なく、32ビット/ピクセルが適用されます。  注意: [自動]オプションは、ホストサーバーによって定義された設定を使用します。  注意: ホストサーバー上のリモートデスクトップセッションの色深度の上限を構成できます。この場合、ここで選択する色深度に関係なく、値は定義された制限を超えることはできません。	
カーソルの自動非表示	ドロップダウンメニューをクリックして、リモートデスクトップセッションでの非アクティ ブ時のマウスカーソルまたはポインターの自動非表示を有効または無効にします。	
RemoteFXを使用する	ドロップダウンメニューをクリックして、RemoteFXを無効または有効にします。 注意: Windows® RemoteFX™は、リモートデスクトップユーザーにネットワーク経由でリッチなユーザーエクスペリエンスを提供するテクノロジーです。 注意: mt182LシンクライアントのリモートデスクトップセッションでRemoteFX機能を有効にするには、ホストサーバーを構成する必要があります。 ホストサーバーで RemoteFXを有効にする方法の詳細については、MicrosoftサポートWebサイト support.microsoft.comにアクセスしてください。	
   バルク圧縮を使用する 	クリックして、サーバーとクライアント間のデータトラフィックの一括圧縮を有効/無効に します。	
接続設定		
項目	説明文	
USBストレージマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、USBストレージマッピングを有効/無効にします。 <b>[有効にする]</b> を選択すると、ユーザーはリモートデスクトップセッションでUSBフラッシュドライブやメモリカードリーダーなどのローカルUSBストレージデバイスにアクセスできます。 <b>注意:</b> Atrust Client Setupでは、ローカルに接続されたUSBストレージデバイスの使用を有効または無効にすることもできます。 ローカルに接続されたUSBストレージデバイスをリモートデスクトップセッションで使用するには、まずそれらを有効にする必要があります。 デフォルトは有効です。 <b>注意:</b> USBストレージデバイスの使用を設定するには、セクション"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"を参照してください。	
プリンターマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、プリンターマッピングを有効/無効にします。 <b>[有効にする]</b> を選択すると、ユーザーはリモートデスクトップセッションでローカルプリンターまたはネットワークプリンターにアクセスできます。 <b>注意:</b> 最初にmt182Lのローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加し、次にこの機能を有効にして、リモートプリンターセッションでそのプリンターを使用する必要があります。 <b>注意:</b> mt182Lにローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する方法の詳細については、"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)"または"3.4.9 ネットワークプリンターの追加 (P.102)"を参照してください。	

	ドロップダウンメニューをクリックして、シリアルポートマッピングを有効/無効にします。		
シリアルポートマッピング	<b>[有効にする]</b> を選択すると、ユーザーはリモートデスクトップセッションでバーコードスキャナーなどのシリアルデバイスにアクセスできます。		
	ドロップダウンメニューをク	リックして、パラレルポートマッピングを有効または無効にします。	
パラレルポートマッピング	[ <b>有効にする</b> ]を選択すると、 キャナーなどのパラレルデ	、ユーザーはリモートデスクトップセッションでプリンターやス バイスにアクセスできます。	
	ドロップダウンメニューをク	リックして、スマートカードマッピングを有効または無効にします。	
スマートカードマッピング		、ユーザーはリモートデスクトップセッションでスマートカード カードにアクセスできます。	
ロードバランス情報	このフィールドを使用して、必要に応じて、目的のリモートデスクトップサービスコレクションの値を指定します。		
	ドロップダウンメニューを含	クリックして、接続ステータスチェックを有効/無効にします。	
サーバーステータスチェック	<b>注意:</b> リモートセッション用にデプロイされた一部のサーバーは、接続ステータスチェックをサポートしていない場合があります。 この機能を有効にすると、リモートセッションが切断されます。 この場合は、切断しないように無効にします。		
接続ダイアログの設定			
使用して接続情報を表示	ドロップダウンメニューをクリックして、接続ダイアログウィンドウでリモートコンピュータに表示するものを選択します。[コンピュータ]フィールドまたは[セッション名]フィールド。		
ドメインフィールドを表示	ドロップダウンメニューをクリックして、接続ダイアログウィンドウのドメインフィールド を表示/非表示にします。		
記憶フィールドを表示	ドロップダウンメニューをクリックして、ダイアログウィンドウの <b>[資格情報を記憶する]</b> チェックボックスを <b>表示</b> または <b>非表示</b> にします。		
ローカルリソースの設定			
項目		説明文	
	ドロップダウンメニューをクリックして、リモートデスクトップセッションのオーディオ再生設定を構成します。 3つのオプションが利用可能です: <b>このコンピューターで再生、リモートコンピューターで再生、再生しない</b> 。		
	オプション	説明文	
リモートオーディオ再生	このコンピューターで 再生	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモ ートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。	
	リモートコンピューター で再生	リモートコンピューターに接続されているオーディオデバイ スを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディ オを再生できます。	
	再生しない		
		ます。	

		クリックして、リモートデスクトップセッションのオーディオ再 D2つのオプションを使用できます。 <b>このコンピューターからの記</b>
	オプション	説明文
マルチメディアリダイレクト	このコンピューターから の記録	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモ ートデスクトップセッションでのオーディオ録音を許可し ます。
	記録しない	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用したリモートデスクトップセッションでのオーディオ録音を無効にします。
RemoteFX USBリダイレクト設定		
項目		説明文
マルチメディアリダイレクト	には、オン/オフを切り替え 注意: RemoteFX USBリダ (ゲストオペレーテ: 注意: RemoteFX USBリタ リモートデスクトッ microsoft.comのMi クライアント側で、仮想マ を有効にするには、次の手 1. 目的のUSBデバイン 2. mt182LでRemote る (P.148)"を参照 3. 使用のRemoteFX 4. 新しいチェックボ、 ェックして、ドラー 5. [保存]をクリック 注意: また、リモートデス るには、ホストサー	スがmt182Lに接続されていることを確認します。 SFXが有効になっていることを確認します("RemoteFXを使用す)。 は <b>USBリダイレクト</b> をチェックするためにクリックしてください。 タクスが表示され、必要なデバイスドライバーが示されます。 チイバーを有効にします。

# **RDゲートウェイ**サブタブ



• Webログオンの接続タイプの**[オプション]サブ**タブで使用できるオプション はありません。

## 3.6.6 基本的なICA接続設定の構成

Citrix ICA設定を使用すると、Citrixサービス用のICA接続を構成し、ローカルデスクトップ上にショート カットを作成して、サービスアクセス用の[スタート]メニューを作成できます。 これらのショートカット を使用するだけで、作業用の仮想デスクトップおよびアプリケーションにアクセスできます。



• Citrixデスクトップ仮想化ソリューションの詳細については、Citrix Webサ イト (www.citrix.com) またはCitrix Knowledge Center (support.citrix. com) にアクセスしてください。

## 6つの接続タイプを使用できます

接続タイプ	説明文	ページ
Webログオン	Webブラウザーを介してデスクトップ/アプリケーションサービスにアクセスすることを 選択します。	160
StoreFront	StoreFrontを介してデスクトップ/アプリケーションサービスにアクセスすることを選択します。	162
VDI-in-a-Box	VDI-in-a-Boxを介してデスクトップサービスにアクセスすることを選択します。	164
XenDesktop	XenDesktopの以前のバージョンを介してデスクトップサービスにアクセスすることを 選択します。	166
XenApp	XenAppの以前のバージョンを介してアプリケーションサービスにアクセスすることを選択します。	168
サーバー接続	サービス配信サーバーへのアクセスを選択します(XenAppサーバーのみ)。	170



## 注意

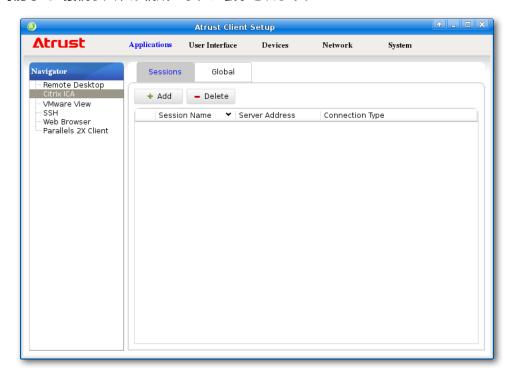
• Citrix製品と推奨される接続タイプについては、次の表を参照してください。

Citrix製品	推奨接続タイプ
XenApp 6.5以前	XenApp / Webログオン
XenDesktop 5.6以前	XenDesktop / Web□グオン
仮想アプリとデスクトップ (XenApp / XenDesktop 7.5以降)	StoreFront / Web□グオン
VDI-in-a-Box	VDI-in-a-Box / Webログオン

# 接続タイプ:Webログオン

Webログオン接続タイプのICA接続設定をすばやく構成するには、次の手順を実行してください。

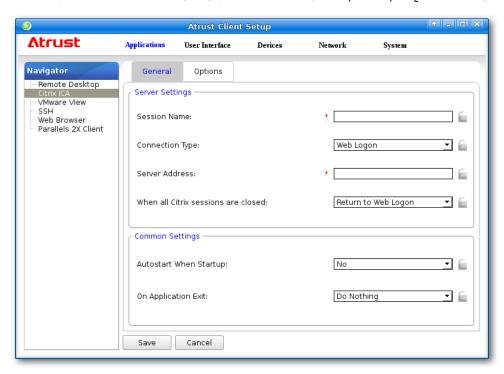
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Citrix ICA]をクリックします。
- 2. 利用可能なICA接続リストが構成エリアに表示されます。





- エントリを作成していない場合、ICA接続リストは空になります。
- 3. ICA接続リストの上部にある[追加]をクリックして、ICA接続の新しいエントリを作成します。

4. 「一般」サブタブで、接続タイプをデフォルトの「Webログオン」のままにして、目的のセッション名と、CitrixサービスにアクセスできるサーバーのIPアドレス/ URL / FQDNを入力します。





## 注意

• XenDesktopおよびXenAppの新しいバージョンでは、**サーバーのサブパス**を さらに指定する必要がある場合があります。 詳細については、次の表を参照 してください。

Citrix製品	接続するコンポー ネント	接続アドレス
XenApp 6.5以前	ウェブインターフ ェース	IP / URL / FQDN
XenDesktop 5.6以前	ウェブインターフ ェース	IP / URL / FQDN
		IP / URL / FQDNおよびサブパス
仮想アプリとデスクトップ (XenAppおよび XenDesktop 7.5以降)	StoreFront	例えば - FQDN: X75.CTX.poc サブバス: /Citrix/StoreWeb (デフォルト) 接続アドレス: X75.CTX.poc/Citrix/StoreWeb

- FQDNは完全修飾ドメイン名の頭字語です。
- 5. **[保存]**をクリックして、このICA接続エントリを追加します。 アクセスショートカットは、ローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。



## 注意

• サービス提供の計画とサーバーの構成によっては、サービスアクセス用に他の高度なICA接続設定を構成する必要がある場合があります。 その他の利用可能な設定の詳細については、セクション"3.6.11 ICA接続の詳細設定(P.182)"を参照してください。

# 接続タイプ: StoreFront

StoreFrontの接続タイプのICA接続設定をすばやく構成するには、以下を実行してください:

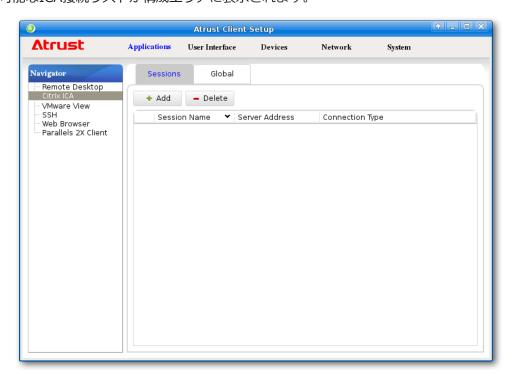


## 注意

• Citrix製品と推奨される接続タイプについては、次の表を参照してください。

推奨接続タイプ
XenApp / Webログオン
XenDesktop / Webログオン
StoreFront / Webログオン
VDI-in-a-Box / Webログオン

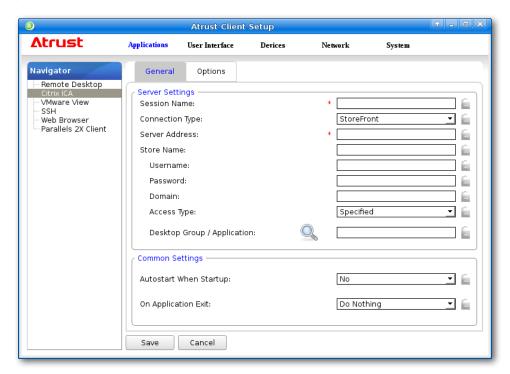
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Citrix ICA]をクリックします。
- 2. 利用可能なICA接続リストが構成エリアに表示されます。





- エントリを作成していない場合、ICA接続リストは空になります。
- 3. ICA接続リストの上部にある[追加]をクリックして、ICA接続の新しいエントリを作成します。

4. 「一般」サブタブで、「接続タイプ」ドロップダウンメニューをクリックして「StoreFront」を選択します。



5. セッション名、仮想アプリケーション/デスクトップにアクセスできるサーバーのIPアドレス/ URL / FQDN、およびデスクトップグループまたはアプリケーションの名前を入力します。



## 注意

- 検索アイコン を使用して、特定の資格情報のセットで使用可能なデスクトップグループまたはアプリケーションを見つけることができます。
- 6. **[保存]**をクリックして確定します。 カスタマイズされたアクセスショートカットは、ローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。



## 注意

• サービス提供の計画とサーバーの構成によっては、サービスアクセス用に他の高度なICA接続設定を構成する必要がある場合があります。 その他の利用可能な設定の詳細については、セクション"3.6.11 ICA接続の詳細設定(P.182)"を参照してください。

# 接続タイプ: VDI-in-a-Box

VDI-in-a-Boxの接続タイプのICA接続設定をすばやく構成するには、次の手順を実行します。

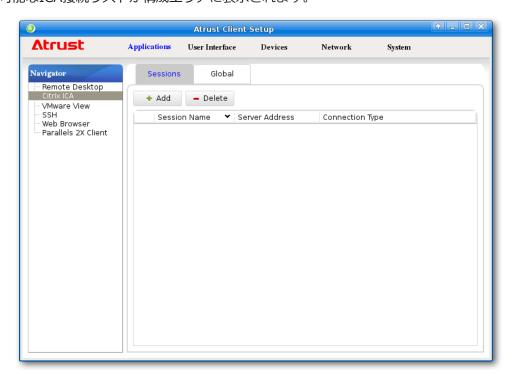


## 注意

• Citrix製品と推奨される接続タイプについては、次の表を参照してください。

Citrix製品	推奨接続タイプ
XenApp 6.5以前	XenApp / Webログオン
XenDesktop 5.6以前	XenDesktop / Webログオン
仮想アプリとデスクトップ (XenApp / XenDesktop 7.5以降)	StoreFront / Web□グオン
VDI-in-a-Box	VDI-in-a-Box / Webログオン

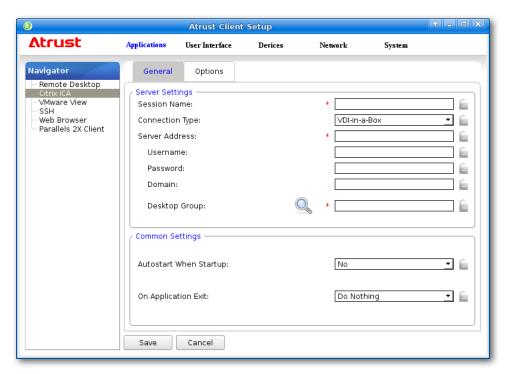
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Citrix ICA]をクリックします。
- 2. 利用可能なICA接続リストが構成エリアに表示されます。





- エントリを作成していない場合、ICA接続リストは空になります。
- 3. ICA接続リストの上部にある[追加]をクリックして、ICA接続の新しいエントリを作成します。

4. **一般サブタブ**タブで、接続タイプドロップダウンメニューをクリックして、VDI-in-a-Boxを選択します。



5. セッション名、仮想デスクトップにアクセスできるサーバーのIPアドレス/ URL / FQDN、およびデスクトップグループの名前を入力します。



## 注意

- 検索アイコン を使用して、特定の資格情報のセットで使用可能なデスクトップグループを見つけることができます。
- 6. **[保存]**をクリックして確定します。 カスタマイズされたアクセスショートカットは、ローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。



## 注意

• サービス提供の計画とサーバーの構成によっては、サービスアクセス用に他の高度なICA接続設定を構成する必要がある場合があります。 その他の利用可能な設定の詳細については、セクション"3.6.11 ICA接続の詳細設定(P.182)"を参照してください。

# 接続タイプ: XenDesktop

XenDesktopの接続タイプのICA接続設定をすばやく構成するには、以下を実行してください。

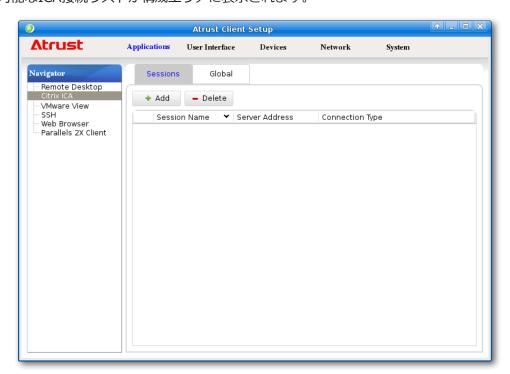


## 注意

• Citrix製品と推奨される接続タイプについては、次の表を参照してください。

推奨接続タイプ
XenApp / Webログオン
XenDesktop / Webログオン
StoreFront / Webログオン
VDI-in-a-Box / Webログオン

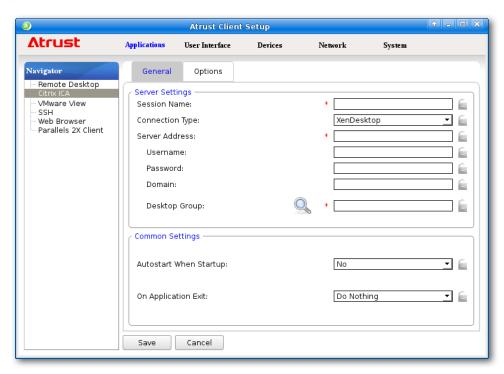
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Citrix ICA]をクリックします。
- 2. 利用可能なICA接続リストが構成エリアに表示されます。





- エントリを作成していない場合、ICA接続リストは空になります。
- 3. ICA接続リストの上部にある[追加]をクリックして、ICA接続の新しいエントリを作成します。

4. 「一般」サブタブで、「接続タイプ」ドロップダウンメニューをクリックして、XenDesktopを選択します。



5. セッション名、仮想デスクトップにアクセスできるサーバーのIPアドレス/ URL / FQDN、および目的のデスクトップグループを入力します。



## 注意

- 検索アイコン を使用して、特定の資格情報のセットで使用可能なデスクトップグループを見つけることができます。
- 6. **[保存]**をクリックして確定します。 カスタマイズされたアクセスショートカットは、ローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。



## 注意

• サービス提供の計画とサーバーの構成によっては、サービスアクセス用に他の高度な ICA接続設定を構成する必要がある場合があります。 その他の利用可能な設定の詳細に ついては、セクション"3.6.11 ICA接続の詳細設定 (P.182)"を参照してください。

# 接続タイプ: XenApp

XenAppの接続タイプのICA接続設定をすばやく構成するには、以下を実行してください。

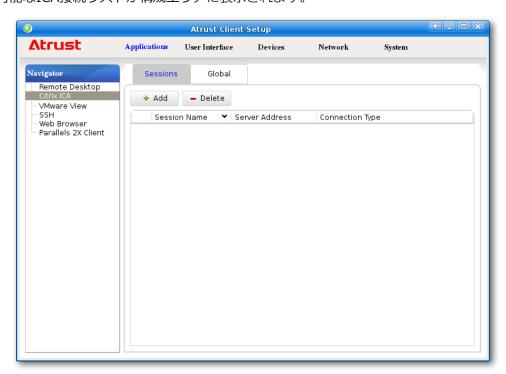


## 注意

• Citrix製品と推奨される接続タイプについては、次の表を参照してください。

Citrix製品	推奨接続タイプ
XenApp 6.5以前	XenApp / Webログオン
XenDesktop 5.6以前	XenDesktop / Webログオン
仮想アプリとデスクトップ (XenApp / XenDesktop 7.5以降)	StoreFront / Webログオン
VDI-in-a-Box	VDI-in-a-Box / Webログオン

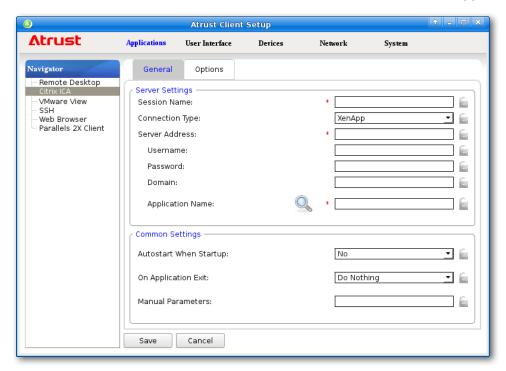
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Citrix ICA]をクリックします。
- 2. 利用可能なICA接続リストが構成エリアに表示されます。





- エントリを作成していない場合、ICA接続リストは空になります。
- 3. ICA接続リストの上部にある[追加]をクリックして、ICA接続の新しいエントリを作成します。





5. セッション名、仮想アプリケーションにアクセスできるサーバーのIPアドレス/ URL / FQDN、および目的のアプリケーション名を入力します。



## 注意

◆ サーバー側の構成によっては、サーバーアドレス(たとえば、XA65P.CTX.poc: 8080)のXMLポート番号も指定する必要がある場合があります。



### 注意

- 検索アイコン を使用して、特定の資格情報のセットで使用可能なアプリケーションを 見つけることができます。
- 6. **[保存]**をクリックして確定します。 カスタマイズされたアクセスショートカットは、ローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。



#### 注意

• サービス提供の計画とサーバーの構成によっては、サービスアクセス用に他の高度な ICA接続設定を構成する必要がある場合があります。 その他の利用可能な設定の詳細に ついては、セクション"3.6.11 ICA接続の詳細設定 (P.182)"を参照してください。

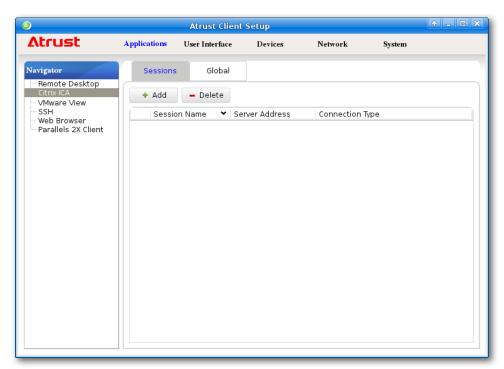
### 接続タイプ:サーバー接続

サーバー接続の接続タイプのICA接続設定をすばやく構成するには、次の手順を実行してください。



#### 注意

- この接続タイプは、管理のためにXenAppサーバーに接続するために使用され、XenApp 6.5以前のみをサポートします。
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Citrix ICA]をクリックします。
- 2. 利用可能なICA接続リストが構成エリアに表示されます。

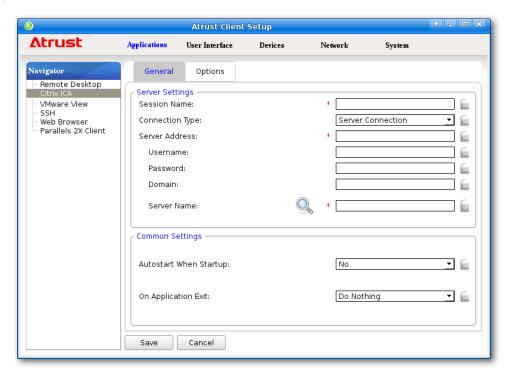




#### 注意

- エントリを作成していない場合、ICA接続リストは空になります。
- 3. ICA接続リストの上部にある「追加」をクリックして、ICA接続の新しいエントリを作成します。

4. 「一般」サブタブで、「接続タイプ」ドロップダウンメニューをクリックして、「サーバー接続」を 選択します。



5. セッション名、サーバーアドレス、サーバー名を入力します。



## 注意

● サーバー側の構成によっては、サーバーアドレス(たとえば、192.168.77.10:8080)のXMLポート番号も指定する必要がある場合があります。



### 注意

- この接続タイプでは、XenAppサーバーへの接続のみがサポートされています。
- サーバー名の検出に役立つ検索アイコン を使用できます。
- 6. **[保存]**をクリックして確定します。 カスタマイズされたアクセスショートカットは、ローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。



#### 注意

• サービス提供の計画とサーバーの構成によっては、サービスアクセス用に他の高度なICA接続設定を構成する必要がある場合があります。 その他の利用可能な設定の詳細については、セクション"3.6.11 ICA接続の詳細設定(P.182)"を参照してください。

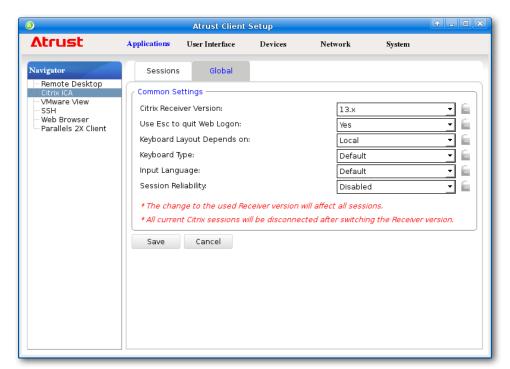
# 3.6.7 Citrix Receiverバージョンの切り替え

Citrix環境に古いバージョンのCitrix Receiverが必要な場合は、2つのバージョンのCitrix Receiverを切り替 えることができます。

Citrix Receiverのバージョンを変更するには、以下を実行してください:



- これはグローバル設定です。 この変更はすべてのCitrix接続に影響します。
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Citrix ICA]> [グローバル]をクリックします。
- 2. ドロップダウンメニューをクリックして、目的のCitrix Receiverバージョンを選択します。 12.xと 13.xの2つのオプションを使用できます。





- デフォルトのCitrix Receiverのバージョンは13.xです。
- Citrix製品と推奨されるCitrix Receiverバージョンについては、次の表を参照 してください。

Citrix製品	推奨されるレシーバーのバージョン
XenApp 6.5より前	12.x
XenDesktop 5.6より前	12.x
仮想アプリとデスクトップ (XenApp / XenDesktop 7.x以降)	13.x

3. [保存]をクリックして適用します。

# 3.6.8 Escを有効または無効にしてWebログオン画面で終了する

Escキーを使用してWebログオン画面を終了できるようにするかどうかを選択できます。

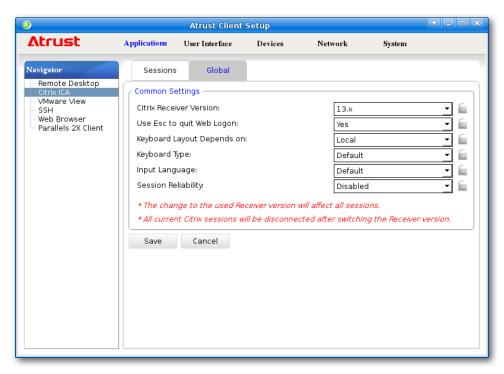
- 「はい」を選択した場合、EscキーとAlt + F4の両方を使用して、Webログオン画面を終了できます。
- [いいえ]を選択すると、Alt + F4のみが機能します。

Webログオン画面でEsc to Quitを有効または無効にするには、次の手順を実行します。



#### 注意

- これはグローバル設定です。 この変更はすべてのCitrix接続に影響します。
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Citrix ICA]> [グローバル]をクリックします。
- 2. ドロップダウンメニューをクリックして[はい]または[いいえ]を選択し、Esc to Quitを有効または無効にします。

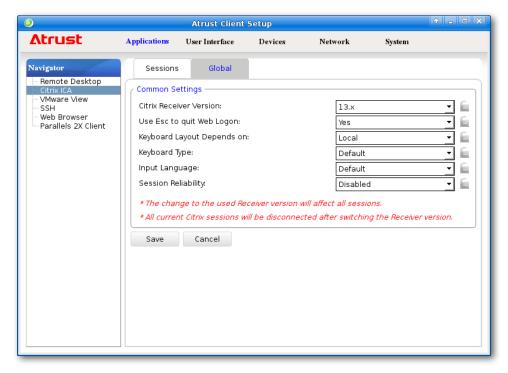


3. [保存]をクリックして適用します。

### 3.6.9 Citrix ICAセッションのキーボードレイアウトとタイプの設定

すべてのCitrix ICAセッションで使用するキーボードレイアウトとタイプを設定するには、次の手順を実行します。

- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Citrix ICA]> [グローバル]をクリックします。
- 2. ドロップダウンメニューをクリックして、キーボードレイアウトと目的のキーボードタイプを決定するものを選択します。





## 注意

- これらはグローバル設定です。 変更はすべてのICAセッションに影響します。
- 3. [保存]をクリックして適用します。

### 3.6.10 Citrixサービスへのアクセス

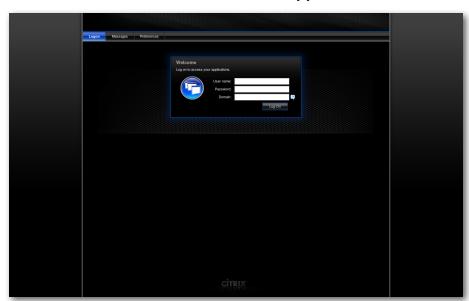
**StoreFront、VDI-in-a-Box、XenDesktop、XenApp、およびサーバー接続の接続タイプの場合** Citrixサービスにアクセスするには、次の手順に従ってください。

- 1. デスクトップ上に作成された(カスタマイズされた)ショートカットをダブルクリックし、必要に応じて資格情報を入力します。
- 2. 接続タイプと設定に応じて、以下を見つけることができます。
  - 画面上で直接起動したデスクトップまたはアプリケーション
  - デスクトップまたはデスクトップ上のウィンドウに表示されているデスクトップまたはアプリケーションのショートカットにアクセスする

# 接続タイプがWebログオンの場合

Citrixサービスにアクセスするには、次の手順に従ってください。

- 1. デスクトップ上に作成された(カスタマイズされた)ショートカットをダブルクリックします。
- 2. Webブラウザーは、Citrixログオン画面のフルスクリーンで起動されます。



# Citrixログオン画面の例: XenApp 6.0の基礎

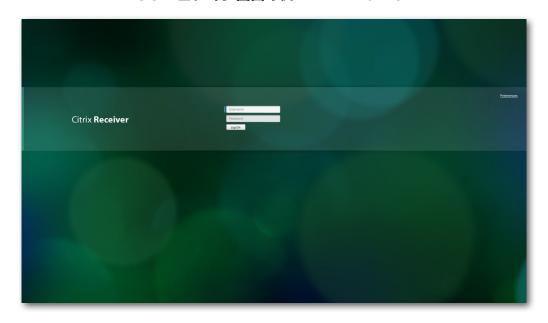
# Citrixログオン画面の例: XenApp 6.5 Platinum



# Citrixログオン画面の例: XenDesktop 5.6 Platinum



# Citrixログオン画面の例: VDI-in-a-Box



# Citrixログオン画面の例: XenAppおよびXenDesktop 7.5 Platinum



3. 必要な資格情報を入力し、[ログオン]をクリックします。



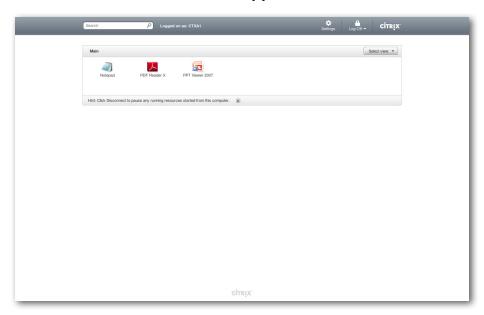
• XenAppサーバーがどのドメインにも属していない場合は、代わりにサーバー 名を「ドメイン」フィールドに入力します。

4. デスクトップまたはアプリケーションの選択画面で、目的のデスクトップまたはアプリケーションを クリックして選択します。



• 提供された資格情報に割り当てられている仮想デスクトップのタイプが1つだ けの場合は、仮想デスクトップを直接入力できます。





選択画面の例: XenDesktop 5.6 Platinum



選択画面の例: XenApp 7.5 Platinum



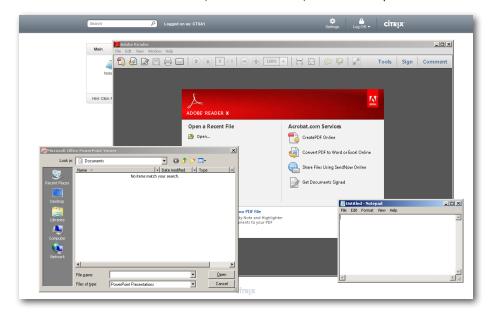
選択画面の例: XenDesktop 7.5 Platinum



5. 選択した仮想デスクトップまたはアプリケーションが画面に表示されます。

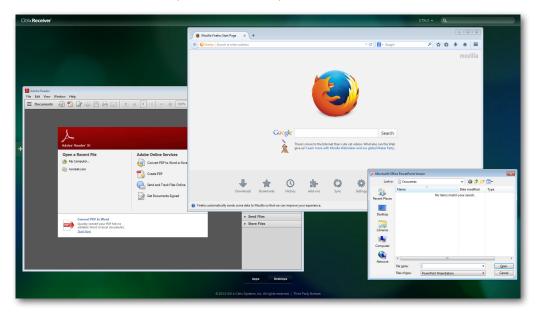
# 仮想アプリケーションの例

PowerPoint Viewer, Adobe Reader, およびNotepad



# 仮想アプリケーションの例

Adobe Reader, Mozilla Firefox, およびPowerPoint Viewer



# **仮想デスクトップの例** Windows 7 Ultimate



**仮想デスクトップの例** Windows Server 2008 R2



### 3.6.11 ICA接続の詳細設定

次の表は、ICA接続の各設定項目の説明です。 これらの表を参照して詳細設定を構成し、ローカルデスクト ップのショートカットとサービスアクセスの[スタート]メニューをカスタマイズしてください。



• 使用可能な設定は、選択した接続タイプによって異なることに注意してください。

### Webログオンの接続タイプの設定



#### 注意

- StoreFrontの接続タイプの利用可能な設定については、"StoreFrontの接続タイプの設 定 (P.187)"を参照してください。
- VDI-in-a-Boxの接続タイプで利用可能な設定については、"VDI-in-a-Boxの接続タイプ の設定 (P.192)"を参照してください。
- XenDesktopの接続タイプの設定については、"XenDesktopの接続タイプの設定 (P.197)"を参照してください。
- XenAppの接続タイプの設定については、"XenAppの接続タイプの設定 (P.202)"を参 照してください。
- サーバー接続の接続タイプの設定については、"サーバー接続の接続タイプの設定 (P.207)"を参照してください。

<u>ー般サブ</u> タブ サーバー設定				
項目	説明文	説明文		
セッション名	Citrixサービスアク	Citrixサービスアクセスのブラウザーセッションの名前を入力します。		
		この表は、 <b>Webログオン</b> が選択されている場合に利用可能な設定の説明のみを提供します。 6つの接続タイプを使用できます		
	オプション	説明文		
	Web□グオン		Mozilla Firefox)のインターフェースを介して Sよびアプリケーションへのアクセスを提供し	
	StoreFront	StoreFrontを介して のアクセスを提供し	て仮想デスクトップおよびアプリケーションへ います。 -	
	VDI-in-a-Box	VDI-in-a-Boxを介して仮想デスクトップへのアクセスを提供します。		
	XenDesktop	XenDesktopの以前のバージョンの仮想デスクトップへのアクセスを提供します。		
接続タイプ	XenApp	XenAppの以前のバージョンの仮想アプリケーションへのアクセ スを提供します。		
	サーバー接続	管理用のサーバー^ のみ)。	へのアクセスを提供します(XenAppサーバー	
	Citrix製品と推奨さ	される接続タイプについ	いては、以下の表を参照してください。 	
	XenApp 6.5以前	Ī	XenApp / Webログオン	
	XenDesktop 5.6		XenDesktop / Webログオン	
	仮想アプリとデン		StoreFront / Webログオン	
	VDI-in-a-Box		VDI-in-a-Box / Webログオン	

	CitrixサービスにアクセスできるサーバーのIPアドレス/ URL / FQDNを入力します。			
	詳細については、以下の表を参照してください。			
	Citrix製品	接続するコンポー ネント	接続アドレス	
	XenApp 6.5以前	ウェブインターフ ェース	IP / URL / FQDN	
サーバーアドレス	XenDesktop 5.6 以前	ウェブインターフ ェース	IP / URL / FQDN	
			IP / URL / FQDNおよびサブパス	
	仮想アプリとデス クトップ (XenAppおよび XenDesktop 7.5 以降)	StoreFront	<b>例えば - FQDN:</b> X75.CTX.poc <b>サブパス:</b> /Citrix/StoreWeb (デフォルト) <b>接続アドレス:</b> X75.CTX.poc/Citrix/StoreWeb	
	すべてのCitrixセッションが閉じられたときに次に何をするかを選択します。			
	オプション	説明文		
オペプのCitrio セッションが問じて	Webログオンに戻る	Web□グオ)	 ン画面のままにします。	
すべてのCitrixセッションが閉じら れたとき	Webログオンを終了する Webログオン画面を終了します。			
	注意: 仮想アプリケー ブションが適用			

共通設定				
項目	説明文			
	mt182Lの起動時に、Citrixサービスにアクセスするためのブラウザセッションを自動的に開くかどうかを選択します(自動起動モード)。  注意: mt182Lには、似ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場合、1つのモードのみが有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。			
	No.	モード		
			クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動 し、セッションを終了した後、構成されたアクションを 実行します。	
	1	アプライアンス	利用可能なアクションは次のとおりです。	
		,,,,,,,,	<ul><li>新しいセッションを再開する</li><li>シンクライアントの再起動</li><li>シンクライアントをオフにする</li></ul>	
起動時に自動起動	2 自動起動		クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。	
		自動起動	利用可能なアクションは次のとおりです。  • ローカルデスクトップに戻る  • 新しいセッションを再開する	
			<ul><li>シンクライアントの再起動</li><li>シンクライアントをオフにする</li></ul>	
	3	クイック接続	システム起動後クライアントはAtrustクイック接続画面 に入ります。	
	<b>注意:</b> 自動開始モードを使用するには、アプライアンスモードが無効になっていることを確認してください。			
		、アプリケーショ	のブラウザーセッションが終了したときの処理を選択します。 <b>何も</b> I <b>ンを再起動する、再起動する、シャットダウン</b> の4つのオプション	
	オプミ	ション	説明文	
   アプリケーション終了時	何もし	しない	ローカルLinuxデスクトップに戻ります。	
		リケーションを 助する	サービスアクセスのためにブラウザセッションを再度開きます。	
	再起重	動する ニューニー	シンクライアントを再起動します。	
	シャットダウン		シンクライアントをオフにします。	

ウィンドウ設定			
項目	説明文		
ツールバー	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix(Desktop Viewer)ツールバーを有効/無効にします。		
デバイスマッピング			
項目	説明文		
ローカルUSBストレージのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、ローカルUSBドライブのマッピングを有効/無効にし、Citrix ICAセッションでアクセスタイプを選択します。 3つのオブション、No、Read Only、Read Writeを使用できます。 読み取り専用または読み取りと書き込みが選択されている場合、ローカルに接続されたUSBドライブは、起動されたCitrix ICAセッションで使用可能になります。		
	注意: ローカルのUSBストレージドライブも有効にする必要があります。 詳細は"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"をご覧ください。		
ローカルシリアルポートのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルシリアルデバイスのマッピングを有効/無効にします。「はい」を選択すると、ローカルに接続されたシリアルデバイスが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。  注意: この設定項目は、mt182Lには適用されません。 ただし、シリアルベースのバーコー		
<i>)</i>	ドスキャナーを使用し、シリアル-USBアダプターでmt182Lに接続する場合、仮想デスクトップでローカルバーコードスキャナーを使用するには、この設定を有効にする必要があります。		
ローカルプリンターのマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでのローカルプリンターのマッピングを有効/無効にします。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたプリンターが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。		
	注意: ローカルに接続されたプリンターを有効にするには、詳細な手順について"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)"セクションを参照してください。		
接続設定			
項目	説明文		
レンダリングタイプ	ドロップダウンメニューをクリックして、エンドポイントまたはサーバーでレンダリングするリソースを選択します。 <b>サーバーレンダリング</b> と <b>クライアントレンダリング</b> の2つのオプションを使用できます。		
	<b>注意: クライアントレンダリング</b> オプションは、システムで使用できない場合があります。		
	この項目は、 <b>クライアントレンダリング</b> が選択されている場合にのみ使用できます。		
HDXリアルタイムウェブカメラ	「はい」を選択すると、ローカルに接続されたWebカメラをICAセッションで使用できます。		
H264圧縮を使用	クリックすると、クライアントでH.264圧縮サポートが有効/無効になり、セッションデータがH.264形式のエンコーディングを使用してサーバー側から送信されるようになります。		
USBリダイレクト設定			
項目	説明文		
USBストレージ			
プリンター			
接続されたUSBデバイスをリダイ レクト	これらの同様の設定の詳細な手順については、"Citrix ICAセッションのクイック接続の詳細設定 (P.64)"を参照してください。		
差し込まれたUSBデバイス			
リダイレクトルール			

# StoreFrontの接続タイプの設定



- Webログオンの接続タイプで利用可能な設定については、"Webログオンの接 続タイプの設定 (P.182)"を参照してください。
- VDI-in-a-Boxの接続タイプの設定については、"VDI-in-a-Boxの接続タイプ の設定 (P.192)"を参照してください。
- XenDesktopの接続タイプの設定については、"XenDesktopの接続タイプの 設定 (P.197)"を参照してください。
- XenAppの接続タイプの設定については、"XenAppの接続タイプの設定 (P.202)"を参照してください。
- サーバー接続の接続タイプの設定については、"サーバー接続の接続タイプの 設定 (P.207)"を参照してください。

項目	説明文	説明文		
セッション名	Citrix ICAセッショ	Citrix ICAセッションの名前を入力します。		
	この表は、StoreFr	この表は、 <b>StoreFront</b> が選択されている場合に使用可能な設定の説明のみを提供しています。		
	6つの接続タイプを	6つの接続タイプを使用できます		
	オプション	説明文		
	Webログオン		Nozilla Firefox)のインターフェースを介して Sよびアプリケーションへのアクセスを提供し	
	StoreFront	StoreFrontを介して のアクセスを提供し		
	VDI-in-a-Box	VDI-in-a-Boxを介して仮想デスクトップへのアクセスを提供し ます。		
	XenDesktop	XenDesktopの以前のバージョンの仮想デスクトップへのアクセスを提供します。		
接続タイプ	XenApp	XenAppの以前のバージョンの仮想アプリケーションへのアクセ スを提供します。		
	サーバー接続	管理用のサーバーへのアクセスを提供します(XenAppサーバーのみ)。		
	Citrix製品と推奨さ	れる接続タイプについ	っては、以下の表を参照してください。	
	Citrix製品		推奨接続タイプ	
	XenApp 6.5以前		XenApp / Webログオン	
	XenDesktop 5.6	以前	XenDesktop / Webログオン	
	仮想アプリとデス (XenApp / Xen	スクトップ Desktop 7.5以降)	StoreFront / Webログオン	
	VDI-in-a-Box		VDI-in-a-Box / Webログオン	

		"		
サーバーアドレス	(StoreFrontがホストされている) 仮想デスクトップまたはアプリケーションにアクセス できるサーバーのIPアドレス/ URL / FQDNを入力します。			
Store Name	必要に応じて、Citrix環境のストア名を入力します。			
ユーザー名	認証に使用するユーザー/アカウント名を入力します。			
パスワード	認証に使用するユーザーアカウントのパスワードを入力します。			
ドメイン	サーバーのドメインを入力します。			
	ドロップダウンメニューをクリックして、アクセスタイプを選択します。 2つのオブン、 <b>Specified</b> と <b>All</b> を使用できます。			
	オプショ	ョン説明文		
アクセスタイプ	Specifi		 Eのデスクトップ/アプリケーション、または	
		• ウ-	ィンドウのショートカットにアクセスする 	
	All	• デノ	スクトップのショートカットにアクセスする	
デスクトップグループ/アプリケー ション			リケーションの名前を入力するか、フィールドの前にある検索ア 同能なデスクトップグループ/アプリケーションを見つけます。	
項目	説明文			
	mt182Lの起動時に自動でCitrix ICAセッションを開くかどうかを選択します(自動起動モード)。  注意: mt182Lには、似ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場合、1つのモードのみが有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。			
	No.	モード		
		<b>武</b>		
			クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。	
	1	アプライアンス	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動 し、セッションを終了した後、構成されたアクションを	
	1		クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。  • 新しいセッションを再開する	
	1		クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。  • 新しいセッションを再開する  • シンクライアントの再起動	
	1		クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。  • 新しいセッションを再開する	
起動時に自動起動	1		クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。  • 新しいセッションを再開する  • シンクライアントの再起動	
起動時に自動起動	1		クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  ・ 新しいセッションを再開する ・ シンクライアントの再起動 ・ シンクライアントをオフにする  クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを	
起動時に自動起動			クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  ・ 新しいセッションを再開する ・ シンクライアントの再起動 ・ シンクライアントをオフにする  クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。	
起動時に自動起動		アプライアンス	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  • 新しいセッションを再開する  • シンクライアントの再起動  • シンクライアントをオフにする  クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。	
起動時に自動起動		アプライアンス	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  ・ 新しいセッションを再開する ・ シンクライアントの再起動 ・ シンクライアントをオフにする  クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。 ・ ローカルデスクトップに戻る ・ 新しいセッションを再開する ・ シンクライアントの再起動	
起動時に自動起動		アプライアンス	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  ・ 新しいセッションを再開する ・ シンクライアントの再起動 ・ シンクライアントをオフにする  クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。 ・ ローカルデスクトップに戻る ・ 新しいセッションを再開する	
起動時に自動起動	2	アプライアンス	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  ・ 新しいセッションを再開する ・ シンクライアントの再起動 ・ シンクライアントをオフにする  クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。 ・ ローカルデスクトップに戻る ・ 新しいセッションを再開する ・ シンクライアントの再起動	

	Citrix ICAセッションが終了したときの処理を選択します。 <b>何もしない、アプリケーションを再起動する、再起動する、シャットダウン</b> の4つのオプションがあります。		
	オプション	説明文	
       アプリケーション終了時	何もしない	ローカルLinuxデスクトップに戻ります。	
	アプリケーションを再起動する	ICAセッションを再度開きます。	
	再起動する	シンクライアントを再起動します。	
	シャットダウン	シンクライアントをオフにします。	
アプリケーションの再起動時に資格 情報を要求する		ョンの終了時」で「アプリケーションの再起動」が選択さ ICAセッションの再起動時に資格情報を要求するかどうす。	

ウィンドウ設定	
項目	説明文
ツールバー	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix(Desktop Viewer)ツールバーを有効/無効にします。
色深度	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションに必要な色品質を選択します。 <b>16ビット、24ビット</b> 、および <b>自動</b> の3つのオプションを使用できます。
ウィンドウサイズ	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションの目的のウィンドウサイズ を選択します。 <b>フルスクリーン、1280x1024、1024x768、800x600</b> の4つのオプショ ンが利用できます。
ウィンドウモード	ドロップダウンメニューをクリックして、目的のウィンドウモードを選択します。 2つのオ プション、 <b>レギュラーウィンドウ</b> と <b>シームレスウィンドウ</b> を使用できます。
デバイスマッピング	
項目	説明文
┃ ┃ ┃ ローカルUSBストレージのマッピ	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルUSB ドライブのマッピングを有効/無効にします。
ング	注意: ローカルのUSBストレージドライブも有効にする必要があります。 詳細は"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"をご覧ください。
ローカルシリアルポートのマッピ	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルシリアルデバイスのマッピングを有効/無効にします。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたシリアルデバイスが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。
ング	注意: この設定項目は、mt182Lには適用されません。 ただし、シリアルベースのバーコードスキャナーを使用し、シリアル-USBアダプターでmt182Lに接続する場合、仮想デスクトップでローカルバーコードスキャナーを使用するには、この設定を有効にする必要があります。

ローカルプリンターのマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでのローカルプリンターのマッピングを有効/無効にします。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたプリンターが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。  注意: ローカルに接続されたプリンターを有効にするには、詳細な手順について"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)" セクションを参照してください。		
接続設定			
項目	説明文		
レンダリングタイプ	ドロップダウンメニューをクリックして、エンドポイントまたはサーバーでレンダリングするリソースを選択します。 <b>サーバーレンダリング</b> と <b>クライアントレンダリング</b> の2つのオプションを使用できます。 <b>注意: クライアントレンダリング</b> オプションは、システムで使用できない場合があります。		
HDXリアルタイムウェブカメラ		<b>リング</b> が選択されている場合にのみ使用できます。 接続されたWebカメラをICAセッションで使用できます。	
H264圧縮を使用		.264圧縮サポートが有効/無効になり、セッションデー 『を使用してサーバー側から送信されるようになります。	
自動再接続を有効にする	ICAセッションが中断された後の自動再接続を有効/無効にするには、オン/オフにします。 注意: XenDesktop ICAセッションでは、自動再接続(自動クライアント再接続)が機能しない場合があります。 これは既知の問題です。 詳細については、CitrixのWebサイトsupport.citrix.comまたはwww.citrix.comにアクセスしてください。		
再試行回数	ドロップダウンメニューをクリックして、再試行回数を1~10の範囲で選択します。		
再試行間の遅延	ドロップダウンメニューをクリックして、再試行間の遅延時間を5~60秒の範囲で選択します。		
オーディオを有効にする	Check/Uncheck to enable/disable sound in an ICA session.		
	ドロップダウンメニューをクリックして、ICAセッションで必要な音質を選択します。 高品質、中品質、低品質の3つのオプションを使用できます。		
	オプション	説明文	
	高品質	エンドポイントデバイスがサウンドファイルを ネイティブのデータ転送速度で再生できるよう にします。 これは、帯域幅が豊富で音質が重要 な接続に推奨されます。	
オーディオ品質	中品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大64Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が適度に低下します。 この オプションはスピーチに適しており、ほとんど のLANベースの接続に推奨されます。	
	低品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大16Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が大幅に低下します。 この オプションは低帯域幅の接続に適しており、低 速接続時に妥当なオーディオパフォーマンスを 実現します。	
 	ICAセッションでオーディオ入力を		

	ドロップダウンメニューをクリックして、Windowsキーの組み合わせを適用する場所を選択します。 次の3つのオプションを使用できます。 ローカルコンピューター上、リモートサーバー上、および全画面モードのみ。			
	オプション	説明文		
Windowsキーの組み合わせ	ローカルコンピューター上	ローカルデスクトップにのみ適用されます。		
	リモートサーバー上	仮想デスクトップにのみ適用されます。		
	全画面モードのみ	デスクトップが全画面モードで実行されている場合 にのみ、仮想デスクトップに適用されます。		
接続ダイアログの設定				
項目	説明文			
記憶フィールドを表示	ドロップダウンメニューをクリックして、ダイアログウィンドウの <b>[資格情報を記憶する]</b> チェックボックスを <b>表示</b> または <b>非表示</b> にします。			
USBリダイレクト設定				
項目	説明文			
USBストレージ				
プリンター				
接続されたUSBデバイスをリダイ レクト	これらの同様の設定の詳細な手順については、"Citrix ICAセッションのクイック接続の詳細設定 (P.64)"を参照してください。			
差し込まれたUSBデバイス				
リダイレクトルール				

# VDI-in-a-Boxの接続タイプの設定



- Webログオンの接続タイプで利用可能な設定については、"Webログオンの接続タイプ の設定 (P.182)"を参照してください。
- StoreFrontの接続タイプの設定については、"StoreFrontの接続タイプの設定 (P.187)" を参照してください。
- XenDesktopの接続タイプの設定については、"XenDesktopの接続タイプの設定 (P.197)"を参照してください。
- XenAppの接続タイプの設定については、 "XenAppの接続タイプの設定 (P.202)"を参 照してください。
- サーバー接続の接続タイプの設定については、"サーバー接続の接続タイプの設定 (P.207)"を参照してください。

サーバー設定			
項目	説明文		
セッション名	Citrix ICAセッションの名前を入力します。		
	この表では、 <b>VDI-in-a-Box</b> が選択されている場合に使用可能な設定についてのみ説明します。 6つの接続タイプを使用できます		
	Webログオン	Webブラウザー(M	ozilla Firefox)のインターフェースを介して よびアプリケーションへのアクセスを提供し
	StoreFront	StoreFrontを介して のアクセスを提供し	
	VDI-in-a-Box	VDI-in-a-Boxを介して仮想デスクトップへのアクセスを提供します。	
	XenDesktop	XenDesktopの以前のバージョンの仮想デスクトップへのアクセスを提供します。	
接続タイプ	XenApp	XenAppの以前のバージョンの仮想アプリケーションへのアクセスを提供します。	
	サーバー接続	管理用のサーバーへのアクセスを提供します(XenAppサーバーのみ)。	
		れる接続タイプについ	ては、以下の表を参照してください。
	Citrix製品		推奨接続タイプ
	XenApp 6.5以前	•	XenApp / Web□グオン
	XenDesktop 5.6	以前	XenDesktop / Web□グオン
	仮想アプリとデス (XenApp / Xen	スクトップ Desktop 7.5以降)	StoreFront / Webログオン
	VDI-in-a-Box		VDI-in-a-Box / Webログオン

サーバーアドレス	仮想デスクトップにアクセスできるサーバーのIPアドレス/ URL / FQDNを入力します。			
ユーザー名	認証に使用するユーザー/アカウント名を入力します。			
パスワード	認証に	使用するユーザーアカ	ウントのパスワードを入力します。	
ドメイン	サーバ	一のドメインを入力し	<b>ルます。</b>	
デスクトップグループ/アプリケー ション			リケーションの名前を入力するか、フィールドの前にある検索ア 可能なデスクトップグループ/アプリケーションを見つけます。	
共通設定	•			
項目	説明文			
	mt182Lの起動時に自動でCitrix ICAセッションを開くかどうかを選択します(自動起動モード)。  注意: mt182Lには、似ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場合、1つのモードのみが有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。			
	No.	モード	説明文	
起動時に自動起動	1	アプライアンス	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。  • 新しいセッションを再開する  • シンクライアントの再起動  • シンクライアントをオフにする	
	2	自動起動	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  ・ ローカルデスクトップに戻る  ・ 新しいセッションを再開する  ・ シンクライアントの再起動  ・ シンクライアントをオフにする	
	3	クイック接続	システム起動後クライアントはAtrustクイック接続画面 に入ります。	
	<b>注意:</b> 自動開始モードを使用するには、アプライアンスモードが無効になっているご 認してください。			

	Citrix ICAセッションが終了したときの処理を選択します。 <b>何もしない、アプリケーションを再起動する、再起動する、シャットダウン</b> の4つのオプションがあります。			
アプリケーション終了時	オプション	説明文		
	何もしない	ローカルLinuxデスクトップに戻ります。		
	アプリケーションを再起動する	ICAセッションを再度開きます。		
	再起動する	シンクライアントを再起動します。		
	シャットダウン	シンクライアントをオフにします。		
アプリケーションの再起動時に資格 情報を要求する		<b>ョンの終了時」で「アプリケーションの再起動」</b> が選択さ ICAセッションの再起動時に資格情報を要求するかどう す。		

ウィンドウ設定	
項目	説明文
ツールバー	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix(Desktop Viewer)ツールバーを有効/無効にします。
色深度	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションに必要な色品質を選択します。 <b>16ビット、24ビット</b> 、および <b>自動</b> の3つのオプションを使用できます。
ウィンドウサイズ	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションの目的のウィンドウサイズを選択します。 <b>フルスクリーン、1280x1024、1024x768、800x600</b> の4つのオプションが利用できます。
デバイスマッピング	
項目	説明文
ローカルUSBストレージのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルUSBドライブのマッピングを有効/無効にします。  注意: ローカルのUSBストレージドライブも有効にする必要があります。 詳細は"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"をご覧ください。
ローカルシリアルポートのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルシリアルデバイスのマッピングを有効/無効にします。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたシリアルデバイスが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。  注意: この設定項目は、mt182Lには適用されません。 ただし、シリアルベースのバーコードスキャナーを使用し、シリアル-USBアダプターでmt182Lに接続する場合、仮想デスクトップでローカルバーコードスキャナーを使用するには、この設定を有効にする必要があります。

ローカルプリンターのマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでのローカルプリンターのマッピングを有効/無効にします。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたプリンターが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。  注意: ローカルに接続されたプリンターを有効にするには、詳細な手順について"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)"セクションを参照してください。		
接続設定			
項目	説明文		
レンダリングタイプ	ドロップダウンメニューをクリックして、エンドポイントまたはサーバーでレンダリングするリソースを選択します。 <b>サーバーレンダリング</b> と <b>クライアントレンダリング</b> の2つのオプションを使用できます。 <b>注意: クライアントレンダリング</b> オプションは、システムで使用できない場合があります。		
	この項目は、 <b>クライアントレンダリン</b> を	<b>グ</b> が選択されている場合にのみ使用できます。	
HDXリアルタイムウェブカメラ	「はい」を選択すると、ローカルに接続	売されたWebカメラをICAセッションで使用できます。	
H264圧縮を使用		4圧縮サポートが有効/無効になり、セッションデー 吏用してサーバー側から送信されるようになります。	
自動再接続を有効にする	ICAセッションが中断された後の自動再接続を有効/無効にするには、オン/オフにします。 注意: XenDesktop ICAセッションでは、自動再接続(自動クライアント再接続)が機能しない場合があります。 これは既知の問題です。 詳細については、CitrixのWebサイトsupport.citrix.comまたはwww.citrix.comにアクセスしてください。		
再試行回数	ドロップダウンメニューをクリックして	て、再試行回数を1~10の範囲で選択します。	
再試行間の遅延	ドロップダウンメニューをクリックして、再試行間の遅延時間を5~60秒の範囲で選択します。		
オーディオを有効にする	ICAセッションでサウンドを有効/無効にするには、オン/オフにします。		
	ドロップダウンメニューをクリックして、ICAセッションで必要な音質を選択します質、中品質、低品質の3つのオプションを使用できます。		
	オプション	説明文	
	高品質	エンドポイントデバイスがサウンドファイルを ネイティブのデータ転送速度で再生できるよう にします。 これは、帯域幅が豊富で音質が重要 な接続に推奨されます。	
オーディオ品質	中品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大64Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が適度に低下します。 この オプションはスピーチに適しており、ほとんど のLANベースの接続に推奨されます。	
	低品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大16Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が大幅に低下します。 この オプションは低帯域幅の接続に適しており、低 速接続時に妥当なオーディオパフォーマンスを 実現します。	

オーディオ入力を有効にする	ICAセッションでオーディオ入力を有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。			
	ドロップダウンメニューをクリックして、Windowsキーの組み合わせを適用する場所を選択します。 次の3つのオプションを使用できます。 ローカルコンピューター上、リモートサーバー上、および全画面モードのみ。			
	オプション	説明文		
Windowsキーの組み合わせ	ローカルコンピューター上	ローカルデスクトップにのみ適用されます。		
	リモートサーバー上	仮想デスクトップにのみ適用されます。		
	全画面モードのみ	デスクトップが全画面モードで実行されている場合 にのみ、仮想デスクトップに適用されます。		
接続ダイアログの設定				
項目	説明文			
記憶フィールドを表示	ドロップダウンメニューをクリックして、ダイアログウィンドウの <b>[資格情報を記憶する]</b> チェックボックスを <b>表示</b> または <b>非表示</b> にします。			
USBリダイレクト設定				
項目	説明文			
USBストレージ				
プリンター	_			
接続されたUSBデバイスをリダイ レクト	- これらの同様の設定の詳細な手順については、"Citrix ICAセッションのクイック接続の詳細設定 (P.64)"を参照してください。			
差し込まれたUSBデバイス				
	7			

# XenDesktopの接続タイプの設定



- Webログオンの接続タイプで利用可能な設定については、"Webログオンの接続タイプ の設定 (P.182)"を参照してください。
- StoreFrontの接続タイプの設定については、"StoreFrontの接続タイプの設定 (P.187)" を参照してください。
- VDI-in-a-Boxの接続タイプの設定については、"VDI-in-a-Boxの接続タイプの設定 (P.192)"を参照してください。
- XenAppの接続タイプの設定については、"XenAppの接続タイプの設定 (P.202)"を参 照してください。
- サーバー接続の接続タイプの設定については、"サーバー接続の接続タイプの設定 (P.207)"を参照してください。

サーバー設定				
項目	説明文	説明文		
セッション名	Citrix ICAセッショ	   Citrix ICAセッションの名前を入力します。		
		この表は、 <b>XenDesktop</b> が選択されている場合に利用可能な設定の説明のみを提供します。 6つの接続タイプを使用できます		
	オプション	オプション 説明文		
	Webログオン		Mozilla Firefox)のインターフェースを介して Sよびアプリケーションへのアクセスを提供し	
	StoreFront	StoreFrontを介して のアクセスを提供し		
接続タイプ	VDI-in-a-Box	VDI-in-a-Boxを介して仮想デスクトップへのアクセスを提供します。		
	XenDesktop	XenDesktopの以前のバージョンの仮想デスクトップへのアクスを提供します。		
	XenApp	XenAppの以前のバージョンの仮想アプリケーションへのアクt スを提供します。		
	サーバー接続	管理用のサーバーへのアクセスを提供します(XenAppサーバーのみ)。		
	Citrix製品と推奨さ 	Citrix製品と推奨される接続タイプについては、以下の表を参照してください。  Citrix製品 推奨接続タイプ		
	XenApp 6.5以前		XenApp / Webログオン	
	XenDesktop 5.6	以前	XenDesktop / Webログオン	
	仮想アプリとデス (XenApp / Xen	マクトップ Desktop 7.5以降)	StoreFront / Webログオン	
	VDI-in-a-Box		 VDI-in-a-Box / Webログオン	

サーバーアドレス	仮想デスクトップにアクセスできるサーバー(Webインターフェイスがホストされている)のIPアドレス/ URL / FQDNを入力します。			
ユーザー名	認証に使用するユーザー/アカウント名を入力します。			
パスワード	認証に	使用するユーザーアク	カウントのパスワードを入力します。	
ドメイン	サーバ	一のドメインを入力し		
デスクトップグループ			前を入力するか、フィールドの前にある検索アイコン を使用 ップグループを見つけます。	
共通設定	•			
項目	説明文	:		
	mt182Lの起動時に自動でCitrix ICAセッションを開くかどうかを選択します(自動起動モード)。  注意: mt182Lには、似ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場合、1つのモードのみが有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。			
	No.	モード	説明文	
起動時に自動起動	1	アプライアンス	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  • 新しいセッションを再開する  • シンクライアントの再起動  • シンクライアントをオフにする	
	2	自動起動	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。  ローカルデスクトップに戻る 新しいセッションを再開する シンクライアントの再起動 シンクライアントをオフにする	
	3	クイック接続	システム起動後クライアントはAtrustクイック接続画面 に入ります。	
	<b>注意:</b> 自動開始モードを使用するには、アプライアンスモードが無効になっていることを確認してください。			

	Citrix ICAセッションが終了したときの処理を選択します。 <b>何もしない、アプリケーションを再起動する、再起動する、シャットダウン</b> の4つのオプションがあります。			
	オプション	説明文		
	何もしない	ローカルLinuxデスクトップに戻ります。		
アプリケーション終了時	アプリケーションを再起動する	ICAセッションを再度開きます。		
	再起動する	シンクライアントを再起動します。		
	シャットダウン	シンクライアントをオフにします。		
アプリケーションの再起動時に資格 情報を要求する		ョンの終了時」で「アプリケーションの再起動」が選択さ 。 ICAセッションの再起動時に資格情報を要求するかどう す。		

ウィンドウ設定	
項目	説明文
ツールバー	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix(Desktop Viewer)ツールバーを有効/無効にします。
色深度	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションに必要な色品質を選択します。 <b>16ビット、24ビット</b> 、および <b>自動</b> の3つのオプションを使用できます。
ウィンドウサイズ	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションの目的のウィンドウサイズを選択します。 <b>フルスクリーン、1280x1024、1024x768、800x600</b> の4つのオプションが利用できます。
デバイスマッピング	
項目	説明文
ローカルUSBストレージのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルUSBドライブのマッピングを有効/無効にします。  注意: ローカルのUSBストレージドライブも有効にする必要があります。 詳細は"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"をご覧ください。
ローカルシリアルポートのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルシリアルデバイスのマッピングを有効/無効にします。「はい」を選択すると、ローカルに接続されたシリアルデバイスが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。  注意: この設定項目は、mt182Lには適用されません。 ただし、シリアルベースのバーコードスキャナーを使用し、シリアル・USBアダプターでmt182Lに接続する場合、仮想デスクトップでローカルバーコードスキャナーを使用するには、この設定を有効にする必要があります。

	リンターのマッピングを有効/無効	クして、Citrix ICAセッションでのローカルプ にします。 「はい」を選択すると、ローカル		
   ローカルプリンターのマッピング	に接続されたプリンターが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。			
	注意: ローカルに接続されたプリンターを有効にするには、詳細な手順について"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)"セクションを参照してください。			
接続設定				
項目	説明文			
レンダリングタイプ		て、エンドポイントまたはサーバーでレンダリングす <b>ンダリング</b> と <b>クライアントレンダリング</b> の2つのオプ		
	<b>注意: クライアントレンダリング</b> オプミ	ションは、システムで使用できない場合があります。		
HDXリアルタイムウェブカメラ	この項目は、 <b>クライアントレンダリン</b> を	<b>グ</b> が選択されている場合にのみ使用できます。		
HDX D Y IV Y A A D I D II X D	「はい」を選択すると、ローカルに接続	たされたWebカメラをICAセッションで使用できます。		
H264圧縮を使用		4圧縮サポートが有効/無効になり、セッションデー 使用してサーバー側から送信されるようになります。		
	ICAセッションが中断された後の自動剤	月接続を有効/無効にするには、オン/オフにします。		
自動再接続を有効にする	ない場合があります。 これは既	t、自動再接続(自動クライアント再接続)が機能し 知の問題です。 詳細については、CitrixのWebサイ w.citrix.comにアクセスしてください。		
再試行回数	ドロップダウンメニューをクリックし <sup>-</sup>	て、再試行回数を1~10の範囲で選択します。		
再試行間の遅延	ドロップダウンメニューをクリックして、再試行間の遅延時間を5~60秒の範囲で選択します。			
オーディオを有効にする	Check/Uncheck to enable/disable sound in an ICA session.			
	ドロップダウンメニューをクリックして、ICAセッションで必要な音質を選択します質、中品質、低品質の3つのオプションを使用できます。			
	オプション	説明文		
	高品質	エンドポイントデバイスがサウンドファイルを ネイティブのデータ転送速度で再生できるよう にします。 これは、帯域幅が豊富で音質が重要 な接続に推奨されます。		
オーディオ品質	中品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大64Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が適度に低下します。 この オプションはスピーチに適しており、ほとんど のLANベースの接続に推奨されます。		
	低品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大16Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が大幅に低下します。 この オプションは低帯域幅の接続に適しており、低 速接続時に妥当なオーディオパフォーマンスを 実現します。		

オーディオ入力を有効にする	ICAセッションでオーディオ入力を有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。			
	ドロップダウンメニューをクリックして、Windowsキーの組み合わせを適用する場所を選択します。 次の3つのオプションを使用できます。 ローカルコンピューター上、リモートサーバー上、および全画面モードのみ。			
	オプション	説明文		
Windowsキーの組み合わせ	ローカルコンピューター上	ローカルデスクトップにのみ適用されます。		
	リモートサーバー上	仮想デスクトップにのみ適用されます。		
	全画面モードのみ	デスクトップが全画面モードで実行されている場合 にのみ、仮想デスクトップに適用されます。		
接続ダイアログの設定				
項目	説明文			
記憶フィールドを表示		ドロップダウンメニューをクリックして、ダイアログウィンドウの <b>[資格情報を記憶する]</b> チェックボックスを <b>表示</b> または <b>非表示</b> にします。		
USBリダイレクト設定				
項目	説明文			
USBストレージ				
プリンター				
接続されたUSBデバイスをリダイ レクト	これらの同様の設定の詳細な手順設定 (P.64)"を参照してください	頂については、"Citrix ICAセッションのクイック接続の詳細 ^。		
差し込まれたUSBデバイス				
リダイレクトルール				

# XenAppの接続タイプの設定



- Webログオンの接続タイプで利用可能な設定については、"Webログオンの接続タイプ の設定 (P.182)"を参照してください。
- StoreFrontの接続タイプの設定については、"StoreFrontの接続タイプの設定 (P.187)" を参照してください。
- VDI-in-a-Boxの接続タイプの設定については、"VDI-in-a-Boxの接続タイプの設定 (P.192)"を参照してください。
- XenDesktopの接続タイプの使用可能な設定については、"XenDesktopの接続タイプの 設定 (P.197)"を参照してください。
- サーバー接続の接続タイプの設定については、"サーバー接続の接続タイプの設定 (P.207)"を参照してください。

サーバー設定				
項目	説明文			
セッション名	Citrix ICAセッションの名前を入力します。			
	この表は、XenApp	っが選択されている場合	たに使用可能な設定の説明のみを提供しています。	
	6つの接続タイプを	使用できます		
	オプション	オプション説明文		
	Web□グオン		lozilla Firefox)のインターフェースを介して らよびアプリケーションへのアクセスを提供し	
	StoreFront	StoreFrontを介して のアクセスを提供し		
	VDI-in-a-Box	VDI-in-a-Boxを介して仮想デスクトップへのアクセスを提供します。		
接続タイプ	XenDesktop	XenDesktopの以前のバージョンの仮想デスクトップへのアクスを提供します。		
	XenApp	XenAppの以前のバージョンの仮想アプリケーションへのアクセスを提供します。		
	サーバー接続 管理用のサーバーへのアクセスを提供します(XenAppサーバーのみ)。		へのアクセスを提供します(XenAppサーバー	
	Citrix製品と推奨される接続タイプについては、以下の表を参照してください。			
	Citrix製品		推奨接続タイプ	
	XenApp 6.5以前		XenApp / Webログオン	
	XenDesktop 5.6	以前	XenDesktop / Webログオン	
	仮想アプリとデスクトップ (XenApp / XenDesktop 7.5以降)		StoreFront / Webログオン	
	VDI-in-a-Box		VDI-in-a-Box / Webログオン	

	1				
サーバーアドレス	XenAppサーバーのIPアドレス/ URL / FQDNを入力します。				
ユーザー名	認証に使用するユーザー/アカウント名を入力します。				
パスワード	認証に使用するユーザーアカウントのパスワードを入力します。				
ドメイン	サーバーのドメインを入力します。				
アプリケーション名	アプリケーション名を入力するか、フィールドの前にある検索アイコン を使用して、使用可能なアプリケーションを見つけます。				
共通設定					
項目	説明文				
	mt182Lの起動時に自動でCitrix ICAセッションを開くかどうかを選択します(自動起動モード)。 <b>注意:</b> mt182Lには、似ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場合、1つのモードのみが有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。				
	No.	モード			
起動時に自動起動	1	アプライアンス	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  • 新しいセッションを再開する  • シンクライアントの再起動  • シンクライアントをオフにする		
	2	自動起動	クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。  ・ ローカルデスクトップに戻る  ・ 新しいセッションを再開する  ・ シンクライアントの再起動  ・ シンクライアントをオフにする		
	3	クイック接続	システム起動後クライアントはAtrustクイック接続画面 に入ります。		
		自動開始モードを使用 認してください。	するには、アプライアンスモードが無効になっていることを確		

アプリケーション終了時	Citrix ICAセッションが終了したときの処理を選択します。 <b>何もしない、アプリケーションを再起動する、再起動する、シャットダウン</b> の4つのオプションがあります。			
	オプション	説明文		
	何もしない	ローカルLinuxデスクトップに戻ります。		
	アプリケーションを再起動する	ICAセッションを再度開きます。		
	再起動する	シンクライアントを再起動します。		
	シャットダウン	シンクライアントをオフにします。		
アプリケーションの再起動時に資格 情報を要求する	この設定項目は、「アプリケーションの終了時」で「アプリケーションの再起動」が選択されている場合にのみ使用できます。 ICAセッションの再起動時に資格情報を要求するかどうかを選択するときにクリックします。			
手動パラメーター	拡張パラメーターを渡すためのパラメーターを入力します。			

ウィンドウ設定				
項目	説明文			
ツールバー	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix(Desktop Viewer)ツールバーを有効/無効にします。			
色深度	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションに必要な色品質を選択します。 <b>16ビット、24ビット</b> 、および <b>自動</b> の3つのオプションを使用できます。			
ウィンドウサイズ	この項目は、 <b>通常ウィンドウ</b> が選択されている場合にのみ使用できます。 ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションの目的のウィンドウサイズ を選択します。 <b>フルスクリーン、1280x1024、1024x768、800x600</b> の4つのオプショ ンが利用できます。			
ウィンドウモード	ドロップダウンメニューをクリックして、目的のウィンドウモードを選択します。 2つのオ プション、 <b>レギュラーウィンドウ</b> と <b>シームレスウィンドウ</b> を使用できます。			
デバイスマッピング				
項目	説明文			
ローカルUSBストレージのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルUSBドライブのマッピングを有効/無効にします。 <b>注意:</b> ローカルのUSBストレージドライブも有効にする必要があります。 詳細は"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"をご覧ください。			

ローカルシリアルポートのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルシリアルデバイスのマッピングを有効/無効にします。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたシリアルデバイスが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。  注意: この設定項目は、mt182Lには適用されません。 ただし、シリアルベースのバーコードスキャナーを使用し、それをシリアル・USBアダプターでmt182Lに接続する場合、提供されたアプリケーションでローカルバーコードスキャナーを使用するには、この設定を有効にする必要があります。
ローカルプリンターのマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでのローカルプリンターのマッピングを有効/無効にします。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたプリンターが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。  注意: ローカルに接続されたプリンターを有効にするには、詳細な手順について"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)"セクションを参照してください。
接続設定	
項目	説明文
レンダリングタイプ	ドロップダウンメニューをクリックして、エンドポイントまたはサーバーでレンダリングするリソースを選択します。 <b>サーバーレンダリング</b> と <b>クライアントレンダリング</b> の2つのオプションを使用できます。 <b>注意: クライアントレンダリング</b> オプションは、システムで使用できない場合があります。
レンダリングタイプ HDXリアルタイムウェブカメラ	るリソースを選択します。 <b>サーバーレンダリング</b> と <b>クライアントレンダリング</b> の2つのオプションを使用できます。
	るリソースを選択します。 <b>サーバーレンダリング</b> と <b>クライアントレンダリング</b> の2つのオプションを使用できます。 <b>注意: クライアントレンダリング</b> オプションは、システムで使用できない場合があります。  この項目は、 <b>クライアントレンダリング</b> が選択されている場合にのみ使用できます。
HDXリアルタイムウェブカメラ	るリソースを選択します。 <b>サーバーレンダリング</b> と <b>クライアントレンダリング</b> の2つのオプションを使用できます。 <b>注意: クライアントレンダリング</b> オプションは、システムで使用できない場合があります。  この項目は、 <b>クライアントレンダリング</b> が選択されている場合にのみ使用できます。  「はい」を選択すると、ローカルに接続されたWebカメラをICAセッションで使用できます。  クリックすると、クライアントでH.264圧縮サポートが有効/無効になり、セッションデー
HDXリアルタイムウェブカメラ H264圧縮を使用	るリソースを選択します。 サーバーレンダリングとクライアントレンダリングの2つのオプションを使用できます。 注意: クライアントレンダリングオプションは、システムで使用できない場合があります。  この項目は、クライアントレンダリングが選択されている場合にのみ使用できます。  「はい」を選択すると、ローカルに接続されたWebカメラをICAセッションで使用できます。  クリックすると、クライアントでH.264圧縮サポートが有効/無効になり、セッションデータがH.264形式のエンコーディングを使用してサーバー側から送信されるようになります。 ドロップダウンメニューをクリックして、接続に使用するプロトコルを選択します。 3 つのオプション、TCP / IP、TCP / IP + HTTPサーバーの場所、およびSSL / TLS +
HDXリアルタイムウェブカメラ H264圧縮を使用 ネットワークプロトコル	るリソースを選択します。 サーバーレンダリングとクライアントレンダリングの2つのオプションを使用できます。 注意: クライアントレンダリングオプションは、システムで使用できない場合があります。 この項目は、クライアントレンダリングが選択されている場合にのみ使用できます。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたWebカメラをICAセッションで使用できます。 クリックすると、クライアントでH.264圧縮サポートが有効/無効になり、セッションデータがH.264形式のエンコーディングを使用してサーバー側から送信されるようになります。 ドロップダウンメニューをクリックして、接続に使用するプロトコルを選択します。 3 つのオプション、TCP / IP、TCP / IP + HTTPサーバーの場所、およびSSL / TLS + HTTPSサーバーの場所を使用できます。
HDXリアルタイムウェブカメラ H264圧縮を使用 ネットワークプロトコル 自動再接続を有効にする	るリソースを選択します。 サーバーレンダリングとクライアントレンダリングの2つのオプションを使用できます。 注意: クライアントレンダリングオプションは、システムで使用できない場合があります。 この項目は、クライアントレンダリングが選択されている場合にのみ使用できます。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたWebカメラをICAセッションで使用できます。 クリックすると、クライアントでH.264圧縮サポートが有効/無効になり、セッションデータがH.264形式のエンコーディングを使用してサーバー側から送信されるようになります。 ドロップダウンメニューをクリックして、接続に使用するプロトコルを選択します。 3 つのオプション、TCP / IP、TCP / IP + HTTPサーバーの場所、およびSSL / TLS + HTTPSサーバーの場所を使用できます。 ICAセッションが中断された後の自動再接続を有効/無効にするには、オン/オフにします。

	ドロップダウンメニューをクリックして、ICAセッションで必要な音質を選択します。 <b>質、中品質、低品質</b> の3つのオプションを使用できます。		
	オプション	説明文	
オーディオ品質	高品質	エンドポイントデバイスがサウンドファイルを ネイティブのデータ転送速度で再生できるよう にします。 これは、帯域幅が豊富で音質が重要 な接続に推奨されます。	
	中品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大64Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が適度に低下します。 この オプションはスピーチに適しており、ほとんど のLANベースの接続に推奨されます。	
	低品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大16Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が大幅に低下します。 この オプションは低帯域幅の接続に適しており、低 速接続時に妥当なオーディオパフォーマンスを 実現します。	
オーディオ入力を有効にする		を有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。	
		ククして、Windowsキーの組み合わせを適用する場所を選めを使用できます。 <b>ローカルコンピューター上、リモートサ</b> のみ。	
Windowst_の組み合わせ	オプション	説明文	
Windowsキーの組み合わせ	<b>オプション</b> ローカルコンピューター上	<b>説明文</b> ローカルデスクトップにのみ適用されます。	
Windowsキーの組み合わせ			
Windowsキーの組み合わせ	ローカルコンピューター上	ローカルデスクトップにのみ適用されます。	
Windowsキーの組み合わせ USBリダイレクト設定	ローカルコンピューター上 リモートサーバー上	ローカルデスクトップにのみ適用されます。 仮想デスクトップにのみ適用されます。 デスクトップが全画面モードで実行されている場合	
	ローカルコンピューター上 リモートサーバー上	ローカルデスクトップにのみ適用されます。 仮想デスクトップにのみ適用されます。 デスクトップが全画面モードで実行されている場合	
USBリダイレクト設定	ローカルコンピューター上 リモートサーバー上 全画面モードのみ	ローカルデスクトップにのみ適用されます。 仮想デスクトップにのみ適用されます。 デスクトップが全画面モードで実行されている場合	
USBリダイレクト設定 項目	ローカルコンピューター上 リモートサーバー上 全画面モードのみ	ローカルデスクトップにのみ適用されます。 仮想デスクトップにのみ適用されます。 デスクトップが全画面モードで実行されている場合	
<b>USBリダイレクト設定</b> 項目 USBストレージ	ローカルコンピューター上 リモートサーバー上 全画面モードのみ 説明文	ローカルデスクトップにのみ適用されます。 仮想デスクトップにのみ適用されます。 デスクトップが全画面モードで実行されている場合にのみ、仮想デスクトップに適用されます。	
USBリダイレクト設定         項目         USBストレージ         プリンター         接続されたUSBデバイスをリダイ	ローカルコンピューター上 リモートサーバー上 全画面モードのみ  説明文  これらの同様の設定の詳細な手順	ローカルデスクトップにのみ適用されます。 仮想デスクトップにのみ適用されます。 デスクトップが全画面モードで実行されている場合にのみ、仮想デスクトップに適用されます。	

## サーバー接続の接続タイプの設定



- Webログオンの接続タイプで利用可能な設定については、"Webログオンの接続タイプ の設定 (P.182)"を参照してください。
- StoreFrontの接続タイプの設定については、"StoreFrontの接続タイプの設定 (P.187)" を参照してください。
- VDI-in-a-Boxの接続タイプの設定については、"VDI-in-a-Boxの接続タイプの設定 (P.192)"を参照してください。
- XenDesktopの接続タイプの使用可能な設定については、"XenDesktopの接続タイプの 設定 (P.197)"を参照してください。
- XenAppの接続タイプの設定については、"XenAppの接続タイプの設定 (P.202)"を参 照してください。

### 一般サブタブ

項目	説明文	説明文		
セッション名	Citrix ICAセッション	Citrix ICAセッションの名前を入力します。		
	この表は、サーバー指	この表は、 <b>サーバー接続</b> が選択されている場合に利用可能な設定の説明のみを提供します。		
	6つの接続タイプを使	使用できます		
	オプション	説明文		
	Web□グオン		lozilla Firefox)のインターフェースを介して よびアプリケーションへのアクセスを提供し	
	StoreFront	StoreFrontを介して のアクセスを提供し		
	VIII-IN-A-BOV	VDI-in-a-Boxを介し ます。	して仮想デスクトップへのアクセスを提供し	
		XenDesktopの以前 スを提供します。	のバージョンの仮想デスクトップへのアクセ	
接続タイプ	XenApp	XenAppの以前のバ スを提供します。	ージョンの仮想アプリケーションへのアクセ	
		管理用のサーバーへ のみ)。	のアクセスを提供します(XenAppサーバー	
	Citrix製品と推奨され	こる接続タイプについ	ては、以下の表を参照してください。 	
	XenApp 6.5以前		XenApp / Webログオン	
	XenDesktop 5.6以	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	XenDesktop / Webログオン	
	仮想アプリとデスク (XenApp / XenDe	 フトップ	StoreFront / Webログオン	
	VDI-in-a-Box		VDI-in-a-Box / Webログオン	

サーバーアドレス	XenAppサーバーのIPアドl	XenAppサーバーのIPアドレス/ URL / FQDNを入力します。		
	注意: サーバー接続は、Xe	注意: サーバー接続は、XenAppサーバーへの接続のみをサポートしています。		
ユーザー名	認証に使用するユーザー/アカウント名を入力します。			
パスワード	認証に使用するユーザーア	認証に使用するユーザーアカウントのパスワードを入力します。		
ドメイン	サーバーのドメインを入力	します。		
サーバー名	サーバーの名前を入力しま	<b>ं</b>		
共通設定				
項目	説明文			
	ード)。 <b>注意:</b> mt182Lには、似てい	Citrix ICAセッションを開くかどうかを選択します(自動起動モいるが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場が有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。		
	No. ₹-ド	説明文		
		クライアントは、目的のCitrix ICAセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。		
起動時に自動起動	1 アプライアンス	<ul><li>新しいセッションを再開する</li><li>シンクライアントの再起動</li><li>シンクライアントをオフにする</li></ul>		
起動時に自動起動	1 アプライアンス	• シンクライアントの再起動		

認してください。

		きの処理を選択します。 <b>何もしない、アプリケーション</b> <b>ットダウン</b> の4つのオプションがあります。
	オプション	説明文
     アプリケーション終了時	何もしない	ローカルLinuxデスクトップに戻ります。
アプリグーション終」時	アプリケーションを再起動する	ICAセッションを再度開きます。
	再起動する	シンクライアントを再起動します。
	シャットダウン	シンクライアントをオフにします。
アプリケーションの再起動時に資格 情報を要求する		ョンの終了時」で「アプリケーションの再起動」が選択さ ICAセッションの再起動時に資格情報を要求するかどう す。

## **オプションサブ**タブ

ウィンドウ設定		
項目	説明文	
ツールバー	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix(Desktop Viewer)ツールバーを有効/無効にします。	
色深度	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションに必要な色品質を選択します。 <b>16ビット、24ビット</b> 、および <b>自動</b> の3つのオプションを使用できます。	
ウィンドウサイズ	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションの目的のウィンドウサイズ を選択します。 <b>フルスクリーン、1280x1024、1024x768、800x600</b> の4つのオプショ ンが利用できます。	
デバイスマッピング		
項目	説明文	
ローカルUSBストレージのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルUSBドライブのマッピングを有効/無効にします。  注意: ローカルのUSBストレージドライブも有効にする必要があります。 詳細は"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"をご覧ください。	
ローカルシリアルポートのマッピ ング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでローカルシリアルデバイスのマッピングを有効/無効にします。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたシリアルデバイスが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。  注意: この設定項目は、mt182Lには適用されません。 ただし、シリアルベースのバーコードスキャナーを使用し、シリアル-USBアダプターでmt182Lに接続する場合、仮想サーバーデスクトップでローカルバーコードスキャナーを使用するには、この設定を有効にする必要があります。	
ローカルプリンターのマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、Citrix ICAセッションでのローカルプリンターのマッピングを有効/無効にします。 「はい」を選択すると、ローカルに接続されたプリンターが、起動されたCitrix ICAセッションで使用できるようになります。  注意: ローカルに接続されたプリンターを有効にするには、詳細な手順について"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)"セクションを参照してください。	

接続設定		
項目	説明文	
レンダリングタイプ	ドロップダウンメニューをクリックして、エンドポイントまたはサーバーでレンダリングするリソースを選択します。 <b>サーバーレンダリング</b> と <b>クライアントレンダリング</b> の2つのオプションを使用できます。	
	<b>注意: クライアントレンダリング</b> オプションは、システムで使用できない場合があります。 	
	この項目は、 <b>クライアントレンダリング</b> が選択されている場合にのみ使用できます。	
HDXリアルタイムウェブカメラ	「はい」を選択すると、ローカルに接続されたWebカメラをICAセッションで使用できます。	
H264圧縮を使用	クリックすると、クライアントでH.264圧縮サポートが有効/無効になり、セッションデータがH.264形式のエンコーディングを使用してサーバー側から送信されるようになります。	
ネットワークプロトコル	ドロップダウンメニューをクリックして、接続に使用するプロトコルを選択します。 3 つのオプション、TCP / IP、TCP / IP + HTTPサーバーの場所、およびSSL / TLS + HTTPSサーバーの場所を使用できます。	
自動再接続を有効にする	ICAセッションが中断された後の自動再接続を有効/無効にするには、オン/オフにします。 注意: XenDesktop ICAセッションでは、自動再接続(自動クライアント再接続)が機能しない場合があります。 これは既知の問題です。 詳細については、CitrixのWebサイトsupport.citrix.comまたはwww.citrix.comにアクセスしてください。	
再試行回数	ドロップダウンメニューをクリックして、再試行回数を1~10の範囲で選択します。	
再試行間の遅延	ドロップダウンメニューをクリックして、再試行間の遅延時間を5~60秒の範囲で選択します。	
オーディオを有効にする	ICAセッションでサウンドを有効/無効にするには、オン/オフにします。	

		・ ・クして、ICAセッションで必要な音質を選択します。 <b>高品</b>	
	<b>質、中品質、低品質</b> の3つのオプ 	ションを使用できます。  <b>説明文</b>	
オーディオ品質	高品質	エンドポイントデバイスがサウンドファイルを ネイティブのデータ転送速度で再生できるよう にします。 これは、帯域幅が豊富で音質が重要 な接続に推奨されます。	
	中品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大64Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が適度に低下します。 この オプションはスピーチに適しており、ほとんど のLANベースの接続に推奨されます。	
	低品質	エンドポイントデバイスに送信されるすべての サウンドを最大16Kbpsに圧縮します。その結 果、サウンドの品質が大幅に低下します。 この オプションは低帯域幅の接続に適しており、低 速接続時に妥当なオーディオパフォーマンスを 実現します。	
オーディオ入力を有効にする	ICAセッションでオーディオ入力	を有効/無効にするには、チェック/チェックを外します。	
	ドロップダウンメニューをクリックして、Windowsキーの組み合わせを適用する場所を選択します。 次の3つのオプションを使用できます。 ローカルコンピューター上、リモートサーバー上、および全画面モードのみ。		
	オプション	説明文	
Windowsキーの組み合わせ	ローカルコンピューター上	ローカルデスクトップにのみ適用されます。	
	リモートサーバー上	仮想デスクトップにのみ適用されます。	
	全画面モードのみ	デスクトップが全画面モードで実行されている場合 にのみ、仮想デスクトップに適用されます。	
USBリダイレクト設定			
項目	説明文		
USBストレージ			
プリンター	1		
接続されたUSBデバイスをリダイ レクト	_ これらの同様の設定の詳細な手順 設定 (P.64)"を参照してください	類については、"Citrix ICAセッションのクイック接続の詳細。	
差し込まれたUSBデバイス			
リダイレクトルール	1		

#### 3.6.12 基本的なVMware View接続設定の構成

VMware View設定を使用すると、VMware ViewまたはHorizon ViewサービスのView接続設定を構成 し、ローカルデスクトップにショートカットを作成して、サービスアクセス用の[スタート]メニューを作成で きます。 これらのショートカットを使用するだけで、仕事用のオンデマンドサービスにアクセスできます。

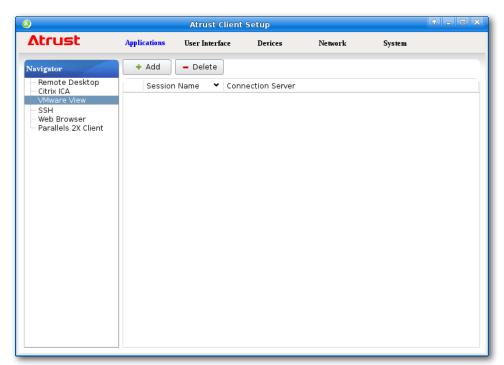


#### 注意

• VMwareデスクトップ仮想化ソリューションの詳細については、VMware Webサイトwww.vmware.comにアクセスしてください。

VMware View接続設定をすばやく構成するには、次の手順を実行してください。

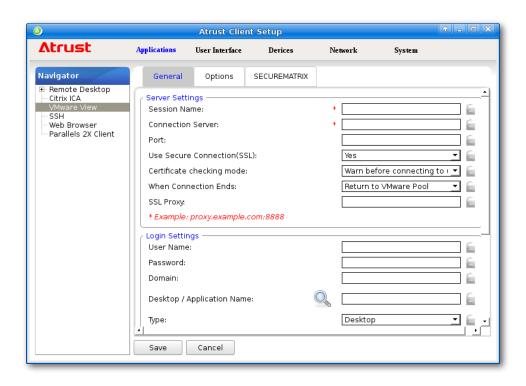
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [VMware View]をクリックします。
- 2. [接続の表示]リストが構成エリアに表示されます。





#### 注意

- エントリを作成していない場合、接続の表示リストは空になります。
- 3. [接続の表示]リストの上部にある[追加]をクリックして、[接続の表示]の新しいエントリを追加します。



4. 目的のセッション名とView接続サーバーのコンピューター名またはIPアドレスを入力し、[保存]をクリックして確定します。



#### 注意

- これらは、デスクトップにサービスアクセスショートカットを作成するため の唯一の必須フィールドです。 サービスへのアクセス期間中に他のデータを 提供できます。 必要に応じて、他のデータを入力することもできます。
- 5. 新しいエントリが[接続の表示]リストに追加され、アクセスショートカットがローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。

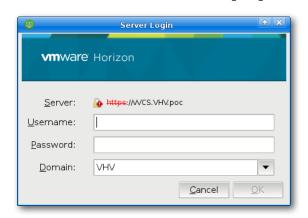
#### 3.6.13 VMware ViewまたはHorizon Viewサービスへのアクセス

VMware ViewまたはHorizon Viewサービスにアクセスするには、以下を実行してください。

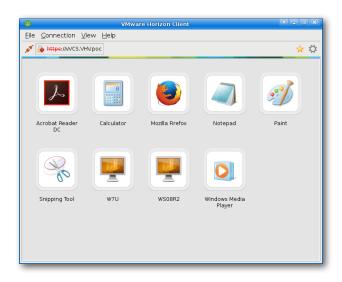
1. デスクトップ上に作成された(カスタマイズされた)アクセスショートカットをダブルクリックします。



- リモートサーバーに関する証明書メッセージがウィンドウに表示される場合があります。 詳細についてはIT管理者に相談し、接続が最初に安全であることを確認してください。 セキュリティ証明書をインポートするには、"3.2.16 リモートコンピューターの証明書 のインポート (P.73)"を参照してください。 バイパスするには、[安全でない接続]を クリックします。
- 2. ようこそウィンドウが表示される場合があります。 [OK]をクリックして続行します。
- 3. 資格情報の入力を求めるウィンドウが表示されます。 ユーザー名とパスワードを入力し、[ドメイン] ドロップダウンメニューをクリックしてドメインを選択し、**[OK]**をクリックします。



4. 提供された資格情報に使用できるデスクトップまたはアプリケーション、あるいはその両方がウィン ドウに表示されます。



5. ダブルクリックして、目的のデスクトップまたはアプリケーションを選択します。

6. 選択したデスクトップまたはアプリケーションが画面に表示されます。



## 3.6.14 詳細ビュー接続設定の構成

下の表は、ビュー接続の各設定項目の説明です。 詳細設定を構成し、ローカルデスクトップのショートカ ットとサービスアクセスの[スタート]メニューをカスタマイズするには、この表を参照してください。

## 一般サブタブ

サーバー設定			
項目	説明文		
セッション名	VMware ViewまたはHorizon Viewセッションの名前を入力します。		
接続サーバー	View接続サーバーのコンピューター名またはIPアドレスを入力します。 注意: View接続サーバーの詳細については、VMwareのWebサイト(www.vmware.com)にアクセスしてください。		
ポート	View接続サーバーとの通信に使用するポート番号を入力します。 デフォルト値を使用する には、空白のままにします。		
安全な接続(SSL)を使用する	安全な接続を有効/無効にするためにチェック/チェックを外します。		
証明書チェックモード	ドロップダウンメニューをクリックして、サーバーID証明書を確認するかどうか、および 信頼されていないサーバーに接続するかどうかを選択します。 サーバーID証明書を検証し ない、信頼できないサーバーに接続する前に警告する、信頼できないサーバーに接続しない の3つのオプションを使用できます。		
	ドロップダウンメニューをクリックして、接続が終了したときの動作を選択します。 2つの オプションが利用可能です。 <b>VMwareプールに戻る</b> と <b>VMwareクライアントを終了します</b> 。		
	オプション説明文		
接続が終了したとき	YMwareプールに戻る 接続が終了したら、指定された資格情報のデスクトップ とアプリケーションのリストに戻ります。		
	VMwareクライアントを終 了します 接続が終了したら、VMware Clientを閉じます。 仮想 デスクトップおよびアプリケーションにアクセスするに は、資格情報を再度提供する必要があります。		
SSLプロキシ	SSLプロキシのURL / IPアドレス(ポート番号を含む)を入力します(ある場合)。		
ログイン設定			
項目	説明文		
ユーザー名	認証用のユーザー名を入力します。		
パスワード	認証用のパスワードを入力します。		
ドメイン	View接続サーバーのドメイン名を入力します。		
デスクトップ/アプリケーション名	デスクトップ/アプリケーション名を入力します。 または、ユーザーが選択できるように空白のままにします。  注意: 検索アイコン を使用して、特定の資格情報のセットで使用可能なデスクトップまたはアプリケーションを見つけることができます。		
タイプ	ドロップダウンメニューをクリックして、正しいタイプを選択します。 注意: 前の設定で指定したデスクトップ名に[デスクトップ]を選択します。 アプリケーション名のアプリケーション。		

<u> </u>			
	ドロップダウンメニューをクリックして、前の設定項目で提供された仮想デスクトップまた はアプリケーションの資格を確認するかどうかを選択します。		
	オプション説明文		
アクセス前に確認	前の設定項目で提供された仮想デスクトップまたはアプリケーショはい ンの資格を確認します。 指定された資格情報がこの検証に合格しない場合は停止します。		
	指定された資格情報に、前の設定項目で提供された仮想デスクトップまたはアプリケーションの資格がない場合は、そのエラーを無視して、その資格情報で使用できるデスクトップとアプリケーションのリストを提供します。		
次のログインのために資格情報を 記憶する	ドロップダウンメニューをクリックして、ログオン資格情報を記憶するかどうかを選択します。		
	ドロップダウンメニューをクリックして、目的の表示プロトコルを選択します。 <b>手動、Microsoft RDP、PCoIP</b> の3つのオプションを使用できます。		
	オプション説明文		
優先表示プロトコル	手動 目的の表示プロトコルを手動で選択します。		
	Microsoft RDP 表示プロトコルとしてMicrosoft RDPを使用します。		
	PCoIP 表示プロトコルとしてVMware PCoIPを使用します。		
共通設定			
項目	説明文		
	非インタラクティブモードを許可または禁止するには、 <b>[はい]</b> または <b>[いいえ]</b> を選択します。 デフォルトでは、非インタラクティブモードを使用します。		
	オプション 説明文		
非インタラクティブモード	#インタラクティブモードが使用されます。 [接続設定の表示]で設定が指定されている場合、ユーザーは別の設定を再選択できません。		
	いいえ 対話モードが使用されます。 ユーザーは、接続設定の表示で設定が 指定されている場合でも、別の設定を再選択できます。		

	かを選択します(自動起動 <b>注意:</b> mt182Lには、似て	mt182Lの起動時に、VMware ViewまたはHorizon Viewセッションを自動的に開くかどうかを選択します(自動起動モード)。  注意: mt182Lには、似ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場合、1つのモードのみが有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。		
	1 アプライアンス	クライアントは、目的のVMware Viewセッションで直接 起動し、セッションを終了した後、構成されたアクショ ンを実行します。 利用可能なアクションは次のとおりです。 • 新しいセッションを再開する • シンクライアントの再起動 • シンクライアントをオフにする		
起動時に自動起動		クライアントは、目的のVMware ViewまたはHorizon Viewセッションで直接起動し、セッションの終了後に構成されたアクションを実行します。		
		利用可能なアクションは次のとおりです。		
	2 自動起動	<ul><li>ローカルデスクトップに戻る</li></ul>		
		<ul><li>新しいセッションを再開する</li><li>スンカー・イマントのまれた。</li></ul>		
		<ul><li>シンクライアントの再起動</li><li>シンクライアントをオフにする</li></ul>		
	3 クイック接続	システム起動後クライアントはAtrustクイック接続画面 に入ります。		
	認してください。 VMware ViewまたはHori	用するには、アプライアンスモードが無効になっていることを確zon Viewセッションが終了したときの動作を選択します。 ・ョンを再起動する、再起動する、シャットダウンの4つのオプシ		
		SVER 4.		
	オプション	説明文		
アプリケーション終了時	何もしない   <del></del>	ローカルデスクトップに戻ります。 		
	アプリケーションを再起	動する VMware ViewまたはHorizon Viewセッションを再度 開きます。		
	再起動する	シンクライアントを再起動します。		
	シャットダウン	シンクライアントをオフにします。		

# **オプション**サブタブ

ウィンドウ設定			
項目	説明文		
	ドロップダウンメニューをクリックして、ビューセッションの目的の表示サイズを選択します。 <b>フルスクリーン、ラージウィンドウ、スモールウィンドウ</b> の3つのオプションを使用できます。		
解像度	オプション説明文		
胜(8)支	フルスクリーン選択したビューセッションを全画面で開きます。		
	ラージウィンドウ 選択したビューセッションを大きなウィンドウで開きます。		
	スモールウィンドウ 選択したビューセッションを小さなウィンドウで開きます。		
ウィンドウモード	ドロップダウンメニューをクリックして、目的のウィンドウモードを選択します。 2つのオプション、 <b>レギュラーウィンドウ</b> と <b>シームレスウィンドウ</b> を使用できます。		
ツールバー	セッションでツールバーにアクセスできるかどうかを選択するには、ドロップダウンメニュ ーをクリックします。		
USBリダイレクト設定			
項目	説明文		
マスストレージ	これらの同様の設定の詳細な手順については、66ページの"VMware Viewセッションの高度なクイック接続設定" on page 66を参照してください。		
スマートカード			
ヒューマンインターフェイスデバ イス			
プリンター			
差し込まれたUSBデバイス			
リダイレクトルール			
接続設定			
項目	説明文		
	クリックして、VMware View接続のプリンターマッピングを有効/無効にします。		
	注意: 最初にmt182Lのローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加してから、この機能を有効にして、仮想デスクトップセッションでマップされたプリンタを使用する必要があります。		
プリンターマッピング	注意: シンクライアントにローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する方法の詳細については、"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)"または"3.4.9 ネットワークプリンターの追加 (P.102)"を参照してください。		
	注意: プリンターマッピングを無効にしても、プリンターリダイレクトが有効になっている場合は、プリンターが仮想デスクトップセッションにリダイレクトされる可能性があります(この表の上記の設定を参照)。		

## **SECUREMATRIX**サブタブ

接続設定		
項目	説明文	
SECUREMATRIXを使用する	SECUREMATRIX認証を使用する場合にオンにします。	
GSB サーバーアドレス	SECUREMATRIX認証サービスのサーバーであるGSBサーバーのサーバーアドレスを入力します。	
ユーザー名	ユーザー名(ログインID)を入力します。	

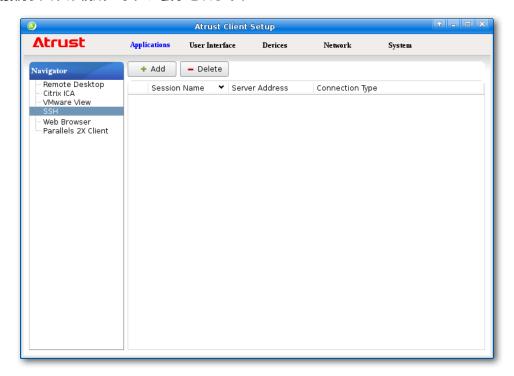


• 詳細については、"A.3 VMware接続でのSECUREMATRIX認証の使用 (P.252)"を参照してください。

#### 3.6.15 SSH接続設定の構成

SSH (Secure SHell) 接続設定を構成するには、次の手順を実行してください。

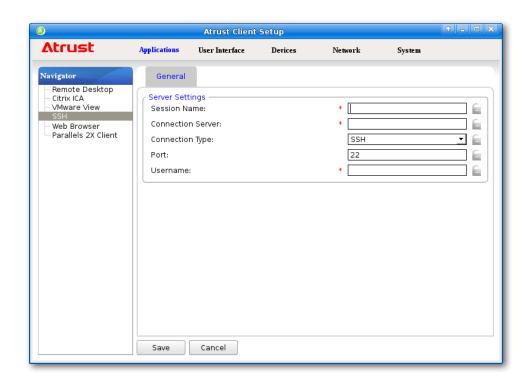
- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [SSH]をクリックします。
- 2. SSH接続リストが構成エリアに表示されます。



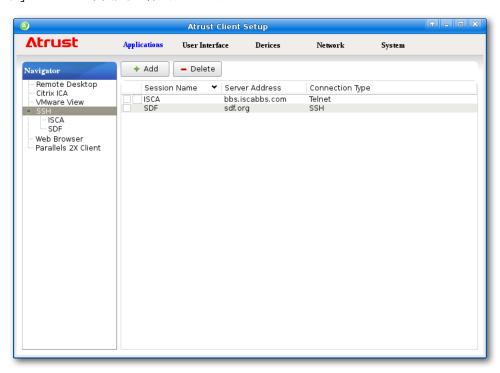


## 注意

- エントリを作成していない場合、SSH接続リストは空になります。
- 3. SSH接続リストの上部にある[追加]をクリックして、SSH接続の新しいエントリを追加します。



- 4. ドロップダウンメニューをクリックして、目的の接続タイプを選択します。 **SSH**と**Telnet**の2つのタイプを使用できます。
- 5. 目的のセッション名、リモートサーバーのコンピューター名またはIPアドレス、ユーザー名を入力し、[**保存**]をクリックして確定します。
- 6. 新しいエントリがSSH接続リストに追加され、アクセスショートカットがローカルデスクトップと[ スタート]メニューに自動的に作成されます。

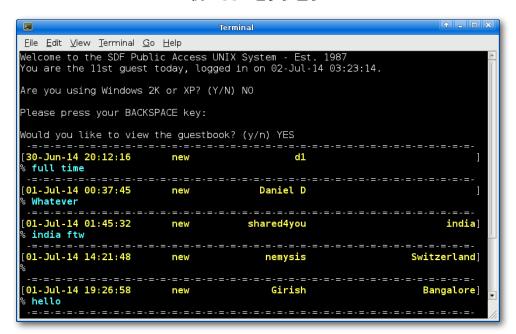


## 3.6.16 SSHおよびTelnetセッションの起動

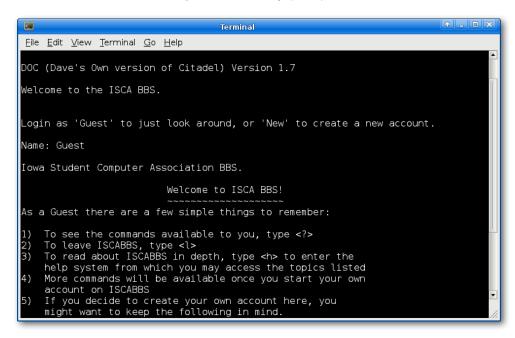
SSHまたはTelnetセッションを起動するには、次の手順を実行してください。

- 1. ローカルデスクトップに作成されたショートカットをダブルクリックします。
- 2. 開いたウィンドウでSSHまたはTelnetセッションが開始します。

#### 例:SSHセッション



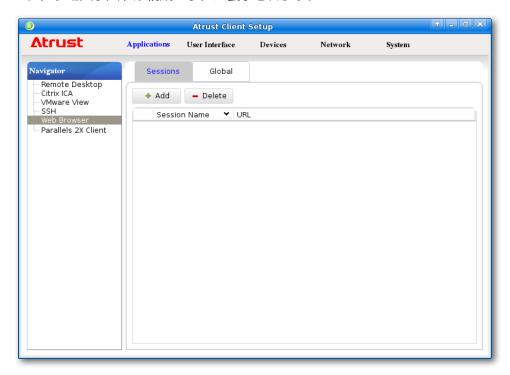
#### 例:Telnetセッション



## 3.6.17 ブラウザセッションの基本設定の構成

ブラウザセッションの基本設定を構成するには、次の手順を実行します。

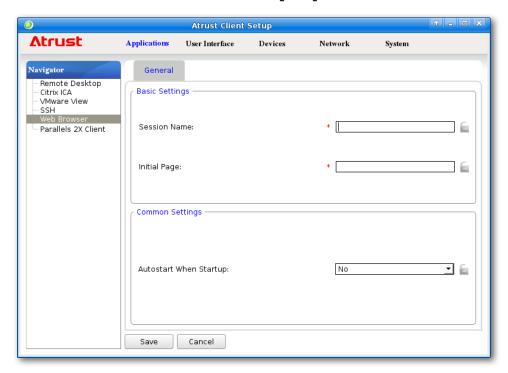
- 1. Atrust Client Setupで、「アプリケーション」>「Webブラウザー」をクリックします。
- 2. Webページアクセスリストが構成エリアに表示されます。



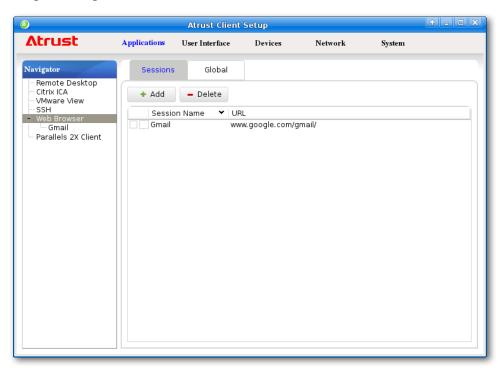


- エントリを作成していない場合、Webページアクセスリストは空になります。
- 3. Webページのアクセスリストの上部にある[追加]をクリックして、新しいエントリを追加します。.

4. 目的のセッション名、WebページのURLを入力し、[保存]をクリックして確定します。



5. 新しいエントリがWebページのアクセスリストに追加され、アクセスショートカットがローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。

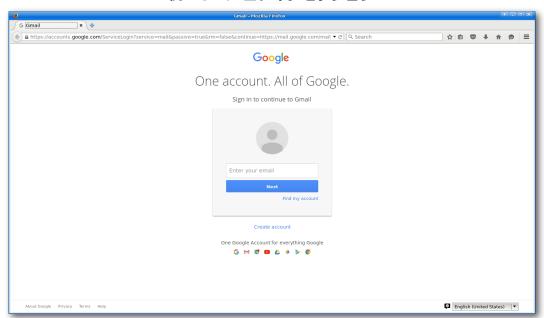


## 3.6.18 ブラウザセッションの起動

ブラウザセッションを起動するには、次の手順を実行してください。

- 1. ローカルデスクトップまたは[スタート]メニューで作成したショートカットをダブルクリックします。
- 2. 開いているブラウザでセッションが開始されます。

例:Gmailログインセッション



## 3.6.19 ブラウザセッションの詳細設定

次の表は、ブラウザセッションの各設定項目の説明です。これらの表を参照して、詳細設定を構成し、Web アクセス用にカスタマイズしてください。

## 一般サブタブ

共通設定				
項目	説明文			
セッション名	ブラウザセッションの名前を入力します。			
初期ページ	Web^	WebページのURLを入力します。		
共通設定				
項目	説明文			
	No.	mt182Lには、似てい	るが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場が有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。  説明文  クライアントは、目的のブラウザセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。  利用可能なアクションは次のとおりです。	
起動時に自動起動	1 アプライア:	アノライアンス	<ul><li>新しいセッションを再開する</li><li>シンクライアントの再起動</li><li>シンクライアントをオフにする</li></ul>	
	2	自動起動	クライアントは、目的のブラウザセッションで直接起動 します。	
	3	クイック接続	<b>デフォルト</b> 有効。システム起動後クライアントはAtrust クイック接続画面に入ります。	
		自動開始モードを使用 認してください。	するには、アプライアンスモードが無効になっていることを確	

## **グローバル**サブタブ

共通設定		
項目	説明文	
ホームページ	Webブラウザに希望のホームページを設定します。	

## 3.6.20 基本的なRAS / RDP接続設定の構成

Parallels 2X Client設定では、RAS / RDP接続設定を構成し、サービスアクセス用のローカルデスクトッ プと[スタート]メニューにショートカットを作成できます。 これらのショートカットを使用するだけで、 リモートデスクトップまたはアプリケーションにアクセスして作業できます。



• RAS(リモートアプリケーションサーバー)とRDP(リモートデスクトッププロトコ ル) の詳細については、ParallelsのWebサイト (www.parallels.com) にアクセスして ください。

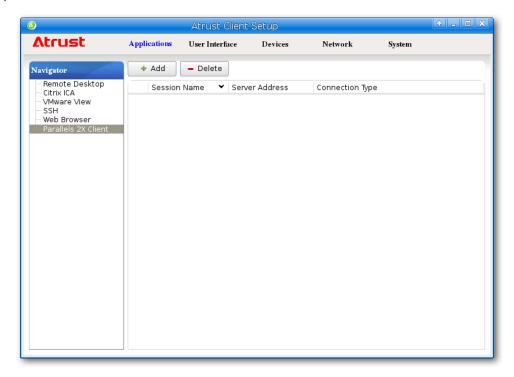
次の2つの接続タイプを使用できます。

接続タイプ	説明文	ページ
Parallelsリモートアプリケーションサ ーバー	Parallelsリモートアプリケーションサーバーを介してリモートデスクトップ およびアプリケーションにアクセスすることを選択します。	229
標準RDP	標準のMicrosoftリモートデスクトップサービスを介してリモートデスクト ップにアクセスすることを選択します。	231

### 接続タイプ: Parallelsリモートアプリケーションサーバー

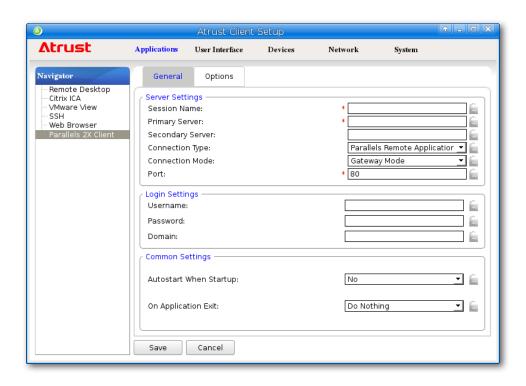
この接続タイプのRAS接続設定をすばやく構成するには、次の手順を実行してください。

- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Parallels 2X Client]をクリックします。
- 2. RAS / RDP接続リストが構成エリアに表示されます。

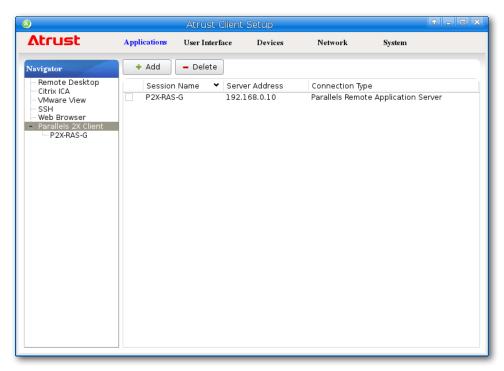




- エントリを作成していない場合、RAS / RDP接続リストは空になります。
- 3. [RAS / RDP接続]リストの上部にある[追加]をクリックして、RAS接続の新しいエントリを作成します。



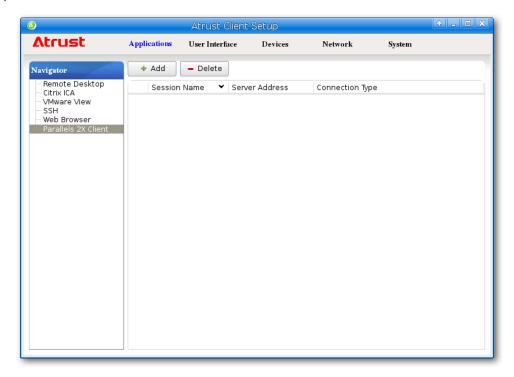
- 4. **[全般]**サブタブで、接続タイプとして**Parallelsリモートアプリケーションサーバー**が選択されていることを確認し、[サーバー設定]セクションでセッション名とプライマリサーバーアドレスを入力します。
- 5. [保存]をクリックして確定します。
- 6. 新しいエントリが[RAS / RDP接続]リストに追加され、アクセスショートカットがローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。



# 接続タイプ:標準RDP

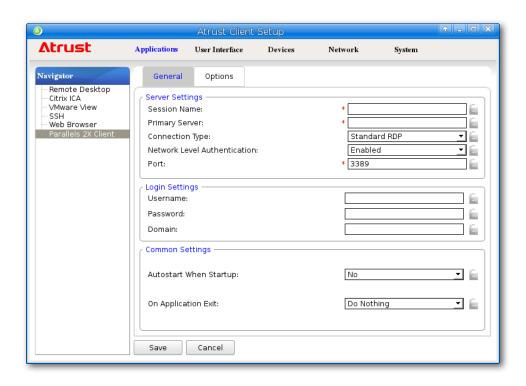
この接続タイプのRDP接続設定をすばやく構成するには、次の手順を実行してください。

- 1. Atrust Client Setupで、[アプリケーション]> [Parallels 2X Client]をクリックします。
- 2. RAS / RDP接続リストが構成エリアに表示されます。

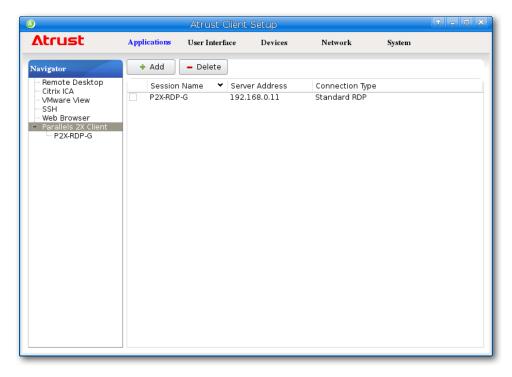




- エントリを作成していない場合、RAS / RDP接続リストは空になります。
- 3. [RAS / RDP接続]リストの上部にある[追加]をクリックして、RDP接続の新しいエントリを作成します。



- 4. **[全般]**サブタブで、接続の種類として**[標準RDP]**が選択されていることを確認し、[サーバー設定] セクションでセッション名とプライマリサーバーアドレスを入力します。
- 5. [保存]をクリックして確定します。
- 6. 新しいエントリが[RAS / RDP接続]リストに追加され、アクセスショートカットがローカルデスクトップと[スタート]メニューに自動的に作成されます。



## 3.6.21 リモートデスクトップまたはアプリケーションへのアクセス

### 接続タイプ: Parallelsリモートアプリケーションサーバー

リモートデスクトップまたはアプリケーションにアクセスするには、以下を実行してください。

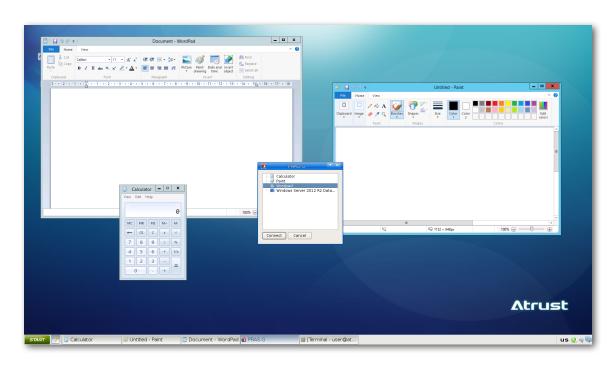
- 1. デスクトップに作成されたショートカットをダブルクリックします。
- 2. 開いたウィンドウで、必要に応じて資格情報を入力し、[OK]をクリックします。



3. 使用可能なアプリケーションとデスクトップがウィンドウに表示されます。



- 4. 目的のアプリケーションまたはデスクトップをクリックして選択し、[接続]をクリックして確認します。
- 5. アプリケーションまたはデスクトップが画面に表示されます。







#### 注意

• デスクトップが全画面で表示されます。

## 接続タイプ:標準RDP

リモートデスクトップにアクセスするには、次の操作を行います。

- 1. デスクトップに作成されたショートカットをダブルクリックします。
- 2. 開いたウィンドウで、必要に応じて資格情報を入力し、[OK]をクリックします。



3. デスクトップが全画面で表示されます。

## 3.6.22 高度なRAS / RDP接続設定の構成

以下の表は、RAS / RDP接続の各設定項目の説明です。 これらの表を参照して、詳細設定を構成し、ローカ ルデスクトップのショートカットとサービスアクセスの[スタート]メニューをカスタマイズしてください。



• 使用可能な設定は、選択した接続タイプによって異なることに注意してください。

## Parallelsリモートアプリケーションサーバーの接続タイプの設定



• 標準RDPの接続タイプの設定については、"標準RDPの接続タイプの設定 (P.241)"を参 照してください。

#### 一般サブタブ

サーバー設定		
項目	説明文	
セッション名	RAS(リモートアプリケーションサーバー)セッションの名前を入力します。	
プライマリサーバー	RASセッションの配信に使用するサーバーのコンピューター名またはIPアドレスを入力します。	
セカンダリサーバー	プライマリサーバーがセッションの配信に失敗した場合に備えて、サーバーの2番目のコン ピューター名またはIPアドレス(利用可能な場合)を入力します。	
	この表では、 <b>Parallelsリモートアプリケーションサーバー</b> が選択されている場合に利用可能な設定についてのみ説明します。 次の2つの接続タイプを使用できます。	
	オプション	説明文
接続タイプ	Parallelsリモートアプリ ケーションサーバー	Parallelsリモートアプリケーションサーバーを介してリモートデスクトップおよびアプリケーションにアクセスすることを選択します。
	標準RDP	標準のMicrosoftリモートデスクトップサービスを介してリ モートデスクトップにアクセスすることを選択します。

	ドロップダウンメニューをクリックして、目的の接続モードを選択します。 4つのオプションが利用可能です。		
	オプション	説明文	
	ゲートウェイモード	RAS (リモートアプリケーションサーバー) セキュアクライア ントゲートウェイに接続し、最初に利用可能な接続を介してデータをトンネルしました。  注意: このモードは、ゲートウェイ経由でのみ到達可能であ り、高度なセキュリティを必要としないサーバーに最 適です。	
接続モード	直接モード	最初にRAS(リモートアプリケーションサーバー)のSecure Client Gatewayに接続して最適なサーバーを取得し、次にその特定のサーバーに直接接続します。  注意: これは、クライアントとサーバーが同じネットワーク上にある場合に最適です。	
	ゲートウェイSSLモ ード	RAS(リモートアプリケーションサーバー)のセキュアクライアントゲートウェイに安全に接続し、データを暗号化して、最初の利用可能な接続を介してトンネルします	
	直接SSLモード	最初にSSLを使用してRAS(リモートアプリケーションサーバー)セキュアクライアントゲートウェイに接続し、最適なサーバーを選択してから、その特定のサーバーに直接接続します。  注意: これは、クライアントとサーバーが同じネットワーク上にあり、高度なセキュリティ対策が必要な場合に最適です。	
ポート	接続タイプとモードを選択すると、デフォルトで使用されるポートが自動的に割り当てられます。必要に応じて別のものを入力します。		
ログイン設定			
項目	説明文		
ユーザー名	認証に使用するユーザー	-/アカウント名を入力します。	
パスワード	認証に使用するユーザー	アカウントのパスワードを入力します。	
ドメイン	サーバーのドメインを入力します。 注意: ドメインは、共通のデータベースとセキュリティポリシーを共有するネットワーク上のコンピューターのコレクションです。 サーバーがどのドメインにも属していない場合は、このフィールドを空白のままにします。		

共通設定					
項目	説明文	説明文			
	<b>注意:</b> mt182Lには、似て	mt182L起動時(自動起動モード)にRASセッションを自動で開くかどうかを選択します。 注意: mt182Lには、似ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場合、1つのモードのみが有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。			
	No. ₹−ド	説明文			
		クライアントは、目的のRASセッションで直接起動し、 セッションを終了した後、構成されたアクションを実行 します。			
	1 アプライアンス	利用可能なアクションは次のとおりです。			
		<ul><li>新しいセッションを再開する</li></ul>			
		<ul><li>シンクライアントの再起動</li></ul>			
		• シンクライアントをオフにする			
起動時に自動起動		クライアントは、目的のRASセッションで直接起動し、 セッションを終了した後、構成されたアクションを実行 します。			
		利用可能なアクションは次のとおりです。			
	2 自動起動	Not to do anything			
		<ul><li>新しいセッションを再開する</li></ul>			
		<ul><li>シンクライアントの再起動</li></ul>			
		• シンクライアントをオフにする			
	3 クイック接続	デ <b>フォルト</b> 有効。システム起動後クライアントはAtrust クイック接続画面に入ります。			
	<b>注意:</b> 自動開始モードを値 認してください。	<b>吏用するには、アプライアンスモードが無効になっていることを確</b>			
		Parallel 2Xセッションが終了したときの動作を選択します。 <b>何もしない、アプリケーションを再起動する、再起動する、シャットダウン</b> の4つのオプションがあります。			
	オプション	説明文			
アプリケーション終了時	何もしない	何もしないこと。			
	アプリケーションを再起	₫動する RASセッションを再度起動します。			
	再起動する	mt182Lを再起動します。			
	シャットダウン	mt182Lの電源を切ります。			

# **オプション**サブタブ

ウィンドウ設定			
項目	説明文		
	ドロップダウンメニューをクリックして、RASセッションに必要な色深度を選択します。 5 つのオプション、 <b>8ビット、15ビット、16ビット、24ビット、32ビット</b> を使用できます。		
色深度	<b>注意: グラフィックスアクセラレーション</b> でRemoteFXが有効になっている場合、ここでは 32ビット/ピクセルのみを選択できます。		
	注意: ホストサーバー上のRASセッションの色深度の上限を構成できます。 この場合、ここで選択する色深度に関係なく、値は定義された制限を超えることはできません。		
	ドロップダウンメニューをクリックして、グラフィックアクセラレーションを設定します。 4つのオプション、 <b>なし、基本、RemoteFX、RemoteFXアダプティブ</b> を使用できます。		
     グラフィックアクセラレーション	<b>注意:</b> Windows® RemoteFX™は、リモートデスクトップユーザーにネットワーク経由でリッチなユーザーエクスペリエンスを提供するテクノロジーです。		
	<b>注意:</b> ここで <b>RemoteFX</b> を選択すると、32ビット/ピクセルの <b>色深度</b> が色深度で自動的に選択されます。		
デスクトップセッションにすべての モニターを使用する	オンにすると、接続されたモニタとセカンダリモニタを拡張画面として使用できます。		
すべてのモニターにまたがるデス クトップ	オンにすると、起動したデスクトップがすべての接続されたモニターにまたがります。		
公開アプリケーション			
項目	説明文		
プライマリモニターのみを使用する	オンにすると、起動したアプリケーションがプライマリモニターのみに表示されます。 接続されている他のモニターは使用されず、ユーザーはアプリケーションウィンドウをそれらのモニターに移動することもできません。		
最適化設定			
項目	説明文		
接続品質	ネットワーク接続の品質を最もよく表すオプションを選択します。 3つのオプション、LAN( <b>非常に高速)、ブロードバンド(高速)、およびモデム(低速)</b> を使用できます。		
	注意: ここで選択すると、このセクションの項目のデフォルトが次のように決定されます。		
デスクトップの背景	チェックすると、デスクトップの背景が使用されます。		
フォントスムージング	チェックを入れると、ClearType®テクノロジーを使用して、フォントを明確で滑らかにします。		
ドラッグ中にウィンドウの内容を 表示する	オンにすると、ウィンドウのドラッグ中にウィンドウの内容が表示されます。		
メニューとウィンドウのアニメー ション	チェックすると、メニューとウィンドウのアニメーションが表示されます。		
テーマ	チェックして、クラシックでないテーマを許可します。		

<b>有効]</b> を選択すると、ユーザ リーダーなどのローカルUSB <b>ŧ意:</b> Atrust Client Setupで 効または無効にするこ	リックして、USBストレージマッピングを有効/無効にします。 ーはRASセッションでUSBフラッシュドライブやメモリカード ストレージデバイスにアクセスできます。 は、ローカルに接続されたUSBストレージデバイスの使用を有 ともできます。 ローカルに接続されたUSBストレージデバイ	
<b>有効]</b> を選択すると、ユーザ リーダーなどのローカルUSB <b>注意:</b> Atrust Client Setupで 効または無効にするこ スをRASセッションで	ーはRASセッションでUSBフラッシュドライブやメモリカード ストレージデバイスにアクセスできます。 は、ローカルに接続されたUSBストレージデバイスの使用を有	
<b>:意:</b> USBストレージデバイ)	ともできます。 ローガルに接続されたUSBストレーシテバイ使用するには、まずそれらを有効にする必要があります。 デスの使用を設定するには、セクション"3.4.3 USBストレージ(P.94)"を参照してください。	
<b>有効にする]</b> を選択すると、 カークプリンターにアクセス <b>注意:</b> 最初にmt182Lのローカ この機能を有効にして「 <b>注意:</b> mt182Lにローカルプ! については、"3.4.8 □	リックして、プリンターマッピングを有効/無効にします。 ユーザーはRASセッションでローカルプリンターまたはネットできます。 カルプリンターまたはネットワークプリンターを追加し、次にRASセッションでそのプリンターを使用する必要があります。 リンターまたはネットワークプリンターを追加する方法の詳細ローカルプリンターの追加(P.99)"または"3.4.9 ネットワーク・102)"を参照してください。	
ドロップダウンメニューをクリックして、シリアルポートマッピングを有効/無効にします。 <b>[有効にする]</b> を選択すると、ユーザーはRASセッションでバーコードスキャナーなどのシリアルデバイスにアクセスできます。		
ドロップダウンメニューをクリックして、スマートカードマッピングを有効または無効にします。 <b>[有効にする]</b> を選択すると、ユーザーはRASセッションのスマートカードリーダーを介してスマートカードにアクセスできます。		
ドロップダウンメニューをクリックして、クリップボードマッピングを有効/無効にします。		
<b>胡文</b>		
	リックして、リモートデスクトップセッションのオーディオ再 オプションが利用可能です: <b>このコンピューターで再生、リモ</b> <b>再生しない</b> 。	
オプション	説明文	
このコンピューターで 再生	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモ ートデスクトップセッションでオーディオを再生できます。	
リモートコンピュ <i>ーター</i> で再生	リモートコンピューターに接続されているオーディオデバイ スを使用して、リモートデスクトップセッションでオーディ オを再生できます。	
再生しない	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用したリモー トデスクトップセッションでのオーディオ再生を無効にし ます。	
	*意: USBストレージデバイ、デバイスの設定の構成でロップダウンメニューをク育効にする]を選択すると、フークプリンターにアクセスを意: 最初にmt182Lのロープで3.4.8 ロークプリンターの追加(ドロップダウンメニューをクロップダウンメニューをクロップダウンメニューをクロップダウンメニューをクロップダウンメニューをクロップダウンメニューをクロップダウンメニューをクロップダウンメニューをクロップダウンメニューをクロップグウンメニューをクロップグウンメニューをクロップグウンメニューをクロップグウンスます。 オプション コンピューターで再生 リモートコンピューターで再生	

	ドロップダウンメニューをクリックして、リモートデスクトップセッションのオーディオ再生設定を構成します。 次の2つのオプションを使用できます。 <b>このコンピューターからの記録と記録しない</b> 。			
	オプション	説明文		
マルチメディアリダイレクト	このコンピューターから の記録	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用して、リモ ートデスクトップセッションでのオーディオ録音を許可し ます。		
	記録しない	ローカルに接続されたオーディオデバイスを使用したリモートデスクトップセッションでのオーディオ録音を無効にします。		
	択します。 次の3つのオフ	ドロップダウンメニューをクリックして、Windowsキーの組み合わせを適用する場所を選択します。 次の3つのオプションを使用できます。 <b>ローカルコンピューター上、リモートサーバー上</b> 、および <b>全画面モードのみ</b> 。		
	オプション	説明文		
Windowsキーの組み合わせ	ローカルコンピューター	上 ローカルデスクトップにのみ適用されます。		
	リモートサーバー上	仮想デスクトップにのみ適用されます。		
	全画面モードのみ	デスクトップが全画面モードで実行されている場合 にのみ、仮想デスクトップに適用されます。		
プロキシ設定				
項目	説明文			
プロキシサーバーを使用する	プロキシサーバーを利用す	る場合はチェックを入れ、詳細を指定してください。		
プロキシタイプ	ドロップダウンメニューをクリックして、使用するプロトコルに応じてプロキシサーバーの タイプを選択します。			
	4つのオプション、 <b>SOCKS</b>	5 <b>4、SOCKS 4A、SOCKS 5</b> 、および <b>HTTP 1.1</b> を使用できます。		
プロキシホスト	4つのオプション、 <b>SOCKS</b> プロキシサーバーのIPアト			
プロキシホスト プロキシポート		ドレスを指定します。		
	プロキシサーバーのIPアト プロキシサービスに使用す	ドレスを指定します。		
プロキシポート	プロキシサーバーのIPアト プロキシサービスに使用す プロキシサーバーにユーセ	ドレスを指定します。		
プロキシポート プロキシ資格情報を使用する	プロキシサーバーのIPアト プロキシサービスに使用す プロキシサーバーにユーセ	ドレスを指定します。 「るポートを指定します。 「一認証が必要かどうかを確認し、資格情報を指定します。 「「アカウント名を入力します。		
プロキシポート プロキシ資格情報を使用する ユーザー名	プロキシサーバーのIPアト プロキシサービスに使用す プロキシサーバーにユーサ プロキシサーバーのユーサ	ドレスを指定します。 「るポートを指定します。 「一認証が必要かどうかを確認し、資格情報を指定します。 「「アカウント名を入力します。		
プロキシポート プロキシ資格情報を使用する ユーザー名 パスワード	プロキシサーバーのIPアト プロキシサービスに使用す プロキシサーバーにユーサ プロキシサーバーのユーサ	ドレスを指定します。 「るポートを指定します。 「一認証が必要かどうかを確認し、資格情報を指定します。 「「アカウント名を入力します。		

## 標準RDPの接続タイプの設定



• Parallelsリモートアプリケーションサーバーの接続タイプの設定については、"Parallels リモートアプリケーションサーバーの接続タイプの設定 (P.235)"を参照してくださ

### 一般サブタブ

サーバー設定			
項目	説明文		
セッション名	RDPセッションの名前を入力します。		
プライマリサーバー	RDPセッションの配信に使用するサーバーのコンピューター名またはIPアドレスを入力します。		
	この表は、標準RDPが選択されている場合に使用可能な設定の説明のみを提供しています。		
	次の2つの接続タイプを使用	用できます。	
	オプション説明文		
接続タイプ	Parallelsリモートアプリ ケーションサーバー	Parallelsリモートアプリケーションサーバーを介してリモートデスクトップおよびアプリケーションにアクセスすることを選択します	
	標準RDP	標準のMicrosoftリモートデスクトップサービスを介してリ モートデスクトップにアクセスすることを選択します。	
ネットワークレベルの認証	ネットワークレベル認証を有効/無効にします。 <b>注意:</b> ネットワークレベル認証は、ログオン画面が表示されてセッションが作成される前に ユーザーの認証を要求することにより、サーバーのセキュリティを強化するために使 用される認証方法です。 これは、リモートコンピュータを悪意のあるユーザーやソフトウェアから保護するのに役立つ、より安全な認証方法です。		
ポート	接続タイプとモードを選択すると、デフォルトで使用されるポートが自動的に割り当てられます。 必要に応じて別のものを入力します。		
ログイン設定			
項目	説明文		
ユーザー名	プロキシサーバーのユーザー/アカウント名を入力します。		
パスワード	ユーザーアカウントのパスワードを入力します。		
	サーバーのドメインを入力	します。	
ドメイン  注意: ドメインは、共通のデータベースとセキュリティポリシーを共作のコンピューターのコレクションです。 サーバーがどのドメイ 場合は、このフィールドを空白のままにします。		コレクションです。 サーバーがどのドメインにも属していない	

共通設定			
項目	説明文		
	<b>注意:</b> mt182Lには、似	型動モード)にRDPセッションを自動で開くかどうかを選択します。 ているが異なる3つのモードがあり、すべてが有効になっている場 のみが有効になります。 3つのモードと優先順位は次のとおりです。	
	 No. モード	 説明文	
		クライアントは目的のリモートデスクトップセッション を使用して直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。	
	1 アプライアンス	利用可能なアクションは次のとおりです。 ス	
		<ul><li>新しいセッションを再開する</li></ul>	
		• シンクライアントの再起動	
		<ul><li>シンクライアントをオフにする</li></ul>	
起動時に自動起動		クライアントは目的のRDPセッションで直接起動し、セッションを終了した後、構成されたアクションを実行します。	
		利用可能なアクションは次のとおりです。	
	2 自動起動	• 何もしない	
		<ul><li>新しいセッションを再開する</li></ul>	
		• シンクライアントの再起動	
		• シンクライアントをオフにする	
	3 クイック接続	デフォルト有効。システム起動後クライアントはAtrust クイック接続画面に入ります。	
	<b>注意:</b> 自動開始モードを 認してください。	を使用するには、アプライアンスモードが無効になっていることを確	
	RDPセッションが終了したときの動作を選択します。 <b>何もしない、アプリケーションを再起動する、再起動する、シャットダウン</b> の4つのオプションがあります。		
	オプション	説明文	
アプリケーション終了時	何もしない	何もしないこと。	
アンソソーション称」時	アプリケーションを再	起動する RDPセッションを再度起動します。	
	再起動する	mt182Lを再起動します。	
	シャットダウン	mt182Lの電源を切ります。	

# **オプション**サブタブ

ウィンドウ設定			
項目	説明文		
色深度	ドロップダウンメニューをクリックして、RDPセッションに必要な色深度を選択します。 5 つのオプション、 <b>8ビット、15ビット、16ビット、24ビット、32ビット</b> を使用できます。 <b>注意: グラフィックスアクセラレーション</b> でRemoteFXが有効になっている場合、ここでは 32ビット/ピクセルのみを選択できます。 <b>注意:</b> ホストサーバー上のRDPセッションの色深度の上限を構成できます。 この場合、ここ で選択する色深度に関係なく、値は定義された制限を超えることはできません。		
	ドロップダウンメニューをクリックして、RDPセッションで目的のディスプレイ解像度を選択します。 <b>フルスクリーン、ラージウィンドウ、ミディアムウィンドウ、スモールウィンドウ</b> の4つのオプションを使用できます。		
	オプション説明文		
	フルスクリーン ローカルデスクトップと同じディスプレイ解像度でリモートデスクトップセッションを全画面で開きます。		
解像度	ラージウィン ドウ 大きなディスプレイ解像度でリモートデスクトップセッションを開きます。		
	ミディアムウィ 中程度のディスプレイ解像度でリモートデスクトップセッションを開きます。 ンドウ		
	スモールウィン 小さなディスプレイ解像度でリモートデスクトップセッションを開きます。 ドウ		
	注意: ローカルデスクトップの表示解像度を構成するには、セクション "3.3.3 表示設定の構成 (P.80)"を参照してください。		
	ドロップダウンメニューをクリックして、グラフィックアクセラレーションを設定します。 4つのオプション、 <b>なし、基本、RemoteFX、RemoteFXアダプティブ</b> を使用できます。		
   グラフィックアクセラレーション	注意: Windows® RemoteFX™は、リモートデスクトップユーザーにネットワーク経由でリッチなユーザーエクスペリエンスを提供するテクノロジーです。		
	注意: ここでRemoteFXを選択すると、32ビット/ピクセルの色深度が色深度で自動的に選択されます。		
デスクトップセッションにすべての モニターを使用する	オンにすると、接続されたモニタとセカンダリモニタを拡張画面として使用できます。		
すべてのモニターにまたがるデス クトップ	オンにすると、起動したデスクトップがすべての接続されたモニターにまたがります。		
公開アプリケーション			
項目	説明文		
プライマリモニターのみを使用する	オンにすると、起動したアプリケーションがプライマリモニターのみに表示されます。 接続されている他のモニターは使用されず、ユーザーはアプリケーションウィンドウをそれらのモニターに移動することもできません。		

最適化設定	
項目	説明文
接続品質	ネットワーク接続の品質を最もよく表すオプションを選択します。 3つのオプション、LAN( <b>非常に高速)、ブロードバンド(高速)、およびモデム(低速)</b> を使用できます。
	注意: ここで選択すると、このセクションの項目のデフォルトが次のように決定されます。
デスクトップの背景	チェックすると、デスクトップの背景が使用されます。
フォントスムージング	チェックを入れると、ClearType®テクノロジーを使用して、フォントを明確で滑らかにします。
ドラッグ中にウィンドウの内容を 表示する	オンにすると、ウィンドウのドラッグ中にウィンドウの内容が表示されます。
メニューとウィンドウのアニメー ション	チェックすると、メニューとウィンドウのアニメーションが表示されます。
テーマ	チェックして、クラシックでないテーマを許可します。
接続設定	
項目	説明文
	ドロップダウンメニューをクリックして、USBストレージマッピングを有効/無効にします。
	[ <b>有効にする</b> ]を選択すると、ユーザーはRDPセッションでUSBフラッシュドライブやメモリカードリーダーなどのローカルUSBストレージデバイスにアクセスできます。
USBストレージマッピング	注意: Atrust Client Setupでは、ローカルに接続されたUSBストレージデバイスの使用を有効または無効にすることもできます。 ローカルに接続されたUSBストレージデバイスをRDPセッションで使用するには、まずそれらを有効にする必要があります。 デフォルトは有効です。
	注意: USBストレージデバイスの使用を設定するには、セクション"3.4.3 USBストレージデバイスの設定の構成 (P.94)"を参照してください。
	ドロップダウンメニューをクリックして、プリンターマッピングを有効/無効にします。
	[ <b>有効にする</b> ]を選択すると、ユーザーはRDPセッションでローカルプリンターまたはネット ワークプリンターにアクセスできます。
プリンターマッピング	注意: mt182Lのローカルプリンターまたはネットワークプリンターを最初に追加し、RDP セッションでそのプリンターを使用するには、ここでこの機能を有効にする必要があります。
	注意: mt182Lにローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する方法の詳細については、"3.4.8 ローカルプリンターの追加 (P.99)"または "3.4.9 ネットワークプリンターの追加 (P.102)"を参照してください。
	ドロップダウンメニューをクリックして、シリアルポートマッピングを有効/無効にします。
シリアルポートマッピング	[ <b>有効にする]</b> を選択すると、ユーザーはRDPセッションでバーコードスキャナーなどのシリアルデバイスにアクセスできます。
スマートカードマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、スマートカードマッピングを有効または無効にします。
	<b>[有効にする]</b> を選択すると、ユーザーはRDPセッションでスマートカードリーダーを介してスマートカードにアクセスできます。
クリップボードのマッピング	ドロップダウンメニューをクリックして、クリップボードマッピングを有効/無効にします。

# 付録

この章では、mt182Lシンクライアントの詳細設定、メンテナンス、およびアップグレードについて説明します。

A.1 Mt182Lを工場出何時のテフオルトにリセット 9 る	
mt182Lを工場出荷時のデフォルトにリセットする方法	249
A.2 mt182Lのファームウェアの更新	
mt182Lのファームウェアを更新する4つの方法	250
A.3 VMware接続でのSECUREMATRIX認証の使用	
SECUREMATRIX認証を有効にする SECUREMATRIX認証の使用する パスワードパターンを変更する	252 254 257
A.4 オートセットアップのフローチャート	
オートセットアップモードでの動作のシーケンス	259

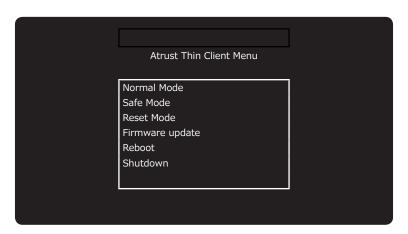
# A.1 mt182Lを工場出荷時のデフォルトにリセットする

mt182Lを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、次の手順を実行してください。



#### 警告

- mt182Lを工場出荷時のデフォルトにリセットすると、Atrust Client Setupの 現在の設定がすべて消去され、すべての設定がデフォルトに戻ります。
- 1. mt182Lを再起動します。
- 2. POST (パワーオンセルフテスト) 期間中に、キーボードのEscキーを押して、Atrustシンクライアントメニューに入ります。





#### 注意

- このメニューが画面に表示されるまで、約15秒かかることがあります。
- Atrustシンクライアントメニューでは、通常モード、セーフモード、リセットモード、ファームウェアの更新、再起動、シャットダウンの6つのオプションを使用できます。各オプションの説明については、以下の表を参照してください。

メニューオプション	説明文
通常モード	通常の起動手順として、mt182Lを起動します。
セーフモード	現在の画面解像度設定をクリアしてリセットします。
リセットモード	mt182Lを工場出荷時のデフォルトにリセットします。
ファームウェアの更新	mt182Lのファームウェアをネットワーク経由で更新します。
再起動	mt182Lを再起動します。
シャットダウン	mt182Lをシャットダウンします。

- 3. キーボードの矢印キーを使用して**[リセットモード]**を選択し、キーボードのEnterキーを押して続行します。
- 4. 確認を求めるメッセージが表示されます。 キーボードのyをクリックして確認します。
- 5. 完了したら、キーボードのEnterキーを押してシステムを再起動します。

# A.2 mt182Lのファームウェアの更新

mt182Lのファームウェアを更新するには、4つの方法があります。

メソッド	説明文
Atrustシンクライアントメ ニュー	リモートコンピューターからファームウェアをダウンロードし、シンクライアントのファームウェア を更新します。
USBフラッシュドライブ	Recovery USB Disk Creatorによって作成されたUSBフラッシュドライブでファームウェアを更新します。
Atrustクライアントのセッ トアップ	Atrust Client Setupを使用して、シンクライアントでローカルにファームウェアの更新を開始します。
Atrustデバイスマネージャー	Atrust Device Managerを使用して、リモートコンピューターでリモートからファームウェアの更新を開始します。

# Atrustシンクライアントメニューの使用

Atrustシンクライアントメニューを使用してファームウェアを更新するには、次の手順に従ってください。

- 1. シンクライアントをネットワークに接続し、再起動します。
- 2. POST (パワーオンセルフテスト) 期間中に、キーボードの**Esc**キーを押して、Atrustシンクライアントメニューに入ります。
- 3. [ファームウェアの更新]を選択し、画面の指示に従ってタスクを完了します。



#### 注意

- ネットワーク経由でファームウェアサーバーのIPアドレスを指定する必要があります。ファームウェアサーバーは、Atrustデバイスマネージャーがインストールされ、クライアントファームウェアファイルがAtrustデバイスマネージャーを介してインポートされるサーバーです。
- Atrustデバイスマネージャーの詳細については、Atrustデバイスマネージャーのユーザーズマニュアルを参照してください。

# USBフラッシュドライブの使用

Recovery USB Disk Creatorによって作成されたUSBフラッシュドライブを使用してファームウェアを更新するには、次の手順を実行します。



#### 注意

- リカバリUSBディスククリエーターを使用してUSBフラッシュドライブを作成する方法については、USBクリエーターのクイックガイドを参照してください。
- 1. USBフラッシュドライブを接続し、シンクライアントを再起動します。
- 2. POST期間中に**F7**キーを押して、Boot Deviceメニューに入ります。
- 3. そのメニューでUSBフラッシュドライブを選択して、Atrustシンクライアント回復システム画面に入ります。画面の指示に従って、タスクを完了します。

# Atrust Client Setupの使用

Atrust Client Setupを使用してファームウェアを更新するには、セクション"3.2.7 管理コンピューターからのファームウェアの更新 (P.56)"を参照してください。

# Atrustデバイスマネージャーの使用

Atrustデバイスマネージャーを使用してファームウェアを更新するには、Atrustデバイスマネージャーのユーザーズマニュアルを参照してください。

# A.3 VMware接続でのSECUREMATRIX認証の使用

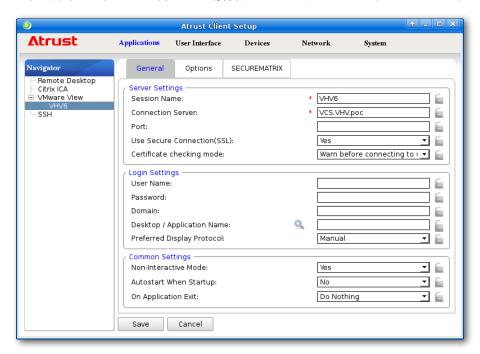
## カスタムVMware接続のSECUREMATRIX認証を有効にする

カスタムVMware接続でSECUREMATRIX認証を有効にするには、次の手順を実行してください。

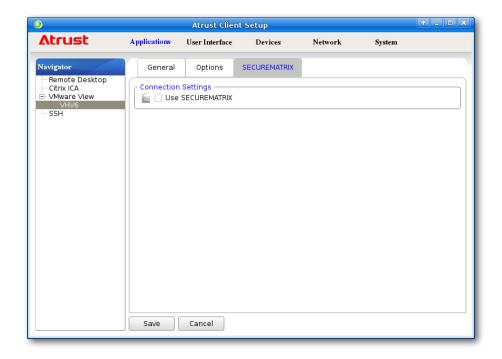


#### 注意

- SECUREMATRIX認証は、クイック接続モードでは使用できません。
- 1. ローカルデスクトップで、**[スタート]> [設定]> [Atrustクライアントセットアップ]**をクリックして、Atrustクライアントセットアップを起動します。
- 2. **[アプリケーション]> [VMware]> [追加]**をクリックして、接続設定の新しいエントリを作成します。
- 3. [全般]タブで、目的のセッション名とView接続サーバーのサーバーアドレスを入力します。



4. [SECUREMATRIX]タブで、[SECUREMATRIXを使用する]をクリックしてオンにします。





- デフォルトでは、SECUREMATRIX認証は無効になっています。
- 5. SECUREMATRIX関連情報を入力するための2つのフィールドが表示されます。 GSBサーバー (SECUREMATRIX認証サービスのサーバー) のサーバーアドレスを入力します。



- 6. 必要に応じて他の接続設定を構成し、[保存]をクリックして確定します。
- 7. アクセスショートカットは、ローカルデスクトップと[スタート]メニューに作成されます。

### VMware接続でのSECUREMATRIX認証の使用

VMware接続でSECUREMATRIXが有効になっている場合、以下の手順と手順に従ってSECUREMATRIX認証を使用します。

- 1. ローカルデスクトップまたは[スタート]メニューのショートカットをクリックします。
- 2. SECUREMATRIX認証のログインIDを要求するウィンドウが表示されます。

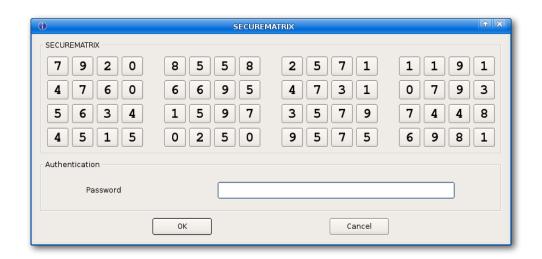


3. ログインIDを入力し、[OK]をクリックして確認します。



#### 注意

- パスワードパターンを変更するには、[パスワードの変更]をクリックします。 詳しくは"SECUREMATRIX認証のパスワードパターンの変更 (P.257)" をご覧ください。
- 4. SECUREMATRIXウィンドウが表示され、パスワードの入力を求められます。



5. キーボードを使用して**パスワードパターン**の下に数字を入力するか、ウィンドウで直接数字をクリックし、**[OK]**をクリックして確定します。



6. SECUREMATRIX認証が完了すると、メッセージが表示されます。 [OK]をクリックして続行します。



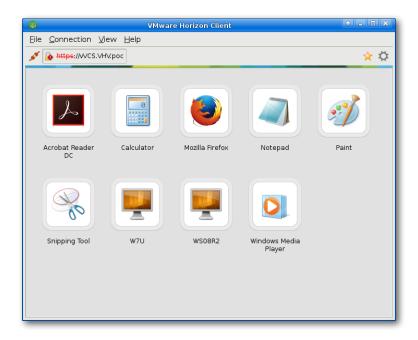
7. VMware仮想デスクトップおよびアプリケーションにアクセスするための認証情報を提供するように求めるメッセージが表示されます。 [OK]をクリックして続行します。



8. 開いたウィンドウで資格情報を入力し、[OK]をクリックして続行します。



9. デスクトップとアプリケーションのリストが表示されます。 ダブルクリックして、目的のデスクトップまたはアプリケーションを選択します。



## SECUREMATRIX認証のパスワードパターンの変更

SECUREMATRIX認証のパスワードパターンを変更するには、次の手順を実行してください。

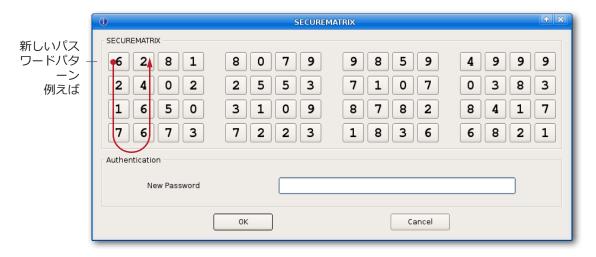
1. 表示されるログインIDの入力を求めるウィンドウで、ログインIDを入力し、[**パスワードの変更]**をクリックします。



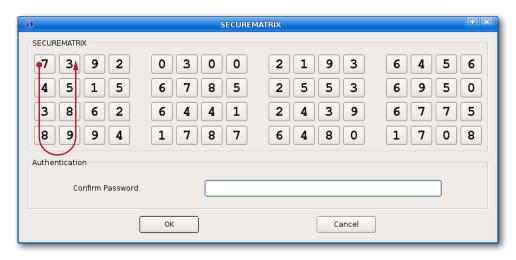
2. 古いパスワードパターンの下の数字を入力またはクリックし、[OK]をクリックして続行します。



3. 新しいパスワードパターンの下の数字を入力またはクリックし、[OK]をクリックして続行します。



4. **新しいパスワードパターン**の下にある数字をもう一度入力またはクリックし、**[OK]**をクリックして続行します。



5. **新しいパスワードパターン**を番号順に示し、確認を求めるウィンドウが表示されます。 **[OK]**をクリックして確認します。



# A.4 オートセットアップのフローチャート

オートセットアップモードでの動作のシーケンスは**次のページ**をご覧ください。

詳細については、オートセットアップのためのユーザーズ・ガイドを参照してください。

# **START** Power on / Restart thin client No Auto Setup Factory default enabled configurations No Yes Ever got and kept No Network Global and MAC connected configurations Yes Yes Apply previous configurations Auto Setup No environment R eady for use ready Yes Get preset configurations & \* MAC configuration will be applied if any Apply basic but not a necessary element in Auto Setup; Global and MAC \* Global one is required. configurations R eady for use User Apply complete No authentication Global and MAC \* enabled configurations Yes Apply complete User Yes Global, MAC \*, and User authentication configurations passed No R eady for use Deny access

# スクリーン

移植できないシンクライアントは、 クイック接続画面から始まります





自動セットアップが有効になっている場合、ユーザー環境はプリセット構成によって異なる場合があります。

### オートセットアップの要件

- オートセットアップは、エンドポイントデバイスを有効に
- オートセットアップ環境とメカニズム
- ネットワーク接続
- 使用する仮想化サービスのターゲット

# 仕様書

# Atrust mt182Lモバイルシンクライアント

プロセッサー	Intel® Atom® x5-E8000, Quad-core, 1.04 GHz, 最大 2.0 GHz		
システムメモリ	2 GB		
フラッシュメモリー	4 GB		
ディスプレイ	タイプ: 14", FHD 1920 x 1080		
キーボード/ タッチパッド	キーボード:テンキーを含む完全なレイアウト タッチパッド:2ボタングライドパッド		
サウンド	内蔵スピーカー		
I / Oインターフェース	左側: 右側: ディスプレイとベース: 1 x DC IN 2 x USB-A (USB 3.1 Gen 1) 1 x HDMI 1 x USB-C (USB 3.1 Gen 1) 1 x USB-C (USB 3.1 Gen 1) 1 x オーディオコンボジャック 1 x 指紋センサー		
ネットワーキング	USB-to-LANアダプター: USB-A (USB 3.1) 、10/100/1000 Mbイーサネット Wi-Fi 802.11 ac/a/b/g/n(M.2インターフェース) Bluetooth 4.2		
ACアダプター	入力: 100-240 V, 50-60 Hz 出力: 19 V, 3.42 A, 65 W		
バッテリー	内蔵充電式バッテリー3290 mAh		
オペレーティング・シス テム	Atrust Linux		
サポートされているプロ トコル	Microsoft RDP with RemoteFX / Citrix ICA with HDX / VMware PCoIP		
マネジメント	Atrust Client Setup / Atrustデバイスマネージャ		
セキュリティー	ケンジントンセキュリティスロット		
寸法	(W)322 x (D)222 x (H)15.95 mm		
重量	1.20 kg(約)		
環境	動作温度: 0°C ~ 35°C 非動作温度: -20°C ~ 60°C 動作湿度(Rh): 10% ~ 90% (non-condensing) 非動作時の湿度(Rh): 5% ~ 95%		

